

北海道議会時報

令和 3 年第 3 回定例会

北海道議会事務局

もくじ

追悼演説	1
議会日誌	3
令和3年度北海道補正予算の概要	4
第3回定例会	
概要	6
本会議	7
提出案件	32
意見案	35
請願	38
委員会の動き	
議会運営委員会	39
常任委員会	43
総務委員会	
総合政策委員会	
環境生活委員会	
保健福祉委員会	
経済委員会	
農政委員会	
水産林務委員会	
建設委員会	
文教委員会	
特別委員会	54
産炭地域振興・エネルギー問題調査特別委員会	
北方領土対策特別委員会	
新幹線・総合交通体系対策特別委員会	
人口減少問題・地方分権改革等調査特別委員会	
少子・高齢社会対策特別委員会	
食と観光対策特別委員会	
北海道地方路線問題調査特別委員会	
予算特別委員会	60
資料	
第3回定例会において議決を経た条例の公布調	83
北海道議会議員補欠選挙結果（旭川市）	84
北海道議会議席表	85
8月・9月・10月の出来事	86

本書においては、便宜上、会派の名称を次のとおり表記した。

自民党・道民会議	-----	自民
民主・道民連合	-----	民主
北海道結志会	-----	結志
公明党	-----	公明
日本共産党	-----	共産



竹内 英順議員 逝去

議員竹内 英順氏（自民党・道民会議、上川地域選出）は、病気のため、7月9日逝去され、7月15日、美瑛町「美瑛町町民センター」において、葬儀が執り行われた。享年61歳。なお、9月14日第3回定例会本会議において、喜多 龍一議員（自民党・道民会議、十勝地域選出）が追悼演説を行い、次いで、全員起立のうえ黙禱が捧げられた。

追 悼 演 説

私は、北海道議会を代表し、去る7月9日に御逝去された北海道議会議員竹内英順先生の在りし日をしのび、謹んで追悼の言葉を申し上げます。

竹内先生とは、控室が一緒、議席は隣、さきの第2回定例会でも、いつもと変わらぬ様子で、私たち同僚議員や執行機関の皆さんとやり取りされていた姿が鮮明に浮かんでまいります。

また、閉会の翌週、旅立たれる3日前の7月6日にも議会に見えられ、いつもと変わらぬ御様子でお仕事をされておりましただけに、突然の悲報に耳を疑い、呆然とするばかりであります。

竹内先生、あなたとは、平成7年、第25期の同期として道政に立ち、自來7期26年を共にしてまいりました。その御縁は、私が秘書をしていた故中川一郎代議士と、本道林業界を代表する先生の御父君との親交に遡ります。

道議会議員となってからは、道の苗畠の在り方について、地域の雇用問題などを含め、語り尽くせぬ御教示と、そして御助力を御父君共々賜りました。これにより、十勝のあるまちがどれだけ助けられ喜んだことか、思い出されてなりません。

また、高規格救急車については、中心市に配備するという段階にあった当時、私が、その遠隔地への配備や人工透析を行う医療機関の都市部偏在の解消などについて思いあぐねていたところ、先生が、「それをやろう」と明快に方向性を示され、協力して実現の運びとなりました。

先生は、世の移ろいや方向性というものを絶えず的確に把握しようとしていたのだと思います。

一方、同期であるがゆえに、好むと好まざるとにかかわらず、競わなければならぬ局面もありましたが、事が済めば何もなかったかのように、林業関係の会などをずっと一緒に続けてきた、誠に懐の深いナイスガイがありました。

そして今、私は、先生から、党道連会長代行と、党と議員会合同の新型コロナウイルス感染症対策本部長代行を引き継ぐこととなりました。そして、この追悼演説、言葉もなく、ただただ人の世の無常を恨むばかりであります。

竹内先生は、昭和34年10月1日、後にあなたが最も大切にした、豊かな自然景観と人の心の融合により築かれた、風光明媚な丘のまち・美瑛町でお生まれになり、地元小中学校、学校法人日出学園高等学校を経て、昭和57年に東京農業大学を御卒業後、当時、郵政大臣でありました衆議院議員箕輪登先生の秘書として研さんを積まれました。

昭和59年からは、家業に従事される傍ら、北海道商工会青年部連合会副会長に就任されるなど、多くの社会貢献活動に取り組んでまいられました。

平成7年4月に北海道議会議員に初当選されましたが、その矢先に、御子息と御父君が相次いで逝去され、御自身も長期の加療のやむなきに至るも、持ち前の強い精神力でこれらの試練を乗り越えられ、7期26年の歳月にわたり、北海道と北海道の山、そして美瑛のために身を削り、心血を注いでこられました。

道議会にあって、先生は、議会運営委員長、道州制・地方分権改革等推進調査特別委員長を歴

任され、若い頃から自ら厳しく培ってきた高い政治理念と優れた政治手腕をもって道政上の諸課題に向き合ってこられました。

平成17年に就任された議会運営委員長時代には、議会空転の徹底回避という確固たる信念のもと、強力なリーダーシップを發揮されました。

平成19年には、道州制・地方分権改革等推進調査特別委員長に就任されましたが、折しも、現在の総合振興局・振興局体制に向けた支庁制度改革の山場で、方向性を定めることができずに年度末日まで会期延長が一日一日と続く中、道庁幹部に対して、時に、諭すようにまとめようと努力する姿が、まるで昨日のことのように思い出されてなりません。

先生は、その出自からも、北海道の森林、林業への造詣が深く、その発展を願い続けておりました。

超党派で構成される北海道森林・林業活性化推進議員連盟の会長を務められ、平成30年には、道民の皆さんのが、植樹及び育樹を通じて、北海道の森林の豊かさや様々な恵みに感謝する心を育むための、北海道植樹の日・育樹の日条例の制定に深く関与されたところであります。

さらに、全国の林活議連の会長に就任し、特に本道の山を守るために、森林整備予算の確保には徹底して尽力され、中央要請の際には鬼気迫る場面があったと聞き及んでおります。

また、先生は、初当選後、平成7年第2回定例会での初めて的一般質問において、森林整備の担い手対策について質問され、その後、2人で半日かけて林産試験場を視察したことありました。

あの先生の質問から、四半世紀の歳月を経て、昨年4月に、その林産試験場に隣接の北海道立北の森づくり専門学院、通称・北森カレッジが開校されました。先生の家からもすぐそばであります。長年にわたる先生の情熱が花開いた瞬間であり、本年4月の新校舎落成式に出席され、その打合せのときの先生のあのお顔を忘れることができません。

これから北海道林業を背負って立つ学院1期生の卒業を見送ることができなかつたことは残念に思います。先生が敷いたレールは、確実に北海道林業の発展に寄与していくものと思います。

今、北海道は、新型コロナウイルス感染症の終息が見えない中、厳しい試練のときになりますが、先生は、その当初からこの6月まで、党と議員会合同の新型コロナウイルス対策本部長代行として、道議会の側の指揮を執ってこられました。奇しくも、私がその後任を拝命いたしましたが、この巡り合わせをしっかりと受け止めてまいります。

このような重要なときに竹内先生を失いましたことは、御遺族はもとより、道議会、北海道にとっても大きな損失であります。

61歳での旅立ちはあまりにも早過ぎます。どんなにか無念だったか、それとも生き切ったと思っておられるでしょうか。

多くの人々から慕われ、頼りにされていた竹内先生は、天上から御家族と北海道、そして、美瑛の未来に思いをはせておられることと思います。

心から御冥福をお祈り申し上げ、北海道議会を代表して、追悼の辞いたします。

令和3年9月14日

第25期同期 北海道議会議員 喜多 龍一

議会日誌

▶ 8月

- 3日(火) 各常任委員会
4日(水) 各特別委員会

(各部所管審査)

- 4日(月) 予算特別委員会第1・第2分科会
(各部所管審査)

- 5日(火) 予算特別委員会第1・第2分科会
(各部所管審査)

- 6日(水) 予算特別委員会(各分科委員長報告、
総括質疑、意見調整、付託議案可
決)

- 7日(木) 各常任委員会
各特別委員会
決算特別委員会(決算概要聴取等)
決算特別委員会第1・第2分科会
(審査日程等決定)

- 8日(金) 議会運営委員会
本会議(各委員長報告、議案等可決、
人事案件の追加提案説明・同意議決、
意見案3件可決、報告第1号ないし
第6号の閉会中継続審査の決定、関
係委員会の閉会中請願継続審査及び
事務継続調査の決定)

[第3回定例会閉会]

17日(金) 議会運営委員会

本会議(代表質問〈2人〉)

21日(火) 議会運営委員会

本会議(代表質問〈2人〉)

24日(金) 議会運営委員会

本会議(一般質問〈6人〉)

27日(月) 議会運営委員会

本会議(一般質問〈4人〉)

28日(火) 議会運営委員会

本会議(一般質問〈6人〉)

29日(水) 議会運営委員会

本会議(一般質問〈7人〉、予算及
び決算特別委員会設置)

予算特別委員会(正・副委員長の互
選、2分科会設置)

予算特別委員会第1・第2分科会
(正・副委員長の互選)

決算特別委員会(正・副委員長の互
選、2分科会設置)

決算特別委員会第1・第2分科会
(正・副委員長の互選)

▶ 10月

- 1日(金) 予算特別委員会第1・第2分科会

令和3年度北海道補正予算の概要

第3回定例会において、次のとおり補正予算について審議し、可決しました。

○令和3年度北海道一般会計補正予算（第4号）

(単位 千円)

歳 入	歳 出
繰 越 金 1 2 0 , 5 3 1	総 務 費 1 2 0 , 5 3 1
計 1 2 0 , 5 3 1	計 1 2 0 , 5 3 1

令和3年第3回定例会で可決した補正予算は、総額約1億2,000万円。

一般会計に係る歳出予算は、旭川市北海道議会議員補欠選挙の執行に要する経費として、約1億2,000万円。

これに見合う歳入予算は、繰越金1億2,000万円。

○令和3年度北海道一般会計補正予算（第5号）

(単位 千円)

歳 入	歳 出
分担金及び負担金 4 5 , 0 0 0	総 務 費 1 9 , 0 8 1 , 6 5 3
国 庫 支 出 金 3 8 , 1 2 8 , 4 8 4	総合政策費 △ 3 7 , 0 9 3
財 産 収 入 7 , 0 3 1	環境生活費 △ 6 3 , 7 0 6
繰 入 金 1 1 , 0 1 3 , 2 0 4	保健福祉費 2 6 , 8 5 5 , 1 5 9
諸 収 入 4 9 7 , 4 0 8	経 済 費 3 , 3 1 3 , 8 7 7
道 債 2 , 8 5 6 , 0 0 0	農 政 費 7 6 , 3 8 7
繰 越 金 2 3 , 6 4 0 , 1 8 8	水産林務費 2 4 1 , 0 7 0
	建 設 費 4 , 7 0 2 , 2 6 3
	教 育 費 △ 7 , 2 7 4
	災害復旧費 2 2 3 , 1 0 0
計 7 7 , 1 8 7 , 3 1 5	諸 支 出 金 2 2 , 8 0 1 , 8 7 9
	計 7 7 , 1 8 7 , 3 1 5

○令和3年度北海道特別会計補正予算

(単位 千円)

会 計 名	金 額
國 民 健 康 保 険 事 業 特 別 会 計	7 , 6 0 0
石 犬 湾 新 港 地 域 開 発 出 資 特 別 会 計	8 6 , 0 6 3
計	9 3 , 6 6 3

令和3年第3回定例会で追加提案され可決した補正予算は、総額約771億8,700万円。

一般会計に係る歳出予算の主なものは、長期間に及ぶ営業時間短縮の要請などにより、経営に大きな影響を受けている事業者の皆様に対し、新たな特別支援金を支給することとして、経

営持続化支援緊急特別対策事業費30億7,900万円、道直営によるワクチン接種会場の設置・運営や、診療所等における個別接種、中小企業等が行う職域接種への支援など、ワクチン接種の促進を図ることとして、165億8,600万円、感染症の影響により収入の減少等があった世帯に対する特例貸付の原資を追加することとして、生活福祉資金貸付事業費補助金101億7,800万円、本道経済の現状等に鑑み、道の単独施策を講じることとして、道路、河川などの特別対策事業費40億円、公共関連単独事業費11億円。

これらに見合う歳入予算の主なものは、国庫支出金381億2,800万円、繰入金110億1,300万円、道債38億5,600万円、繰越金236億4,000万円。

第 3 回 定 例 会

►総額773億700万円余の令和3年度補正予算を可決◀

概 要

① 令和3年度補正予算等を審議する第3回定例会は、9月14日に招集され、会議録署名議員の指定等を行い、会期を10月8日までの25日間と決定。

次に、総額773億700万円余の令和3年度補正予算案及びこれに関連する議案等25件が上程され、知事から提出議案に関する説明。

次に、議案第1号「令和3年度北海道一般会計補正予算（第4号）」について先議することに決定した後、委員会付託を省略し、採決の結果、異議なく原案可決。

その後、議案等調査のため、9月15日から9月16日までの本会議を休会することに決定して散会。

② 休会明けの9月17日から代表質問に入り、9月21日に代表質問を終結。議案等調査のため、9月22日の本会議を休会することに決定して散会。

③ 9月24日から一般質問に入り、9月29日に一般質問を終結。同日、議席の一部変更等を行い、一般質問の終結の後、直ちに予算及び決算特別委員会を設置し、議案第14号を新幹線・総合交通体系対策特別委員会に付託することに決定し、残余の議案を各委員会に付託。

次に請願第18号を産炭地域振興・エネルギー問題調査特別委員会に付託することに決定。

次に各委員会付託議案等審査のため、9月30日から10月1日まで及び10月4日から10月7日までの本会議を休会することに決定して散会。

④ 予算特別委員会は、9月29日に正・副委員長の互選を行い、2分科会を設置。

10月1日から各分科会において各部所管の審査に入り、10月5日にこれを終了。10月6日に各分科委員長報告の後、総括質疑を行い、同日、付託議案に対する質疑を終結。採決の結果、いずれも原案可決と決定。

⑤ 会期最終日の10月8日は、各付託議案に対する委員長報告の後、討論を行い、採決の結果、いずれも委員長報告のとおり原案可決。

次に、北海道教育委員会委員の選任につき同意を求める件等の人事案件5件が追加提案され、知事から提案説明の後、委員会付託を省略し、採決の結果、同意議決。

次に、意見案第1号「出産育児一時金の増額を求める意見書」等3件が提案され、説明及び意見案第1号の委員会付託を省略し、採決の結果、いずれも異議なく原案可決。

次に、議員派遣の件について決定。

次に、報告第1号ないし第6号について、閉会中の継続審査に付することに異議なく決定。

最後に、閉会中請願継続審査及び事務継続調査の件について異議なく決定の後、閉会。

⑥ 提出案件の議決状況は次のとおりである。

提 案 者	提出件数	議 決 状 況					報告のみ
		原案可決	同意議決	承認議決	棄却すべき旨答申	継続審査	
知 事	49	25	5			6	13
議 員・委 員 会	3	3					
計	52	28	5			6	13

本会議

○9月14日（火） 午前10時4分開会、小畠保則議長、令和3年第3回定例会の開会を宣し、

日程第1 会議録署名議員の指定を行い、諸般の報告の後、笠木薰議員の辞職許可について報告。

次に、竹内英順議員（自民）の逝去について報告の後、喜多龍一議員（自民）から追悼演説。次いで、全員起立の上默禱を捧げ、午前10時26分休憩。午前11時2分再開し、

日程第2 会期決定の件を議題とし、今期定例会の会期を本日から10月8日までの25日間と決定。

日程第3 議案第1号ないし第25号及び報告第1号ないし第6号を議題とし、知事から提出議案に関する説明。

日程第3のうち、議案第1号を先議することについて異議なく決定。

委員会付託を省略し、採決に入り、異議なく原案可決。

議案等調査のため、9月15日から9月16日までの本会議を休会することに決定し、午前11時11分散会。

○9月17日（金） 午前10時1分開議、諸般の報告の後、

日程第1 議案第2号ないし第25号及び報告第1号ないし第6号を議題とし、**代表質問**に入り、

三好 雅議員（自民）から、

- 1 新型コロナウイルス感染症対策について
 - ・当面実施する感染防止対策に係る所見
 - ・ワクチン接種の推進に向けた

今後の取組

- ・コロナ禍における今後の状況を見据えた医療や療養体制の充実に向けた取組
- ・設置の検討を指示した大規模臨時医療施設に係る所見
- ・7月から実施している有識者会議での検証結果の活用を含めた、警戒ステージの今後の見直しに係る所見
- ・ワクチン接種等と合わせた道内経済の回復に結びつけていくための今後の対応

2 ゼロカーボン北海道について

- ・ゼロカーボン北海道の実現に向けた、CO2

の新たな削減目標の設定や排出抑制等の対策等の見直しに係る所見

- ・ゼロカーボン北海道の実現に向けた国との緊密な連携に係る所見
- ・地球温暖化防止対策条例の見直しに向けた具体的な取組及び改正のスケジュール
- ・洋上風力発電の実現に向けて、確実に道筋をつけていくための具体的な方策及び国の次期エネルギー基本計画を踏まえた現在の省エネ・新エネ促進行動計画を見直す可能性に対する見解
- ・ゼロカーボン北海道の実現に向けた、森林づくり基本計画と森林吸収源対策推進計画の見直しの考え方及び地球温暖化対策計画の実効性の確保に係る所見
- ・水素社会の実現に向けた取組
- ・地域におけるゼロカーボンの実現に向けた第5期道の事務・事業に関する実行計画に対する取組
- ・ゼロカーボン北海道の実現につながる北方型住宅2020の普及に向けた取組

3 道政上の諸課題について

- ・新型コロナウイルスの変異株の置き換わりが目まぐるしく進む状況を踏まえた来年度における政策展開及び現在までの道政運営に対する認識に係る所見
- ・道の政策の基本的な方向を示す指針である総合計画の改定案に盛り込んだ思い及び今後の道政推進に当たっての基本的な考え
- ・第2期北海道創生総合戦略の見直しに対する視点及び道民がいつまでも安心して心豊かに暮らし続けることのできる北海道の実現に結びつけるための取組
- ・胆振東部地震の被災地復興について、特に大きなダメージを受けた地域での対策強化に係る所見
- ・令和4年度以降の財政健全化の取組の必要性に対する認識及び今後の財政運営に対する取組
- ・北方領土問題をめぐる最近の動きに対する受け止め及び今後の北方領土問題の解決に向けた対応
- ・北海道産業振興条例の点検作業を通じて、本道におけるカーボンニュートラルの促進が本道経済の成長発展に結びつくものとしていく



必要があるとの考えに係る所見

- ・北海道産業振興条例の点検で重視する点及びデジタル化をはじめとする新たな時代の波に積極的に対応しようとする道内企業等への支援に係る所見
- ・9月20日からバーチャルで実施されるアドベンチャートラベル・ワールドサミットなどを踏まえた、現在のアウトドア活動振興推進計画やガイド制度の見直しに対する観点及び本道観光の発展に着実に結びつけていくための取組
- ・7月3日に静岡県熱海市で発生した土石流災害のような盛土をきっかけとする土石流災害を未然に防ぐための対応
- ・これまでのヒグマ管理計画の取組に対する評価及び検証結果等の新たなヒグマ管理計画への反映や安全対策に向けた取組
- ・ケアラーの道内の実態を把握するために行ったアンケート調査結果に対する受け止め
- ・ケアラーやヤングケアラーの支援の推進に対する取組及び今後予定されている札幌市のアンケート調査の今後の取組への反映に係る所見
- ・農業・農村振興推進計画の着実な推進について、温室効果ガスの排出削減や農地におけるCO₂吸収量の確保などを進めながら食料自給率の目標を達成するための取組
- ・喫緊の課題となっている主要魚種の不漁問題への対応及び道産水産物の消費拡大に向けた今後の取組

4 教育問題について

- ・確かな学力とこれから時代に求められる資質、能力の育成に向けた取組
- ・重大事態など、いじめ問題に対する取組及び旭川市教育委員会への対応

5 公安問題について

- ・千葉県八街市の市道で将来のある幼い子どもたちの命を奪ってしまった悲惨な事故を道内で起こさせないための取組に係る決意及び見解

等について質問があり、知事、副知事、教育長及び警察本部長から答弁。同議員から発言。議事進行の都合により午後零時休憩。午後1時9分再開し、



北口 雄幸議員（民主）から、

1 知事の政治姿勢について

- ・今のコロナ禍等による本道のピンチをチャンスに変える方法を閉塞感が漂う道民へ具体的に示すべきとの考えに係る

所見

- ・国と地方の関係の在り方に係る所見及びその関係性の中での道民の意思の国政への反映に対する見解
- ・新型コロナウイルス感染症について、さらなる感染拡大を繰り返し許していることに対する認識
- ・人流の抑制について発した要請やそのアナウンス効果に対する分析と評価及び今後の対処に係る所見
- ・ポストコロナ戦略について、ポストコロナ戦略室の設置など、組織改革を行うなどして具体的な検討を始めることが必要との考えに係る所見
- ・政府や分科会が示した、飲食店の第三者認証やワクチン・検査パッケージ等を活用した行動制限の緩和策に係る所見及びポストコロナを見据えた戦略への反映に係る所見
- ・施設の老朽化が著しい知事公邸、道警本部長宿舎、公館、その緑地などの在り方について、有識者によるあり方研究会からの意見も踏まえ、よりオープンな形で意見を求めるべきとの考えに係る所見及びこの議論を進めていく上での今後整理すべき課題や対応並びに具体的なスケジュールの提示に係る所見

2 行財政運営の推進について

- ・テレワーク等の推進について、テレワーク環境を充実するとの考えは示しているものの、実態は一向に進んでいない要因及び今後の具体的な取組
- ・道のデジタル化の取組について、北海道の顧間に就任された慶應義塾大学の村井教授に期待している効果や成果及び広域性を有する本道の課題と推進スケジュール
- ・北海道創生総合戦略の見直しについて、見直し前と比較して人口減少問題に対して寄与することに係る所見
- ・道民の理解、あるいは共感を喚起させるため、北海道総合計画における重点戦略計画として

北海道創生総合戦略を浸透させる必要性に係る所見

- ・財政健全化について、令和4年度以降の収支対策の検討に当たって、歳出の削減だけではなく、本道の経済構造の転換に資する施策の財源を生み出す観点からも、自ら稼ぎ出す歳入確保策も盛り込むべきとの考えに対する見解

3 新型コロナウイルス感染症対策に係る取組等について

- ・感染拡大への対応について、3度目となる緊急事態宣言の要請に当たり、判断した基準や根拠及び要請の時期の適切性に係る所見
- ・警戒ステージが4相当となっているにもかかわらず、まん延防止等重点措置ではなく、緊急事態宣言をいきなり要請することに係る所見及び今後どのように道民に理解を求めていくのかに係る所見
- ・改正新型インフルエンザ等対策特別措置法における、知事からの要請は最大限尊重するとの附帯意見をないがしろにする政府の対応を受けて、法における知事の裁量権の拡大を国に強く求めるべきとの考えに係る所見
- ・医療体制の逼迫を招かないために新型コロナウイルスの感染者をできる限り抑制するための対策
- ・新型コロナウイルスに対するワクチンについて、これまで以上に道民に正しく理解していただくため、分かりやすい情報発信を隨時行う必要があるとの考えに係る所見
- ・デルタ株の新規感染者の多くが若い世代に置き換わっている現状を踏まえた今後の対応
- ・ワクチン接種証明書の発行に対する認識及びワクチン接種証明書の有無によって、不利益や不当な扱い、差別を受けるような事象を起こさないための公平性の確保や誹謗中傷への対策などを政府に求める必要があるとの考えに係る所見
- ・まん延防止等重点措置や緊急事態宣言の下で、要請に応じない飲食店の事業者が増加している理由を早期に把握、分析し、結果を今後の対策に反映すべきとの考えに係る所見
- ・危機感の共有に資するためのさらなる公表基準の見直し及び弾力的な運用の必要性に係る所見

- ・コロナ禍において妊婦の方や胎児、出産後の幼い命を守る対策に係る所見

- ・新型コロナウイルスの後遺症について、退院後のフォローアップや専門外来の設置などに対する現状の対応及び今後の具体的な対策に係る方針

- ・生活困窮者への支援について、様々な事由により自ら声を上げられない方が支援の手からこぼれ落ちないような、より積極的なピッキュ型の支援体制の構築に対する今後の取組

- ・コロナ禍の長期化が心身に及ぼす影響及び子どもが発するSOSを見逃さないようにするための対策に係る所見

- ・昨年の9月に公表された第1波と第2波に対する中間検証の結果を踏まえた感染拡大の改善に向けた対策と効果及び効果がなかったことの反省や改善すべき点

- ・第3波以降の対策について正しく検証し、道民に正しく伝える視点での追加検証に早期に取り組むべきとの考えに係る所見

4 医療・福祉課題について

- ・地域医療体制の見直しについて、コロナ禍の今行うべきことは病床の削減ではなく、確保との考えに係る所見

- ・がん対策の推進について、中間評価の取りまとめに向けた施策の進捗状況及び北海道のがんの死亡率を全国平均値にするという目標の達成に向けた取組

- ・ポストコロナを見据えた介護職員の確保に向けた取組

5 経済と雇用対策について

- ・新型コロナウイルスの影響を受けている事業者等に対する、さらなる支援策の拡充に向けた取組

- ・コロナ禍における職場の出退勤などの人との接触機会の低減について、企業ごとに抱える課題を捉えた上で、企業の実態に即した現実的な対策が必要との考えに係る所見

- ・道における観光施策の展開に係る所見及びIR誘致反対を公約に掲げた候補が横浜市長に就任したことに対する受け止め

- ・感染拡大により休止へと追い込まれた「新しい旅のスタイル」事業に関する考え方

6 エネルギー政策について

- ・幌延深地層研究計画について、研究期間の再

延長の余地を残すことは道民の不信感を高めることになるとの考えに係る所見

- ・政府が原発の運転に関する、原則40年、最長60年の法定期間の延長を検討していることに対する受け止め
- ・前回の改定に引き続き、原発比率を20%から22%に据え置いた、国のエネルギー基本計画について、半永久的に減ることなく再生される再生可能エネルギーの活用こそ将来に残すべきエネルギーの姿との考えに係る所見

7 防災・減災対策について

- ・コミュニティ再生も含めた今後の胆振東部地震の復興対策に係る所見
- ・大規模津波が想定される日本海溝・千島海溝地震の新たな被害想定を踏まえた避難所対策に係る所見
- ・災害時に支援が必要な方々の避難対策としての個別避難計画の作成に対する全市町村の取組状況
- ・大規模土砂災害への対応について、速やかな盛土の点検はもとより、適切な対策、是正措置に向けた取組
- ・土砂災害警戒区域等の指定について、指定率100%を目指す上での課題に対する認識及び土砂災害防止法で位置づけられている、住民の土砂災害について知る努力と行政の知らせる努力に対する今後の取組

8 J R 北海道路線維持問題について

- ・身近な鉄路を残すための事業者や自治体、住民などの地域関係者との連携の強化及び鉄道の維持に向けた戦略的な取組

9 第1次産業の振興について

- ・コロナ禍における農畜産物の消費拡大について、所得確保のための消費拡大や需要喚起の対策強化に向けた取組
- ・飼料価格の高騰対策について、酪畜農家の経営の安定化に向けた自給飼料の増産及び確保に対する取組
- ・今年の6月から8月上旬にかけて発生した記録的な高温、干ばつによる全道の農作物の影響に対する認識及び今後も営農継続できるよう、金融対策や減収支援を最大限に講じるべきとの考えに係る所見
- ・農福連携について、より一層推進すべきとの考えに係る所見

・主要魚種の近年の記録的な不漁に対する課題について、これまでの対応及び厳しい状況を開拓するための今後の対応

- ・主要魚種の不漁に伴う厳しい状況について、漁業者などへの個別の救済措置や補償などに対する具体的な支援に係る所見
- ・漁獲量が増加しているマイワシやブリなどを素材とした料理の普及拡大や付加価値を高める取組など、消費拡大に向けた具体的な取組
- ・政府のゼロカーボン北海道の支援策について、本道の森林を活用した事業支援への国の消極的な姿勢に対する受け止め及び本道の豊富な森林が果たすべき大きな役割をしっかりと国に求めていくべきとの考えに係る所見
- ・現在のウッドショックの状況下における、道産木材の需要拡大に伴う事業拡充に係る所見

10 環境政策について

- ・ヒグマ対策について、安心して有害捕獲を行うためのハンターの保護や身分保障に対する現状認識及び法的な整備などに対する取組
- ・ゼロカーボン北海道の推進における課題の現在の検討状況及び今後のスケジュール
- ・国のゼロカーボン北海道を財政支援する動きに合わせた来年度の予算編成に対する取組

11 人権施策について

- ・北海道人権施策推進基本方針が改定されたことに伴い、積極的な普及啓発と意識の醸成に取り組むべきとの考えに係る所見及び関係する各部局の連携や各種計画、施策に反映する時期に係る所見

12 東京2020オリンピック・パラリンピックと2030年札幌招致について

- ・札幌市との連携を含めた開催の総括及び今後の取組

13 北海道・北東北の縄文遺跡群について

- ・地域の活性化や観光、ガイドの育成、教育、各種媒体を使った情報発信などに早期に取り組む必要があるとの考えに係る所見

14 北方領土返還の取組について

- ・ロシアの北方領土不法占拠の強硬姿勢に対する受け止め及び菅首相退陣後の新政権に求める対応
- ・今年の四島交流等事業の早期再開に対する進展及び次年度以降の渡航再開に係る所見

15 教育課題について

- ・新型コロナウイルス感染症への対応について、修学旅行や全道大会等への参加には、前後数日間ずつPCR検査を実施するなど、安心、安全な教育環境を整備すべきとの考えに係る所見及び児童生徒への検査体制の充実を図るべきとの考えに係る所見並びに具体的な対応
- ・データ量が多い双方向のオンライン授業を公教育に取り入れる場合、誰もが経費を負担することなくオンライン授業に参加できる環境をつくるなければならないとの考えに係る所見
- ・学校でのオンライン授業の取扱いに対する認識
- ・アクションプランの中で連携を掲げている全道の総合型地域スポーツクラブの現状を踏まえた2023年度以降の休日の部活動の地域移行に係る所見
- ・ヤングケアラーの支援について、児童生徒たちが現在配付されているタブレット等で安心して相談できる体制を構築すべきとの考えに係る所見
- ・ヤングケアラーの調査結果により明らかになった課題に対する支援策も含めた取組

等について質問があり、知事、副知事及び教育長から答弁。議事進行の都合により午後3時26分休憩。午後3時49分再開し、同議員から再質問があつて、知事及び教育長から答弁。同議員から再々質問があつて、知事から答弁。議事進行の都合により午後4時44分散会。

○9月21日（火） 午後1時1分開議、諸般の報告の後、

日程第1 議案第2号ないし第25号及び報告第1号ないし第6号を議題とし、代表質問を継続。

中山 智康議員（結志）から、

- 1 知事の基本姿勢について
 - ・新型コロナウイルス感染症対策について、改定後の警戒ステージに反映するための指標や講すべき施策を設定する考え方による所見



- ・新型コロナウイルス感染症に対する緊急事態宣言やまん延防止等重点措置の適用について、地域や業態を特定するための判断基準に係る所見
- ・8月2日から31日までの予定で実施されたま

ん延防止等重点措置における飲食店以外の商業施設や遊技施設などに対する時短要請について、前回まで支給していた協力支援金を不支給とした理由に係る所見

- ・人流抑制について、テレワーク環境整備事業の制度の見直しを含めたテレワークの推進に向けた取組
- ・新型コロナウイルス感染症のワクチン接種について、11月の早い時期までの接種終了の可否及び若い世代に対する正しい情報の発信とワクチンの必要性に対する理解促進に向けた取組
- ・新型コロナウイルス感染症の軽症者の方を重症化させないための体制整備について、新たに開始する中和抗体薬治療で必要となる中和抗体薬の供給量の十分な確保に係る所見
- ・新型コロナウイルス感染症患者の宿泊療養施設の運営に協力をいただく看護師の事前登録制度について、多くの方々に登録をしていただいたことに対する受け止め
- ・事前登録制度で登録していただいた看護師の厚意を無にすることがないよう、速やかに宿泊療養施設の運営への協力につなげていく必要があるとの考えに係る所見
- ・新型コロナウイルスの感染防止対策と社会経済活動の両立を図るために需要喚起策について、実施に向けた方針や事業の在り方を早急かつ具体的に提示すべきとの考えに係る所見
- ・積雪寒冷地で広域分散型という本道の地域特性を踏まえた道としての新型コロナウイルス感染症の出口戦略を速やかに作成し、道民に示すべきとの考えに対する見解
- ・北海道総合計画の見直しに当たり、市町村に対する意見照会やパブリックコメントなど、より多くの市町村や道民から意見を聞くために行った努力に係る所見
- ・長期的な展望に立って道の政策の基本的な方向を総合的に示すとする北海道総合計画について、残期間までわずか3年半となつたことに対し、計画期間の延長も必要との考えに係る所見
- ・北海道総合計画について、施策ごとの指標以外に、政策展開の基本方向に対応した指標設定が必要との考えに対する見解
- ・第2期北海道創生総合戦略の改定作業を進め

るに当たっての人口減少に関する意識調査の結果の活用に係る所見

- ・転出と転入を均衡させる目標について、社会情勢の変化を的確に捉えると言うならば、新型コロナウイルス感染症の長期化に伴い、実現不可能な転入、転出の均衡の目標は取り下げ、別の指標を設定すべきとの考えに対する見解
- ・CO₂の削減目標値の設定はゼロカーボン北海道の実現に向けた施策を推進するために重要な要素との考えに対する見解
- ・第3期北海道省エネ・新エネ促進行動計画における2030年度のエネルギー消費の削減目標値と新エネによる発電電力量などについての導入目標値が、第6次エネルギー基本計画の目標実現を可能とするものとなっているのか否かに係る所見
- ・ゼロカーボン推進監及びゼロカーボン推進局の新設に当たっての検討結果及び体制強化によるゼロカーボン北海道の実現の加速化に係る所見
- ・デジタルトランスフォーメーションの推進に向けた、ICTの知識や抱負な実務経験を有する人材の採用や自治体職員に対する研修等に係る今後の採用計画を含めた状況
- ・北海道Society 5.0推進会議に設置する、デジタル人材育成・確保ワーキンググループでの検討の視点及び具体の人材育成・確保策については、来年度予算に的確に反映させる必要があるとの考えに対する見解
- ・本道におけるデジタル化に向けた顧問の任命について、顧問に期待する助言及びこれまで受けた助言
- ・道内市町村が使用しているシステムの独自仕様の現状及び仕様の標準化に向けた取組
- ・スマート道庁の取組の進捗状況及び今後の推進方針に係る所見
- ・令和8年度に過去最高になると試算されていた実質公債費比率が0.5ポイント改善する見込みであることについて、財政運営の健全化に向けた取組の成果であるのか否かに係る所見及びコロナ対策に必要な取組への支障に係る所見

2 道政の諸課題について

- ・幌延深地層研究について、日本原子力研究開

発機構に要望した事項にある、研究期間の調整が必要とされる場合の想定している事態及び調整の概念に期間の延長も含まれるのか否かに係る所見

- ・数次にわたる新型コロナウイルス感染症の緊急事態措置などで経営力が弱まった中小・小規模企業に対して、より一層の支援策が必要との考えに対する見解
- ・第5期北海道観光のくにづくり行動計画の目標とすべき項目や数値などについて、観光審議会計画部会で行われた議論の内容及び設定するに至った根拠に係る所見
- ・IR誘致の推進について、推進の構えを崩さないのであれば、速やかに北海道らしいIRコンセプトを作成し、道議会をはじめ、道民との幅広い議論に付すべきとの考えに対する見解
- ・課題とされる平時の医療提供体制と新型コロナウイルス感染症への備えとの両立に係る所見
- ・新型コロナウイルス感染症拡大時において、自宅療養を余儀なくされた療養者の在宅医療の在り方に係る所見
- ・新型コロナウイルス感染症の影響が長期化、深刻化し、様々な面で影を落とす中、誰も自殺に追い込まれることがない社会の実現に向けた現状の認識及び今後の対策
- ・自殺が多発する危険な場所の今後の把握方法及び講じていく対策
- ・全国に比べ高齢化のスピードが速い本道にとっては、高齢者の財産管理及び身上保護を目的とする成年後見制度のより一層の利用促進が必要との考えに係る所見
- ・北海道百年記念塔について、解体を一度立ち止まり、関係者と丁寧な議論をする場を設けることに係る所見
- ・7月に世界文化遺産に登録された道内6遺跡を含む北海道・北東北の縄文遺跡群について、見るだけでは分かりづらいものが多く、遺跡の魅力や価値が道民にあまり知られていないという課題の克服及びコロナ後も見据えた観光資源としての活用に係る所見
- ・北海道・北東北の縄文遺跡群を適切に維持管理し、持続可能な遺産として後世に引き継いでいくための取組

- ・新型コロナウイルス感染症対策により大きな影響を及ぼした農畜産物の消費動向や、過去に例を見ない農作物の高温、少雨による被害等に対する受け止め及び今後講じていく対策
- ・米の需給、価格安定に向けた対策と消費拡大、食糧法に基づく国の責任ある米政策の推進を望む切実な声に対する受け止め及び今後の米生産農家との向き合い方に係る所見
- ・再生可能エネルギーの導入に当たっての農地確保の在り方に係る所見
- ・みどりの食料システム戦略に対する認識及び今後の遂行に係る所見
- ・地域の木質バイオマスエネルギーの利用拡大に向けて、今後も積極的に取り組むべきとの考えに係る所見
- ・災害時に連絡が取れない住民の氏名の公表に対する取扱い方針について、家族等の同意の状況を確認せずに氏名を公表する、緊急かつやむを得ない場合として想定しているケース
- ・災害時の地域ぐるみの自主防災組織について、自主防災組織活動カバー率を令和6年までに全国平均値以上とする目標の達成に向けた取組

3 教育行政について

- ・今回で13回目となる全国学力調査で、一度も全国平均を上回ったことがない原因に対する分析内容及び学力向上に向けた新たな取組が必要との考えに係る所見
- ・G I G Aスクール構想やI C Tの活用について、オンライン学習の質的・量的向上に向けた取組

4 警察行政について

- ・災害時に一人でも多くの命を守り、被害を少しでも減らすことができる道警察であってほしいという道民の願いに応えていくことに係る所見

等について質問があり、議事進行の都合により午後1時52分休憩。午後1時54分再開し、知事、副知事、教育長及び警察本部長から答弁。議事進行の都合により午後2時51分休憩。午後2時53分再開し、同議員から再質問があつて、知事から答弁。同議員から再々質問があつて、知事から答弁。議事進行の都合により午後3時21分休憩。午後3時43分再開し、



安藤 邦夫議員（公明）から、

1 知事の政治姿勢について

- ・道政運営について、本道の様々な事業者からの厳しい要望、意見を重く受け止め、これまでの取組の成果を検証するとともに、長期化するコロナ禍を乗り越えた将来展望や戦略を早急に示すべきとの考えに係る所見
- ・本道における新型コロナウイルス感染症の今後の感染状況の見通しに係る所見
- ・一人でも多くの子どもたちを含めたP C R検査の徹底になお一層取り組むべきとの考えに係る所見
- ・学校や保育所等だけでもP C R検査等の費用を公費負担の対象とするよう国に要望すべきとの考えに係る所見
- ・医療提供体制について、札幌医科大学の施設を臨時の医療施設として活用することなど、札幌医科大学の協力が必要不可欠との考えに係る所見
- ・30歳代以下の若年層をターゲットとした新型コロナウイルス感染症のワクチン接種の拡大と加速化に向けた今後の取組
- ・北海道総合計画の見直しに係る所見及び国の国土形成計画の次期計画策定の動きに対する受け止め
- ・北海道胆振東部地震について、被災した地域の復興に向けた今後の支援に係る所見
- ・北海道胆振東部地震で生じた大規模な山腹崩壊について、ロードマップを含めた再生に向けた取組
- ・地方公務員法の改正による定年延長に対する受け止め及び今後の対応
- ・在宅勤務の活用や休暇取得の促進等による職員の出勤抑制について、今後なお一層の徹底が必要との考えに係る所見

2 経済対策について

- ・景気・経済対策について、地域経済を担う中小企業の置かれている現状に係る所見及び新型コロナウイルス感染症による緊急事態宣言の発令等の影響に対する今後の支援や支援金の支給対象を拡充してほしいといった事業者の要望意見を受けた制度の見直しに係る所見
- ・観光事業の基盤となる、観光貸切バスなどの

- 交通事業者への支援について、バス稼働率を上げて有効活用することによる支援に係る所見及び早急に府内にプロジェクトチームを設置し、今後の具体的な支援策について検討すべきとの考えに係る所見
- ・本道経済の活性化に向けた展望と戦略に係る所見
 - ・北海道産業振興条例の見直しについて、本道が全国的なレベルでの企業誘致の競争に勝つため、全国をリードする支援制度を盛り込んだ条例を検討すべきとの考えに係る所見
- 3 観光振興について
- ・アドベンチャートラベル・ワールドサミットの再招致をはじめ、様々な実効性のある具体的な対策を打ち出し、本道観光の振興につなげていかなければならぬとの考えに係る所見
- 4 保健医療問題について
- ・北海道循環器病対策について、北海道循環器病対策推進計画を推進するための今後の取組
 - ・子どもの健康づくりについて、適切な食生活などの生活習慣を身につけるための子どもへの健康教育に対する今後の取組
 - ・大人の代わりに家族の世話をしているヤングケアラーについて、道内の公立中高生の実態調査を踏まえた今後の取組
- 5 カーボンニュートラルについて
- ・ロードマップ及び経済界も含めた今後の取組
 - ・産業経済界となお一層連携した取組を展開すべきとの考えに係る所見
- 6 再生可能エネルギーについて
- ・洋上風力発電に対する認識及び今後の対応
- 7 農業被害対策について
- ・今年の全道的な高温、少雨による農作物への影響に対する認識及び今後の対応
- 8 水産林務問題について
- ・本道水産業の一層の振興を図るための水産物の消費拡大及び輸出拡大に向けた今後の取組
 - ・木材産業における現在の課題及び今後の取組
- 9 アイヌ文化の振興について
- ・アイヌ文化を振興していくための今後の取組
- 10 外国人技能実習生について
- ・コロナ禍による外国人技能実習生の入国遅延などにより、影響を受けている地域の企業に対する取組及び往来が再開された際に、実習

先として再び北海道を選んでもらうための取組

11 教育問題について

- ・道立学校における家庭でのオンライン学習等の実施について、通信環境等が整っていない家庭に対して講じている対策
- ・教員のICT活用指導力の向上に向けて実施する研修及び研修全体におけるオンライン研修の割合と研修の効率化に係る所見

12 公安問題について

- ・高齢運転者の事故に対する課題への取組及び新たに着任した道警本部長の決意
- 等について質問があり、知事、副知事、教育長及び警察本部長から答弁。議事進行の都合により午後4時54分散会。

○9月24日（金） 午前10時1分開議、諸般の報告の後、

日程第1 議案第2号ないし第25号及び報告第1号ないし第6号を議題とし、一般質問に入り、



植村 真美議員（自民）から、

- 1 新型コロナウイルス感染症対策について
 - ・第三者認証制度について、これまでの試行を踏まえた本格実施の時期及び進め方に係る所見
- 2 ゼロカーボンの推進に伴う地域課題について
 - ・ゼロカーボン北海道の推進に当たっての各市町村への対応の在り方に係る所見
 - ・太陽光パネルの設置について、設置規制区域を設けて危険な箇所には太陽光発電施設の設置を禁止する条例を考えるなど、今後実施を予定している対策
 - ・北海道の地域資源である石炭を活用した新たなエネルギー技術の確立を目指すべきとの考え方に対する見解
- 3 北海道の魅力を発信する人材づくりについて
 - ・アドベンチャートラベルに対応したガイドの育成が必要になってきているとの考えに対する見解
 - ・地域での人材育成について、高校生や大学生など、若者にチャンスの機会を与え、地域での人材づくりにつなげていく場を創出することに係る所見
- 4 ジビエの有効活用について

- ・エゾシカ肉の有効活用に対する今後の取組
- 5 バス事業者の支援について
- ・地域社会にとって重要なインフラである、貸切りバスに対しても地域公共交通事業者臨時支援事業の枠を広げることが必要との考えに係る所見
- 6 ポストコロナと地域の活力づくりについて
- ・コロナ禍が長く続く中での地域の活性化、元気づくりを担う団体や若者の取組への影響と現状に対する認識
 - ・ポストコロナを見据えた地域活力の向上に向けた、若い人材を生かした取組に係る所見

等について質問があり、知事、環境生活部長、経済部長及び教育長から答弁。議事進行の都合により午前10時37分休憩。午前10時40分時再開し、



鈴木 一磨議員（民主）から、

- 1 新型コロナウイルス感染症対策について
- ・まん延防止等重点措置や緊急事態宣言の措置区域指定の基準もない中、警戒ステージ4

以上の北見市がまん延防止等重点措置区域の対象とならなかつた理由及び今後の措置区域指定の基準の明確化に係る所見

- ・コロナ禍での運転代行事業者等への支援について、さらなる支援が必要との考えに係る所見
- ・ポストコロナ社会における地域医療体制の確立に向けた今後の取組
- ・道庁職場等の職場環境について、新型コロナウイルス感染症対策が長期化する中で職員が働きやすい職場環境を構築することに対する見解

2 地域公共交通について

- ・JRの利用促進に向けた戦略に係る所見
- ・公共交通の利用促進に向けた取組
- ・新型コロナウイルス感染症の支援事業である教育旅行支援事業の継続も含めたバス事業者に対する今後の支援策に係る所見
- ・バス路線の道路補修について、舗装の現状を把握する方法及び講じる対策
- ・地域公共交通確保維持改善事業費補助金の計画認定申請に係るキロメートル当たりの標準経常費用について、地域区分で格差があるバス事業補助単価設定の根拠及び補助金の在り

方に係る所見

- ・タクシー事業者への支援について、一層のコロナ禍支援や利活用促進などに係る所見

3 地球温暖化対策について

- ・ゼロカーボン北海道を導くには、道内のエネルギー源を全て再生可能エネルギーに切り替えるぐらい大胆で革新的な長期政策を要するとの考えに係る所見
- ・国民運動「COOL CHOICE」について、北海道は国とは異なる独自色を出す戦略なのか否かに係る所見
- ・道全体の温室効果ガスの実績値の算出及び削減目標設定の考え方
- ・ゼロカーボン北海道を掲げて脱炭素社会づくりを牽引する立場として、温室効果ガスの排出抑制等を推進するための総合的な計画である、市町村の区域施策編の策定を支援すべきとの考えに係る所見
- ・フロンガスの適正な管理について、フロンの充填、回収や破壊が適正に行われているかを把握、監視する方法及びこれまでの周知や啓発並びに今後の徹底した管理者指導に係る所見
- ・温室効果ガスの削減にもつながるごみの分別徹底やリサイクルの推進について、廃プラスチック減量化に向けた取組への支援に係る所見
- ・これまで進められてきた様々な温室効果ガス削減事業の効果の検証及び代替施策などに係る所見
- ・地球温暖化対策推進計画に基づく取組を検証する頻度及び取組の状況を道民へ周知し、温暖化対策に関する取組の充実化につなげることに係る所見

4 水産業の振興について

- ・主要魚種の記録的な不漁や新型コロナウイルス感染症の流行、原油価格の急激な上昇などによる、厳しい経営環境の中での漁業者の負担軽減も含めた漁業経営の安定化に向けた取組
- ・近年増えているマフグの漁獲や流通の状況及び特定の地域において漁獲が増加している魚種の有効活用に係る所見
- ・近年の局地的な大雨や河川氾濫などの影響による海上の漂流や海岸に漂着する流木等が増

えたことについて、漁具や漁船への被害を防ぐための流木等処理対策が円滑に進むよう支援を強化すべきとの考えに係る所見

等について質問があり、知事、総合政策部長、総合政策部交通企画監、環境生活部長、環境生活部ゼロカーボン推進監、経済部観光振興監、水産林務部長及び建設部長から答弁。同議員から再質問があつて、知事から答弁。同議員から発言があつて、議事進行の都合により午前11時36分休憩。午後1時4分再開し、

佐々木 大介議員（自民） から、

1 新型コロナウイルス感染症対策について

- ・時短や休業要請における飲食店への影響に対する把握及びこれまでの取組に対する評価

- ・支援金の周知について、事業者ごとの影響に応じたきめ細やかな支援を行っていくための、丁寧で分かりやすい情報提供の実施に対する取組
- ・ワクチン接種や新たな対症療法が確立される中での今後の感染拡大期における感染防止対策と経済活動の両立を図っていくことに係る所見
- ・緊急事態宣言やまん延防止等重点措置による行動制限が行われ、子どもたちの学びや成長の機会が失われていることについて、児童生徒の教育活動の機会を今後確保することに対する見解

2 洋上風力発電の導入に向けた取組について

- ・再エネ海域利用法に基づく促進区域の指定と有望な区域や一定の準備段階に進んでいる区域の公表に対する受け止め及び促進区域の指定に向けた今後の取組
- ・洋上風力発電に係る拠点港湾の整備について、道内外で計画が進む洋上風力発電の導入を見据えた道内港湾が果たす役割及び港湾振興に対する取組
- ・洋上風力発電の導入における環境への影響や漁業振興の在り方に対する漁業者や事業者との連携及び洋上風力発電の導入における漁業との共生に向けた取組

3 高温、少雨による農作物への影響について

- ・今夏の高温、少雨に伴う生産者への経営支援について、農業共済や収入保険制度といったセーフティーネットへの生産者の加入状況及び近年の自然災害の多発を踏まえた制度への

加入促進に向けた取組

- ・気候変動リスクを踏まえた農業経営の安定化に必要な技術的な対応に対する取組

4 災害時の応急仮設住宅の整備について

- ・災害時に応急仮設住宅を迅速に整備するための備えとして、地域の工務店で対応できる木造応急仮設住宅の導入を検討する必要があるとの考えに係る所見

5 海、河川、湖沼におけるプレジャーボート等の利用について

- ・北海道プレジャーボート等の事故防止等に関する条例の内容及び事故防止や水域の利用調整に対する見解

等について質問があり、知事、総務部危機管理監、総合政策部交通企画監、経済部長、農政部長、水産林務部長及び教育長から答弁。議事進行の都合により午後1時43分休憩。午後1時45分再開し、

武田 浩光議員（民主） から、

1 道民の医療被曝軽減について

- ・診療放射線に係る安全管理体制に関する規定が施行され、個人の医療被曝線量履歴を管理する第一歩が踏み出された

経過に鑑みた道民の医療被曝軽減に対する認識

- ・コロナ禍の影響で、各病院が改正された医療法施行規則にのっとって、医療被曝を適正に管理していることが確認できていない状況に対する見解及び今後の取組

2 新型コロナウイルス感染症対策について

- ・新型コロナウイルス感染症患者を受け入れる臨時の医療施設が果たしてきた役割に対する見解及び今後開設する100床程度の大規模臨時医療施設が果たすべき役割に係る所見
- ・感染拡大期に重症患者や重症化リスクが特に高い人を速やかに病院に入院させるための自宅療養に対する取組
- ・医療体制の負荷を下げるために、10月1日から緊急事態宣言を一気に解除するのではなく、まん延防止等重点措置を政府に要請するべきとの考えに係る所見
- ・第三者認証の開始に際しては万全を期すためにも、所管する各委員会などの議会議論を踏まえて実施すべきとの考えに係る所見及びトラブル防止策なども不十分であることに対する

る見解

- ・第三者認証について、感染リスクの早期把握にCOCOAなどの接触確認アプリの利用を必要条件としない理由に対する見解

3 今後のテレワークの在り方について

- ・道庁が進めているテレワーク推進に係る課題とその対応策
- ・民間企業のテレワークについて、国の基本的対処方針に合わせて一律に出勤抑制7割を要請することはやり過ぎだったのではないかとの考えに係る所見
- ・民間企業の働き方改革やワーク・ライフ・バランスを実現するために様々な支援をすべきとの考えに係る所見

4 福島原発汚染水について

- ・汚染水の海洋放出について、さらなる要請の実施有無及び水産物を買い取り、冷凍保存することが風評被害対策として適切だと考えているのかということに係る所見

5 ヒグマの生活圏侵入について

- ・札幌に出没すると言われているヒグマの積丹・恵庭個体群の推定生息数及びこれまで講じてきた対策
- ・ハンターを含めたヒグマ対策の人材育成に係る所見及び今後のヒグマ対策

等について質問があり、知事、総務部長兼北方領土対策本部長、環境生活部長、保健福祉部長、保健福祉部新型コロナウイルス感染症対策監及び経済部長から答弁。同議員から再質問があつて知事から答弁。同議員から発言があつて、議事進行の都合により午後2時34分休憩。午後3時11分再開し、

檜垣 尚子議員（自民） から、

1 がん対策について

- ・思春期と若年成人世代、いわゆるAYA世代のがん患者への支援の充実を図るべきとの考えに対する取組

- ・がんと診断された場合の患者本人や家族の方々に対する適切な相談支援や情報提供が必要との考えに対する取組

2 循環器病対策の推進について

- ・循環器病による死亡率を改善し、道民の健康寿命の延伸を図るために疾病の早期発見や適切な治療につなげる仕組みが必要との考えに対する取組

3 小児慢性特定疾患の患者の成人期医療への移



行について

- ・小児慢性特定疾患の患者が小児診療科から成人診療科へ円滑に移行するため、積極的に移行期医療に対して支援を行うべきとの考えに対する認識

4 高校生の国際交流について

- ・コロナ禍で先が見通せない状況下における、高校生の国際交流の推進に向けた取組

5 全国学力・学習状況調査の結果について

- ・子どもたちの生活習慣や自分のよさを認めるなどの自己有用感なども含めた、今年度の調査結果に対する受け止め
- ・ICTの活用を含め、子どもたちの心のケアにも配慮したコロナ禍における各学校の取組への支援に係る所見

6 いじめ・不登校問題について

- ・子どもたち同士が話し合いにより、どんなことがいじめになるのかという認識を持ち、一人一人がいじめに気づくようすることも必要なのではないかとの考えに係る所見
- ・不登校児童生徒への対応について、学校と保護者との情報共有はもとより、子どもたちへの1人1台端末で、誰もが相談できる形の居場所づくりも必要になってくるとの考えに係る所見

7 災害時の代替輸送について

- ・災害時における公共交通の体制確保などに係る所見

8 道職員の採用について

- ・看護師や保健師、獣医師などの職の人材不足を補うためには、これまでの発想にとらわれない人材確保策を考えていく必要があるとの考えに係る所見

9 知事公邸等の在り方について

- ・知事公邸等のあり方に関する研究会からの報告を受けた今後の検討に向けた考え方

等について質問があり、知事、総合政策部交通企画監、保健福祉部長及び教育長から答弁。議事進行の都合により午後3時47分休憩、午後3時49分再開し、



白川 祥二議員（結志） から、

1 行財政運営について

- ・財政運営のピンチをチャンスに切り替える実行力に係る所見

2 人口減少解消に向けた方策に

について

- ・人口減少抑止の観点から、道内の強みを生かした産業の複合化に向けた調整役として、積極的に取り組んでいくべきとの考えに係る所見
- ・安心して出産や育児ができる環境づくりに、より積極的に取り組む必要があるとの考えに係る所見

3 災害ボランティアの受入れ体制について

- ・自治体や社会福祉協議会などの関係団体と早急に課題を洗い出し、災害ボランティアの受入れ体制の整備に取り組むべきとの考えに係る所見

4 盛土の調査などについて

- ・土石流などのおそれがある危険箇所の警戒区域等の指定率及び全道平均の指定率を大きく下回っている市町村の指定が遅れている理由と今後の対応
- ・熱海市と同様の危険性がある場所の調査状況と今後の対応
- ・建設残土を処理する際の盛土をめぐる規制条例を道が制定していない理由及び今後の条例化の必要性に対する見解

5 道内送電網の強化について

- ・電力自由化で地域独占が崩れた現在の好機を逃さず、道内送電網の強化につなげるべきとの考えに係る所見

6 食料の安全保障について

- ・第6期農業・農村振興推進計画で設定した2030年度の自給率の目標について、目標達成に向けて品目別に政策効果を具体的に検証していく必要があるとの考えに係る所見
- ・歯止めがかかるない米の消費不振に対する認識
- ・食料の安全保障上の観点から、新たな発想での生産と国産品の消費拡大に向けて取り組んでいくことが重要との考えに係る所見

7 道産木材等について

- ・昨今の道産木材の需要を一過性としないためには利用促進や基盤整備への支援が必要との考えに係る所見
- ・林業の担い手不足について、人材定着に向けては、国や道、業界が一体となり、就業環境の改善などにより一層取り組む必要があるとの考えに係る所見

8 学校図書館について

- ・学校図書館における、司書ら専門的知識を持つ担当者の配置の考え方及びコロナ下におけるICTの積極的活用に係る所見

9 交通安全対策などについて

- ・事故防止に向けて、年代に応じ、様々な機会を捉えて安全教育を実施する必要があるとの考えに係る所見
- ・道内における路上駐車の現状と課題及び今後の対策

10 パーソナルモビリティの移動環境について

- ・パーソナルモビリティの普及に当たり、車道または歩道という機能だけではない低速モビリティーが利用可能となるレーンの整備促進などが必要との考えに係る所見

等について質問があり、知事、保健福祉部少子高齢化対策監、農政部長、水産林務部長、建設部長、教育長及び警察本部長から答弁。議事進行の都合により午後4時33分散会。

○9月27日（月） 午後1時1分開議、諸般の報告の後、

日程第1 議案第2号ないし第25号及び報告第1号ないし第6号を議題とし、一般質問を継続。

星 克明議員（自民）から、

1 ファシリティマネジメントの取組について

- ・道が保有する全ての道有資産について、利用環境を総合的に企画、管理、活用する経営活動、いわゆるファシリティマネジメントについて、さらなる歳入確保のためにはネーミングライツ導入施設の拡大等について検討すべきとの考えに対する見解

- ・道有資産の売却や活用について、未利用財産の状況と処分に向けた今後の取組

2 救急隊員教育について

- ・指導救命士の養成に係る見解

3 新型コロナウイルス感染症対策について

- ・緊急事態宣言解除の際、現在の感染状況や医療提供体制を踏まえて、今後どのような対応が必要かを明らかにし、早急に国と協議を行う必要があるとの考えに係る見解

- ・ワクチン接種の正しい情報の普及啓発に対する取組

4 農業振興について

- ・新規就農者の育成確保に向けた取組
- ・近年の気候変動に対応可能な品種改良を常に継続することや気象予測技術の向上などの研究分野の現状及び今後の取組
- ・かんがい施設の整備に係る見解

5 G I G Aスクールについて

- ・I C Tを活用した学習活動の充実について、道内のこれまでの取組状況や課題に対する認識及び今後の取組の支援に係る見解
- ・専門的なスキルを持った I C T支援員の有用性と早急な体制の充実に係る見解

等について質問があり、知事、総務部長兼北方領土対策本部長、総務部危機管理監、保健福祉部新型コロナウイルス感染症対策監及び教育長から答弁。議事進行の都合により午後1時36分休憩。午後1時39分再開し、



志賀谷 隆議員（公明）から、

- 1 新型コロナウイルス感染症対策について
 - ・今後の感染拡大に備えた道内全体の医療提供体制に対する取組

- ・自宅で療養される方への的確な医療提供に向けた取組
- ・自宅療養者への生活支援サービスについて、必要に応じて自宅療養者に関する情報を市町村に提供した上で市町村と連携するよう努めなければならないとの国の通知を受けた、市町村との情報共有や連携に係る所見
- ・衛生研究所が行った感染症対策及び保健所や札幌医科大学などの関係機関との連携に係る所見

2 中小企業対策について

- ・中小企業に対する効果的な支援を検討していく上でも、道内企業の経営状況などに関する詳細な調査を行うべきとの考えに係る所見
- ・依然として厳しい経営状況にある道内企業への支援に係る所見

3 観光振興について

- ・次期観光のくにづくり行動計画の目標指標の達成に向けた取組
- ・ポストコロナを見据え、インバウンドも含めた誘客戦略の展開に係る所見

4 交通政策について

- ・コロナ禍が長期化する中で、経営状況が深刻化している交通事業の実態に対する認識

- ・持続的な交通ネットワークの構築に向けた対応策を示す必要があるとの考えに係る所見
- ・貸切りバス事業に対する今後の具体的支援
- ・府内をはじめ、民間事業者などを交えたプロジェクトチームなどを設置し、今後の利用喚起策について検討すべきとの考えに係る所見

5 保健医療問題について

- ・新型コロナウイルス感染症の影響によるドナー登録者の確保に対する影響及び登録者を増やすための取組に係る所見
- ・児童虐待相談に的確に対応していくための児童相談所職員の人材確保及び育成に向けた取組

6 福祉的支援が必要な方の再犯防止について

- ・一度罪を犯した高齢や障がいにより福祉的な支援が必要な方を地域で支え、再犯を防止するための今後の取組

7 縄文世界文化遺産について

- ・北海道・北東北の縄文遺跡群の価値を積極的に活用し、地域のにぎわいを創出していくことが重要との考えに対する所見

8 教育問題について

- ・子どもの貧困対策の推進に係る所見

等について質問があり、知事、総合政策部交通企画監、保健福祉部長、保健福祉部新型コロナウイルス感染症対策監、経済部長、経済部観光振興監及び教育長から答弁。議事進行の都合により午後2時23分休憩。午後2時52分再開し、



村田 光成議員（自民）から、

- 1 魅力あるホッカイドウ競馬について
 - ・平成19年度に策定された北海道競馬改革ビジョンを契機に進めてきた改革及び今後の決意

- ・公営ギャンブルと言われる競馬事業を開催する上での公正確保に対する認識及び今後の取組
- ・門別競馬場について、コロナ禍を見据えた誘客対策に関する認識
- ・第3期北海道競馬推進プランで重要課題として掲げた、人材育成と老朽化した門別競馬場の基幹施設の整備に対する方向性及び魅力ある競馬場づくりに向けた考え方に関する所見

2 スポーツ王国北海道の実現について

- ・2030年冬季オリンピック・パラリンピック大

会の招致に対する現状認識及び今後の取組

- ・コロナ禍における部活動の影響に対する認識
及び今後の取組

等について質問があり、知事、農政部長及び教育長から答弁。
議事進行の都合により午後3時19分休憩。午後3時22分再開し、



渕上 綾子議員（民主）から、

1 各種支援金について

- ・新型コロナウイルス感染症に関する各種支援金や補助金の案内の外国語バージョンの作成に係る所見

- ・道の特別支援金Cでは、売上げで対象とならない場合でも、利益で計算する方法を対象とすることに係る所見
- ・緊急事態措置やまん延防止等重点措置に伴う飲食店等への支援金について、どのぐらいの支援金であれば協力できるのか、事業者から聞き取って今後の支援金の計算式を再検討することに係る所見

2 新型コロナウイルス感染症対策について

- ・ワクチンで重篤な症状が出た場合の救済を受けるための高いハードルについて、ワクチンと症状の因果関係を証明するハードルを低くし、迅速かつ手厚い救済を行うよう、制度の改善を国に求める必要があるとの考えに係る所見
- ・行動制限緩和の検討について、ワクチンを打っていない方への差別や不当な扱いにつながらないようにすることに対する担保方法
- ・緊急事態宣言解除後の対応に係る所見

3 農業施策について

- ・果樹園の円滑な事業継承に係る所見
- ・農業共済、収入保険に未加入の農業経営者に対する、国への制度改善を求めるなどを含めた対応

4 プロポーザルについて

- ・全序的な方針に抵触しない範囲で、各種施策の推進につなげるための項目を審査項目に加えることに係る所見

5 職員の接遇について

- ・複数の担当にまたがる案件等に電話や直接の相談で対応する職員の接遇に関する認識と、問題の解決方法に係る所見
- ・生活福祉資金の窓口に来訪した相談者等に寄り添った対応をしない事例が生じないように

することに係る所見

6 同性パートナーと事実上婚姻と同様の事情にある道職員の処遇について

- ・同性パートナーとの内縁関係を認めず、扶養手当などを支給しなかったとして、元道職員が道と共済組合を相手とした、いわゆる元道職員SOGIハラ訴訟について、次回11月に予定されている被告側の反論は、2003年に策定した北海道人権施策推進基本方針に沿ったものであるべきとの考えに係る所見
- ・道が、同性カップルが婚姻に含まれないとしている根拠と、今後、事実上婚姻関係と同様の事情にある者の解釈及び規定の運用を変えることに係る所見

7 AYA世代のがん患者支援について

- ・ウィッグなどのアピアランスケアや、その購入費を助成する制度の創設に係る所見
- ・がん治療前に生殖機能喪失の可能性があることを事前に十分説明されているのか否か及び生殖機能の温存に関する費用を助成する制度を設けるなどの支援に係る所見
- ・若年がん患者の在宅療養費を助成する制度を設けるなどの支援に係る所見
- ・AYA世代のがん患者からの、相談窓口の対応者はAYA世代のがん患者について知ってほしいとの声に応えるための対応
- ・知事との対話の機会を設けてほしいという患者や支援者からの声に係る所見

8 重度障害者の就労支援について

- ・国の重度障害者等就労支援特別事業の施策は積極的に利用すべきとの考えに係る所見及び重度訪問介護制度の不備の改善を国に求めることに係る所見

9 労働者協同組合法について

- ・働く人が自ら出資し、運営に携わることができる協同労働という新しい働き方を実現する法律、いわゆる労働者協同組合法について、各部局横断的に情報共有し、学習会などを開いて研究するところから始めることに係る所見

10 道営住宅に係る地上波の中継設備について

- ・壊れるまで取り替えないのではなく、老朽化したものは取り替えるべきとの考えに係る所見

11 戸籍の性別と自認する性が一致しない者の立

候補届出について

- 立候補届出の性別欄の記載は任意なのか否かに係る所見

12 若年層の投票行動につながる選挙の魅力向上について

- 若年層の投票行動につながる選挙の魅力向上に係る取組

13 パートナーシップ制度について

- パートナーシップ制度を導入することに係る所見

等について質問があり、知事、総務部職員監、保健福祉部長、保健福祉部新型コロナウイルス感染症対策監、経済部長、農政部長、建設部建築企画監、会計管理者兼出納局長及び選挙管理委員長から答弁。同議員から再質問があつて、知事から答弁。同議員から発言があつて、議事進行の都合により午後4時31分散会。

○9月28日（火） 午前10時15分開議、諸般の報告の後、

日程第1 議案第2号ないし第25号及び報告第1号ないし第6号を議題とし、一般質問を継続。

滝口 直人議員（自民）から、

- 新型コロナウイルス感染症対策について
 - 緊急事態宣言の解除などについて、国との協議を踏まえた今後の対応

- 第三者認証制度の現状と今後の取組

2 流域治水プロジェクトについて

- 水防法の改正により洪水浸水想定区域を指定する対象河川が拡大されることに伴う今後の取組
- 道管理の2級水系230水系のうち、令和3年度中に流域治水プロジェクトを策定し、治水対策を推進する40水系を除く、残り190水系の流域治水に対する取組
- 河川の整備に関する市町村支援の取組

3 業務継続計画について

- 各機関においてできるだけ早く業務継続計画を策定し、その対策を事前に準備する必要があるとの考えに対する認識

4 子どもの貧困対策について

- 新型コロナウイルス感染症により、子どもの居場所が奪われる状態が続く中、子どもが孤立することなく、夢と希望を持って成長する

ことができるための子どもの居場所づくりに対する取組

・目標である全市町村における子どもの貧困対策推進計画の策定に向けた取組

5 幼児教育について

- 幼児教育を充実し、子どもの学びと成長の環境を整えるためには、幼児教育施設と小学校との連携、接続の推進、質の高い幼児教育が重要との考え方に対する見解

- 幼小接続の取組について、多忙な教育現場や自治体等の主体的な取組を促すためには、各地域が必要性や効果を感じられるような施策の展開が必要との考え方に対する見解

6 中小企業の振興について

- 商工団体における経営指導員等の拡充をはじめとする運営体制の強化に対する所見
- 後継者不在率が高い中での事業継承の取組

7 全国育樹祭について

- 感染症拡大の収束が見通せない中での大会開催についての所見

等について質問があり、知事、保健福祉部少子高齢化対策監、経済部長、建設部長及び教育長から答弁。議事進行の都合により午前10時57分休憩。午前10時59分再開し、

小岩 均議員（民主）から、

- 新型コロナウイルス感染症対策について
 - 緊急事態宣言解除後の飲食店等に対する緩和策の方針についての所見

- 第三者認証制度の申請について、現時点での承認店舗数及び10月1日までには全ての審査が終わると考えてよいかに係る所見

2 知事の要職について

- 知事等の各種団体役職就任に関する取扱いを定めた目的
- 団体等からの役職就任の依頼方法及び就任する際の決定要件や基準

3 外国人観光施策について

- 道内への観光入り込み客数や消費額の目標指標について、国の観光立国推進基本計画の取組状況及び道独自の分析で目標指標を示すべきとの考え方に対する所見

- インバウンドに係る誘客対象国について、特に東アジアについて国際政治リスクを多く抱えていると指摘する理由と具体的なリスクの

内容及び一方で、時差や移動距離が長い欧米をより重視している理由

- ・外国人観光客による混雑やマナー違反などのオーバーツーリズム対策を受け入れる旅行・観光業界などと検討すべきではないかとの考え方に対する見解

4 外国人技能実習制度について

- ・技能実習生の入出国制限による様々な影響について、道内の実習生とそれを受け入れる事業者の双方が抱える問題に対する捉え方
- ・毎年行っている外国人技能実習制度に係る受入状況の調査によって、この1年の制度あるいは実習生の実態に対する傾向や特徴における分析結果
- ・大手人材派遣会社と締結した技能実習生の就業支援に対する目的及び具体的な内容
- ・一般財団法人外国人材共生支援全国協会の概要及び知事が当該協会の特別顧問に就任した経緯
- ・当該協会が行った副知事への要請内容と対応

5 日本ハムボールパーク構想について

- ・コロナ後を見据えたボールパークを活用した観光振興の取組
- ・ボールパークに関連して設立された、オール北海道ボールパーク連携協議会での検討状況及び北海道としての関わりに係る所見
- ・自然保護団体や学識経験者との協議の進め方、また自然環境の保全に配慮した工事の在り方や整備後の維持管理の方法
- ・隣接した道立高校等の学校周辺の教育環境が激変している状況について、ボールパークと教育施設の関わりに対する見解

6 道民の文化・芸術向上の取組について

- ・コロナ禍及びポストコロナにおける道民の読書活動に対する認識
- ・道立図書館について、図書館としての役割を含めた現状に対する認識及びコロナ禍における読書活動の推進に向けた取組
- ・道民の読書活動を習慣化するための環境づくりについて、民間と連携した環境整備の実態に係る所見
- ・道立の文化的複合施設について、知事公邸等の在り方及び活用に対する認識
- ・道立図書館との併設を踏まえた近代美術館の今後の在り方に対する見解

等について質問があり、知事、総務部職員監、環境生活部長、経済部長、経済部観光振興監、建設部長及び教育長から答弁。同議員から再質問があつて、知事から答弁。議事進行の都合により午後零時2分休憩。午後1時12分再開し、



大越 農子議員（自民）から、

- 1 道の職場環境づくりについて
 - ・北海道特定事業主行動計画や北海道職員に係る障がい者活動推進計画、職員のワークライフバランスの推進に関する

指針などの計画に基づく取組の状況及び今回の職員アンケートの結果に対する認識

- ・職員の離職意識なども踏まえた安心して働き続けることができる職場環境に係る所見及び今後の取組

2 道産水産物の消費拡大について

- ・道産水産物の消費拡大に向けた魚食の定着等の取組

3 ふるさと納税の取組について

- ・コロナウイルス感染状況の見通しがつかない一方で、ワクチン接種などの感染抑制の取組が進められている状況下における、ふるさと納税制度のさらなる活用に向けた取組

4 DXの推進について

- ・道内179市町村全てにおいて、積極的にデジタル化を推進されるためのこれまでの取組及び今後の取組
- ・民間の企業等の協力を得て、民間の最新の技術や感覚を実務に取り入れていくことが必要との考えに対する認識と、デジタル人材確保に向けた今後の取組
- ・デジタルデバイドの問題に対する認識と、解消に向けたこれまでの取組及び今後の取組

5 中高年のひきこもり対策について

- ・早急にひきこもりの方のより実態に近い数値の把握が必要との考えに対する認識
- ・身近な市町村にひきこもり相談窓口を設置し、相談体制を強化する対策についての現状の認識及び今後の取組
- ・ひきこもりを経験された方を活用した取組の把握及び取組の評価と今後の取組

6 感染症対策等の啓発について

- ・啓発を効果的に行うため、漫画、アニメなどを広報に生かすべきとの考えに係る所見及び今後の感染症対策等の広報の取組

7 道総研の活用について

- ・令和3年6月にスタートした官民連携による道産コーンウイスキープロジェクトの展開に対する受け止め及び今後のプロジェクトへの関わり方
- ・道総研の様々な研究成果や人材などを教育分野で有効に活用するための道総研との連携推進に向けた今後の取組姿勢

等について質問があり、知事、総務部職員監、総合政策部次世代社会戦略監及び教育長から答弁。議事進行の都合により午後1時50分休憩。午後1時52分再開し、



広田 まゆみ議員（民主）から、

- 1 ゼロカーボン北海道の実現と地域環境権などについて
 - ・地域環境権という概念の必要性に対する認識
 - ・地球温暖化防止対策条例の見直しの視点の中に、地域環境権についても加えるべきとの考えに対する見解
- ・農業政策について、みどりの食料システム戦略における化学農薬、化学肥料の削減に向けた具体的な目標及び今後の取組
- ・グリホサートやネオニコチノイド系の農薬について、北海道が率先して使用しないことなど、もともと有機農業などに関心の高い層に北海道の減農薬の取組をアピールすることが重要との考えに対する見解
- ・今後の有機農業推進の在り方及び指標設定の方向性に対する見解
- ・再生可能エネルギーについて、バイオマスの利活用をこれまで以上に進めるとともに、優良農地を確保しつつ、営農を継続しながら行う太陽光発電や風力発電などの導入検討についても、新たな農家の所得保障にもつなげる観点から、積極的に取り組むべきとの考えに対する見解
- ・北海道の森林の価値を高める吸収源対策の在り方について、北海道森林吸収源対策推進計画における、2030年度の約480万トンCO₂の吸収量を確保するといった目標が達成されたときに想定される北海道の森林及び森林関連産業の状態
- ・道産材による木造住宅や木製家具などの使用率、関連指標として掲げられている針葉樹における建築用製材の生産比率や木質バイオマ

スエネルギー利用量などについても、より高い指標を2030年に向けて掲げるべきとの考え方に対する見解

- ・新たな木材需要の創出と供給体制の整備のため、公共、民間の投資が、ゼロカーボンの実現に貢献しつつ、地域に循環する森林関連産業を支援する具体的な取組を打ち出すことが重要であるとの考え方に対する見解
- ・現在の道有林カーボンオフセット取引の現状及び北海道森林吸収源対策推進計画における吸収源の活用の在り方の位置づけと今後のあるべき姿に対する見解
- ・ゼロカーボンの実現を一つの契機とした、加工も含めた水産業全体の再エネ化の進め方及び北海道水産業の付加価値を上げるための取組
- ・本年見直された北海道交通政策総合指針におけるゼロカーボン推進のための議論経過及び交通分野におけるゼロカーボンの実現に向けた今後の取組
- ・これまでの北方型住宅に象徴される省エネの推進にとどまることなく、新エネ、蓄エネも加味した住宅政策として、抜本的に見直すべきとの考え方に対する見解
- ・住宅個々の軸体のスペックを上げるだけでは市場価値につながってこなかった現実の受け止め及びどんな付加価値を北方型住宅2020に乗せていくべきと考えるのかに対する見解
- ・リフォーム市場におけるこれまでのゼロカーボンの取組課題への認識及び今後活性化していくための取組
- ・集合住宅の再エネ化について、太陽光発電と蓄電池の設置、ビル壁面などへの次世代型太陽光電池設置の実験的導入、入居者の負担軽減にもつながるようなエネルギー管理システムの試行なども含めた道営住宅の新たな役割についても検討すべきとの考えに係る所見
- ・災害時には避難所ともなることの多い公立学校施設の再エネ化の推進について、中央政府の動向の把握と今後の対応
- ・道内の小中学校の再エネ化の状況把握と支援及び道立高校の再エネ化への今後の取組
- ・ゼロカーボンの実現に教育現場から貢献するための今後の取組

2 連携地域別政策展開方針の在り方について

- ・地域からの主体的な動きを、ゼロカーボンの実現のための施策に反映させる取組
- ・今後のゼロカーボンの実現のための地域の政策展開についての所見
- ・地域振興のためのKPIの設定の在り方について、地域振興を進める上でエネルギー収支を含む域内循環などのデータ共有の必要性に対する認識

3 文化政策について

- ・ほっかいどう歴史・文化・自然「体感」交流空間構想について、構想を実現するための指定管理の在り方の現時点での検討状況及び長期的な維持補修の計画
- ・北海道デジタルミュージアムの進捗状況及び屋外彫刻という資源も対象に含めるべきとの考え方に対する見解

等について質問があり、知事、総合政策部地域振興監、総合政策部交通企画監、環境生活部長、農政部長、農政部食の安全推進監、水産林務部長、建設部建築企画監及び教育長から答弁。同議員から再質問があって、知事から答弁。同議員から再々質問があって、知事から答弁。同議員から発言があって、議事進行の都合により午後3時3分休憩。午後3時31分再開し、



丸岩 浩二議員（自民）から、

- 1 ヒグマ対策について
 - ・ヒグマとの共存共生に向けた取組として、電気柵の活用を進めていくべきとの考えに係る所見

- ・地域が取り組む鳥獣被害防止対策への支援制度の創設を国に要望すべきとの考えに係る所見

- ・一年を通じて継続的にヒグマ問題に対応できるような組織体制を、ヒグマ管理計画の見直しに合わせて構築すべきとの考えに係る所見

2 生産者支援について

- ・道産農産物などの学校給食提供について、市町村や学校、地域の生産団体とも連携協力し、地元の農産物などを学校給食に提供する機会を設けるべきとの考えに対する見解
- ・コロナ禍における消費拡大の取組について、産学官などが連携した消費拡大、生産者支援の実効性のある取組を進めるべきとの考えに対する見解

3 スポーツ王国北海道の実現に向けた今後の取組について

- ・東京2020オリンピック・パラリンピックにおける道内出身選手の活躍に対する受け止め及び道内におけるタレントアスリートの発掘や育成に向けた今後の取組
- ・2030年冬季オリンピック・パラリンピックの札幌招致に向けた取組
- ・北海道ナショナルトレーニングセンターの誘致に対する、スポーツ王国・北海道の実現に向けた今後の取組の方向性

等について質問があり、知事、環境生活部長及び農政部食の安全推進監から答弁。議事進行の都合により午後4時1分休憩。午後4時3分再開し、



新沼 透議員（結志）から、

- 1 人口減少と圏域について
 - ・人口の札幌一極集中と地方の人口減少に拍車がかかっている課題に対する認識及び今後の取組

- ・自治体間の広域連携の推進が弱まることは、札幌圏以外の人口のダム機能を弱め、札幌一極集中を加速させているとの考えに係る所見
- ・住民の生活環境が密接に関係している地域を一つの圏域として捉え、経済基盤を築いて、魅力ある圏域の形成に向けて国と連携しながら取組を進めていくべきとの考えに係る所見

2 航空路線について

- ・空港の民間委託が行われなかつたオホーツク紋別空港と中標津空港における、運休や減便の解消などに向けた航空会社との交渉について、空港管理者としての道の支援が求められていることに係る所見

3 高温少雨による酪農の影響について

- ・高温、少雨によって粗飼料である牧草が不足しないために対応を講じることが必要である状況に対する認識及び粗飼料の確保に向けた対応

- ・乳牛への影響について、本年の高温下における家畜や乳質への影響及びこれらの状況を踏まえた対応

4 木質バイオマスの地域内での熱利用について

- ・地域で発生する木質バイオマスを地域の熱源として利用していくことについて、道が先頭に立って地域の熱利用の取組を積極的に進めていく必要があるとの考えに係る所見

5 ホタテガイの輸出振興について

- ・本道漁業の生産額が低迷する中でのホタテガイの輸出促進に対する取組
- 6 コミュニティ・スクールについて
- ・北海道教育推進計画において目標としている令和4年度までのコミュニティースクールの導入について、導入促進が一層望まれていることに対する認識
 - ・コミュニティースクールの取組の充実に向けた今後の取組

等について質問があり、知事、総合政策部地域振興監、総合政策部交通企画監、農政部長、水産林務部長及び教育長から答弁。議事進行の都合により午後4時41分散会。

○9月29日（水） 午前10時6分開議。諸般の報告の後、議長から、9月26日執行の旭川市選挙区補欠選挙において当選した林祐作議員（自民）並びに宮崎アカネ議員（民主）を紹介した後、

日程第1 議席の一部変更並びに補欠当選議員の議席指定の件を議題とし、配付の議席表のとおりとすることに決定。

日程第2 補欠当選議員の常任委員選任の件を議題とし、林祐作議員（自民）を総務委員に、宮崎アカネ議員（民主）を総合政策委員に、それぞれ選任することについて異議なく決定。

日程第3 特別委員補欠選任の件を議題とし、林祐作議員（自民）並びに宮崎アカネ議員（民主）を少子・高齢社会対策特別委員に、それぞれ補欠選任することについて異議なく決定。

日程第4 議案第2号ないし第25号及び報告第1号ないし第6号を議題とし、一般質問を継続。

桐木 茂雄議員（自民）から、

- 1 新型コロナウイルス感染症対策について
 - ・広域な本道の特性を考慮し、地域の感染状況に応じた一定の対策の継続が必要であるとの考えに係る所見
- 2 ヒグマ被害対策について
 - ・町村を超えて対応できるヒグマの駆除体制の構築やガバメントハンターの配置など、市町村を通じた広域的な駆除体制の確立が必要との考えに対する見解
 - ・市町村における対策の強化のためにも、北海道がガバメントハンターを配置すべきとの考え方に対する見解



・専門機関の知見や情報を共有し、道と地域が連携して、国の支援制度などを活用しながら対策に取り組む必要があるとの考え方に対する見解

3 小規模事業者の振興について

- ・商工会、商工会議所が策定する経営発達支援計画について、現状、個人事業主の個々の問題に遭遇せず、適しない指導になっている場合があることに対する商工会への支援
- ・企業の強固な経営体質の強化に努めることに係る所見
- ・事業承継について、単に親から子への承継や社員からの持ち上がりではなく、業種を補う新たな事業承継への取組も大きな問題であるとの考え方に対する見解
- ・商工業の創業支援についても、農業で言う就農支援的な役割を果たすシステムが必要との考え方に対する見解

4 農道整備について

- ・農道整備事業予算の確保をはじめ、老朽化や農作業機械の大型化への対応、計画的な農業整備の協議が重要であるとの考えに係る所見

5 林業を担う人材について

- ・北海道立北の森づくり専門学院における、来春の卒業生の地域への就業、定着に向けた取組
- ・森林づくりを担う人材の確保に向けた取組

6 道立広域公園の整備について

- ・新たな道立広域公園の整備に向けた、スケジュール感を含めた今後の取組

等について質問があり、知事、環境生活部長、経済部長、農政部長及び水産林務部長から答弁。議事進行の都合により午前10時49分休憩。午前10時52分再開し、

阿知良 寛美議員（公明）から、

- 1 北海道創生総合戦略について
 - ・北海道創生総合戦略の見直しに当たっての北海道総合計画との関係の整理及び今後、両計画の推進を通じてもたらす相乗効果に係る所見
 - ・北海道創生総合戦略の見直しに伴う、地域の暮らしや社会経済活動への結びつけ及び道民一人一人が実感できる北海道創生の実現に係る所見
- 2 プラスチック資源循環の促進について

- ・プラスチックに係る資源循環の促進等に関する法律の施行を踏まえた、市町村の取組への対応
- 3 カーボンニュートラルの取組について
- ・全国と比べた家庭部門の二酸化炭素の排出状況及び家庭部門における二酸化炭素の排出量削減に向けた取組
 - ・ゼロカーボン北海道の実現に向けて、家庭や中小企業向けの相談窓口を設置することなどについても検討すべきとの考えに係る所見
 - ・森林吸収源対策としての植林を一層進めるための今後の取組及び北海道森林吸収源対策推進計画の見直しに当たり、二酸化炭素の吸収量の目標となる数値を明確に示すべきとの考えに係る所見
- 4 道有地の有効活用について
- ・国際化や芸術文化などの交流拠点と位置づけて、知事公館敷地等の道有地の一体的な有効活用を検討すべきとの考えに係る所見
- 5 ヒグマ対策について
- ・ヒグマの市街地出没や生息数の増加など、新たな状況を踏まえた今後の具体的な取組
- 6 自然公園内の歩道整備について
- ・ポストコロナに向けた、観光客を呼び込むための自然公園の環境整備及び通行止めが続いている自然公園の散策路の早期開通に向けた今後の対応
- 等について質問があり、知事、総合政策部地域振興監、環境生活部長、水産林務部長及び教育長から答弁。議事進行の都合により午前11時23分休憩。午前11時25分再開し、
- 内田 尊之議員（自民）**から、
- 1 スマート農業の推進について
 - ・I C Tを活用した牧草生産実証事業の成果に対する認識及び今後の実用化に向けた取組
 - ・農家が行う作業をロボットや
- I C TあるいはA Iが代わりに行うなど、労働力不足の解消につながる、スマート農業の推進に向けた今後の取組
- 2 社会福祉施設における感染対策と人材確保について
 - ・社会福祉施設における継続した感染防止対策に対する取組
 - ・社会福祉施設を運営していくための介護職員の確保に向けた取組
- 3 胆振東部地震における森林再生について
- ・胆振東部地震で被災した森林の再生に向けた今後の取組
 - ・被災森林の所有者が意欲を持って経営を継続できるような支援が必要との考え方に対する見解
- 4 日本海漁業振興について
- ・増養殖で漁港水域を利用するに当たっての課題及び課題解決に向けた今後の取組
- 5 アドベンチャートラベルの推進について
- ・オンラインを活用したバーチャル開催によるアドベンチャートラベル・ワールドサミットの成果に対する認識及び今後開催が予定されている2023年サミットを見据えたアウトドア活動振興推進計画の見直しの観点
 - ・アドベンチャートラベルに対応したガイドの育成について、アドベンチャートラベルを推進するための観点やスケジュール感及び本道観光の発展につなげていくための取組
- 6 生涯学習の推進について
- ・道民に様々な学習機会を提供するための道民カレッジについて、開講から20年が経過した現在の検討状況及び今後の在り方に係る所見
- 7 サイバーセキュリティ対策について
- ・サイバー空間の安全確保に向けて、悪質なサイバー攻撃から道民を守るための今後の取組等について質問があり、知事、保健福祉部長、経済部観光振興監、農政部長、水産林務部長、教育長及び警察本部長から答弁。同議員から発言があって、議事進行の都合により午後零時6分休憩。午後1時12分再開し、
- 高橋 亨議員（民主）**から、
- 1 道内の土地利用について
 - ・十分な審議を行わないまま、強行採決された重要土地等調査法に求めている具体的な内容
- ・道内の国民保護・安全保障上、重要な施設周辺における土地の外国人所有に対する現在の把握状況及びその所有者に対する安全保障上の懸念
 - ・重要土地等調査法の成立に関し、府内に新たな担当部局の設置と条例制定を求める提案があり、時期を逸せず、適時適切に対応する旨の答弁をした真意
 - ・指定地域の1キロメートルの範囲における土

- 地建物所有者の調査が個人的属性や社会的属性にまで及ぶことに対する見解
- ・全道に展開する国民保護機関の施設周辺の土地などの所有者数
 - ・注視区域に係る国境離島等が特定国境離島等である場合には、当該注視区域を特定注視区域として指定することができるとする、重要土地等調査法第12条について、北海道の行政区域である北方領土はこの特定国境離島に該当するのか否かに係る所見
- 2 議会での知事答弁について
- ・道議会が本会議での一問一答制を導入した場合、対応可能かに対する見解
- 3 看護学生の支援について
- ・看護師養成に係る修学資金貸付制度の壁により町村の看護師不足が解消に向かわないとに対する受け止め
 - ・修学資金条例について、経済的困窮世帯の生徒を支援するとともに、町村部への看護師の誘導を目的とするための見直しに係る所見
- 4 原発政策について
- ・原発の再稼働に関して、しっかりととした避難計画がない中で再稼働が実態として進むことはないという菅総理の発言に係る所見
 - ・泊原発が事故に至った場合を想定した現在の避難計画が、周辺住民の不安に十分応え得る計画となっていることに対する根拠
 - ・大間原発について、県境をまたぐ場合の北海道の立場に係る所見
 - ・福島原発事故に関わる汚染処理水の海洋放出に対する水産業関係者と消費者に向けた対応等について質問があり、知事及び総務部危機管理監から答弁。
 - 同議員から再質問があつて、知事から答弁。同議員から再々質問があつて、知事から答弁。同議員から発言があつて、議事進行の都合により午後2時6分休憩。午後2時8分再開し、



久保秋 雄太議員（自民）から、

- 1 本道の酪農について
- ・コロナ禍において一層明確になった生乳の需給変動について、都道府県で需給調整機能を担うべきとの声を踏まえた、今後の乳製品の消費拡大や生乳の需給調整を行う体制の構築に向けた取組
 - ・酪農における災害発生時の断水対策に関するアンケート調査結果を踏まえた、災害発生時

の酪農家の断水対策に対する取組

2 優良種苗の増産について

- ・各地域で主要樹種や林相が異なることに伴い、地区ごとに違いがある苗木生産の現状及び苗木の安定供給に向けた取組
- ・ゼロカーボン北海道を実現するための森林吸収源対策のさらなる強化に向けたクリーンラーチ等の増産への取組

3 交通政策について

- ・昼夜を問わず機動性の高い公共交通として社会に認知されているハイヤー・タクシー事業者の役割に対する認識
- ・ハイヤー・タクシーの事業継続について、厳しい道財政の下、支援を継続的に実施していくためには、国の新型コロナウイルス感染症地方創生臨時交付金の増額をはじめ、国との連携も見据えた支援策の構築が必要との考えに係る所見

4 市街地再整備の推進について

- ・都市部のにぎわいの喪失や商業施設の減少など、様々な課題を抱えている道内の市町村において、国の補助制度などを活用して市街地の再整備を推進すべきとの考えに対する見解

5 無電柱化の推進について

- ・市街地の整備を進めていく上での今後の無電柱化の推進に対する見解

6 スポーツ振興について

- ・緊急事態宣言が発令されている場合など、コロナ禍における大会等の取扱いに対する各競技団体などへの対応
- ・コロナ禍における大会等の運営や参加の取扱いに対して行われている判断の実態を把握する必要があるとの考えに係る所見
- ・スポーツ活動に関する暴力行為等の相談窓口の存在を広く周知する必要があるとの考えに係る所見
- ・障がい者スポーツの推進に対する課題及び今後の対応

7 コロナ禍における子どもの心のケアについて

- ・新型コロナウイルス感染症に関する差別や誹謗中傷、いじめが行われることがないよう、子どもたちはもとより、保護者への働きかけなどの取組が必要との考えに係る所見。

等について質問があり、知事、総合政策部交通企画監、環境生活部長、農政部長、水産林務部長、建設部長及び教育長から答

弁。議事進行の都合により午後 2 時44分休憩。午後 3 時12分再開し、



吉川 隆雅議員（自民）から、

1 政策の展開方針について

- ・知事公約の進捗・達成状況に対する認識及び来年度の政策の展開方針の取りまとめに向けて指示しようとしている考え方や政策検討の視点

- ・本道の重要施策の展開に向けた、来年度予算の編成に臨む考え方に関する所見

2 デジタル化について

- ・北海道電子自治体プラットフォーム構想の取組を国に積極的に発信するなどしてデジタル庁との関係を深め、連携協働していくべきとの考え方に対する見解
- ・本道産業、企業の生産性向上と競争力強化、稼ぐ力の向上を目的としたDXの推進に係るデジタル人材の育成確保に向けた取組
- ・情報通信ネットワーク上にある端末同士を直接接続して、取引記録を暗号技術を用いて分散的に処理、記録するデータベースの一種であると定義されているブロックチェーン技術の活用に対する見解
- ・先進性を持ったデジタル化の取組を進めるための技術の調査研究に関する所見
- ・今後のAIを活用した取組
- ・コロナ対策における今後のデジタル技術の活用に関する所見

3 難聴児の支援について

- ・新生児聴覚検査等について、現在の新生児スクリーニング検査の市町村公費助成制度の導入状況及び受検率の推移
- ・新生児聴覚検査で難聴と診断された子どもと保護者に対する相談とケアの体制整備、療育機関までの接続に対する取組
- ・難聴児の療育支援の体制について、療育内容の向上を図るために研修や、リモートを活用した療育環境の確保及び関係者間の連携に対する取組

4 インバウンド観光の振興について

- ・インバウンド向けの商売に力を入れていた事業者に対する、事業継続に向けた支援に関する所見及び今後のインバウンド振興に対する取組

5 ワイン産業の振興について

- ・北海道大学及び北海道ワイン教育研究センターと連携した、今後のワイン産地としての北海道の形成に向けた取組

- ・道産ワイン産業を道外及び海外において競争力を持つ産業に育成するための今後の取組

等について質問があり、知事、総合政策部次世代社会戦略監、保健福祉部長及び経済部食産業振興監から答弁。議事進行の都合により午後 3 時42分休憩。午後 3 時44分再開し、



真下 紀子議員（共産）から、

1 新型コロナウイルス感染症対策等について

- ・コロナ感染が 1 年 8 か月たつても収束のめどが見えず、緊急事態宣言が続く事態を招いた菅政権のコロナ対策に対する評価

- ・感染状況に対する甘い判断と後手に回った対応が長期化の要因であることを真摯に反省し、今後の対策に生かすべきとの考えに係る見解
- ・自宅療養が急増した緊急事態宣言の間に発生した、病床確保や宿泊療養の運用に対する課題

- ・千葉市での学校職員のローラー検査の取組を学び、これまで以上の検査による早期捕捉に取り組むべきとの考えに係る所見

- ・保健所の人員・体制強化について、資格と専門性を持った職員が職務に取り組めるよう最優先に考えるべきとの考えに対する次年度に向けた取組

- ・地域医療における公立・公的病院が果たしている重要な役割に対する評価

- ・国の病院・病床削減計画に対し、本道の実態を訴え、医療圏域ごとに対応できる病床を確保すべきとの考えに対する取組

- ・緊急事態宣言が解除される10月 1 日以降の行動制限緩和によるリバウンドリスクに対する具体的な対応

- ・緊急事態措置区域等における行動制限緩和に向けたワクチン接種証明や陰性証明を活用した技術実証に対する参加の意向について、接種できない人への差別や不公平な待遇、不利益にならないための対策の担保に係る所見

2 気候危機と原発・エネルギー政策等について

- ・気候危機打開のために、現行の35%という低いCO₂削減目標を見直し、50%から60%以

- 上に目標を設定すべきとの考えに係る所見
- ・再生可能エネルギーの目標設定に向けた取組
 - ・再生可能エネルギーの導入において、環境保全地区と建設可能地区の基準を明確にしたゾーニングを進める必要があるとの考えに対する所見
 - ・再生可能エネルギーを主要電源とし、原発に頼らない電源構成を目指すべきとの考えに対する見解
 - ・ゼロカーボンの実現に向けて、住民や地元企業に専門的なアドバイスを行うワンストップ相談窓口を設置していくことが必要との考えに係る所見

3 地方交通について

- ・北海道新幹線札幌延伸に伴う、後志と渡島両地域の並行在来線存続の意義に係る所見及び沿線地域だけの議論にとどめず、道がイニシアチブを發揮して路線維持と利用促進議論を進めるべきとの考えに係る所見。
- ・鉄道における災害復旧を国の責任で行う仕組みを求め、路線存続に向けて取り組むことに関する所見

4 米政策と食料自給率向上について

- ・米価下落への影響に対する危機意識を持った受け止め及び米価下落に対する打開方法に係る所見
- ・食料自給率の向上について、北海道が米生産を増強し、SDGsに貢献できる地域となる展望を持つべきとの考えに係る所見
- ・米の消費支援としての事業を行うことが必要との考えに係る所見

5 盛土・残土対策等について

- ・建設工事により発生する土砂等に対する法整備の必要性に対する認識及び国に対し、建設残土規制と盛土に関する法整備を求めるべきとの考えに対する見解
- ・本道の建設残土発生量
- ・土砂埋立て等を包括的に規制できる条例制定の必要性及び今後の取組
- ・新幹線工事に伴う残土規制の必要性に係る所見及び適切な安全基準を設けた上で盛土計画を義務づけるよう、国と鉄道・運輸機構に対して要請を行うべきとの考えに係る所見

6 ヒグマ対策について

- ・調査と生息状況の把握に対する取組及び専門

家の養成に係る所見

- ・道内の市街地での駆除例の状況と件数及び対応方法
- ・道警察における対応事案の検討状況及びヒグマとの共生に向けた生態や駆除に関する研修、想定訓練の実施状況
- ・道警察における安全確保を最優先とした行政との連携、駆除の判断等について、現場対応における専門的見地での指導に係る所見
- ・市街地への出没や農業被害等を防ぐための、電気柵などの設置に対する今後の対策

7 産業廃棄物最終処分場について

- ・安平町に設置予定の産業廃棄物最終処分場について、2017年5月に安平町や自治会から反対意見書が出たにもかかわらず許可した理由及び環境保全協定の締結有無に係る所見
- ・設置事業者に対し、工事を強行することなく、説明を求める安平町と住民に対して誠実な説明と協議、対応を求めるべきとの考えに対する今後の取組

8 教育問題について

- ・校則の実態把握状況に係る具体的な内容
- ・校則の実態把握と同時に行われた校則の見直しの状況
- ・校則の見直しによる教育的効果及び見直しを進めるまでの課題に対する今後の取組
- ・小中学校における特別支援学級の児童生徒と通常の学級の児童生徒が共に行う交流及び共同学習を考慮し、特別支援学級の児童生徒が通常学級の児童生徒として含まれない学級編制基準を早急に解消すべきとの考えに係る所見
- ・報道で発覚した日高教育局長をはじめ、日高教育局職員8人の飲酒会食について、説明や謝罪等の対応が報道後となった理由
- ・道民への自肃要請中に地方の教育行政のトップが、それに反したことに対する責任の受け止め及び青春がなくなってしまうほど我慢している児童生徒たちの受け止め
- ・教育行政に重大な影響を及ぼすと考えなかつたのか否かに対する見解
- ・過ちがあれば、事実を解明、謝罪し、再発を防止していくことが教育的対応であるとの考えに対する今後の対応

等について質問があり、知事、総合政策部交通企画監、環境生

活部長、環境生活部ゼロカーボン推進監、保健福祉部長、保健福祉部新型コロナウイルス感染症対策監、経済部長、農政部長、建設部長、教育長及び警察本部長から答弁。同議員から再質問があつて、知事から答弁。同議員から再々質問があつて、知事から答弁。質疑並びに質問を終結。

議長から、予算及び決算に関する案件について、本会議に27人の委員をもつて構成する予算特別委員会及び27人の委員をもつて構成する決算特別委員会を設置し、関係案件を両委員会にそれぞれ付託の上審査することを諮り、異議なく決定。次の委員を議長指名により選任。

○予算特別委員（27人）

檜垣 尚子（自民）	星 克明（自民）
宮下 准一（自民）	渡邊 靖司（自民）
松本 将門（民主）	壬生 勝則（民主）
山根 理広（民主）	菊地 葉子（共産）
中野渡志穂（公明）	荒当 聖吾（公明）
中川 浩利（民主）	大越 農子（自民）
太田 憲之（自民）	桐木 茂雄（自民）
佐藤 稔洋（自民）	花崎 勝（自民）
吉田 祐樹（自民）	沖田 清志（民主）
松山 丈史（民主）	赤根 広介（結志）
佐藤 伸弥（結志）	滝口 信喜（結志）
須田 靖子（民主）	富原 亮（自民）
千葉 英守（自民）	藤沢 澄雄（自民）
喜多 龍一（自民）	

○決算特別委員（27人）

寺島 信寿（公明）	小泉 真志（民主）
武田 浩光（民主）	植村 真美（自民）
佐々木大介（自民）	滝口 直人（自民）
村田 光成（自民）	安住 太伸（自民）
渕上 綾子（民主）	宮川 潤（共産）
白川 祥二（結志）	久保秋雄太（自民）
千葉 英也（自民）	船橋 賢二（自民）
三好 雅（自民）	吉川 隆雅（自民）
沖田 清志（民主）	梶谷 大志（民主）
広田まゆみ（民主）	赤根 広介（結志）
森 成之（公明）	池本 柳次（結志）
三津 丈夫（民主）	富原 亮（自民）
千葉 英守（自民）	中司 哲雄（自民）
遠藤 連（自民）	

議案第14号を新幹線・総合交通体系対策特別委員会に付託することについて異議なく決定し、残余の議案については、議案付託一覧表のとおりそれぞれ所管の委員会に付託。

日程第5 請願第18号を議題とし、産炭地域振興・エネルギー問題調査特別委員会に付託することに決定。

各委員会付託議案等審査のため9月30日から10月1日まで及び10月4日から10月7日までの本会議を休会することに決定し、午後5時18分散会。

○10月8日（金） 午後1時1分開議、諸般の報告の後、

日程第1 議案第2号ないし第25号を議題とし、予算特別委員長、総務委員長、総合政策副委員長、経済委員長、水産林務副委員長、建設副委員長、新幹線・総合交通体系対策特別副委員長、農政副委員長及び保健福祉副委員長から、それぞれ各委員会における付託議案審査の経過と結果について報告。

討論に入り、真下紀子議員（共産）から、議案第21号に関する反対討論があつて、討論終結。

採決に入り、議案第21号を問題とし、委員長報告（可決）のとおり決することについて起立多数により原案可決。

次に、議案第2号ないし第20号及び第22号ないし第25号を問題とし、委員長報告（すべて可決）のとおり決することについていずれも意義なく原案可決。

日程第2 議案第26号ないし第30号を議題とし、知事から追加提出議案に関する説明の後、委員会付託を省略。

採決に入り、議案第27号を問題とし、起立多数により同意議決。

次に、議案第26号及び第28号ないし第30号を問題とし、いずれも異議なく同意議決。

日程第3 意見案第1号ないし第3号を議題とし、説明及び意見案第1号の委員会付託を省略し、採決に入り、いずれも異議なく原案可決。

日程第4 議員派遣の件を議題とし、議員を派遣することについて異議なく決定。

閉会中継続審査の件について、決算特別委員長から、報告第1号ないし第6号について、申出のとおり、閉会中の継続審査に付することに決定。

閉会中請願継続審査及び事務継続調査の件について、各常任委員長並びに議会運営委員長、産炭地域振興・エネルギー問題調査特別委員長及び少子・高齢社会対策特別委員長から、申出のとおり、閉会中の継続審査または調査に付することに決定。

今期定例会に付議された案件は、報告第1号ないし第6号を除きすべて議了。

午後1時38分閉会。

提 出 案 件

第3回定例会において知事から提出のあった案件

議 案

提 出 年 月 日	番 号	件 名	付 託 委 員 会	議 決 年 月 日	議 結 事 果
3. 9.14	1	令和3年度北海道一般会計補正予算（第4号）	付託省略	3. 9.14	原案可決
3. 9.14	2	令和3年度北海道一般会計補正予算（第5号）	予 算	3.10. 8	原案可決
3. 9.14	3	令和3年度北海道国民健康保険事業特別会計補正予算（第1号）	予 算	3.10. 8	原案可決
3. 9.14	4	令和3年度北海道石狩湾新港地域開発出資特別会計補正予算（第1号）	予 算	3.10. 8	原案可決
3. 9.14	5	令和3年度北海道営住宅事業特別会計補正予算（第1号）	予 算	3.10. 8	原案可決
3. 9.14	6	令和3年度北海道工業用水道事業会計補正予算（第2号）	予 算	3.10. 8	原案可決
3. 9.14	7	北海道税条例の一部を改正する条例案	総 務	3.10. 8	原案可決
3. 9.14	8	災害対策基本法の一部改正に伴う関係条例の整理に関する条例案	総 務	3.10. 8	原案可決
3. 9.14	9	北海道総合政策部手数料条例の一部を改正する条例案	総合政策	3.10. 8	原案可決
3. 9.14	10	行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律の一部改正に伴う関係条例の整理に関する条例案	総合政策	3.10. 8	原案可決
3. 9.14	11	北海道中小企業者等に対する融資に係る損失補償金の返納の免除に関する条例の一部を改正する条例案	経 済	3.10. 8	原案可決
3. 9.14	12	北海道森林づくり条例の一部を改正する条例案	水産林務	3.10. 8	原案可決
3. 9.14	13	下水道法の一部改正に伴う関係条例の整理に関する条例案	建 設	3.10. 8	原案可決
3. 9.14	14	空港整備事業に伴う地方公共団体の負担金に関する件	新幹線・総合交通体系対策	3.10. 8	原案可決
3. 9.14	15	水利施設等整備事業（畠地帯総合整備型）等に伴う地方公共団体の負担金に関する件	農 政	3.10. 8	原案可決
3. 9.14	16	道営土地改良事業に伴う地方公共団体の負担金に関する件	農 政	3.10. 8	原案可決
3. 9.14	17	水産基盤整備事業に伴う地方公共団体の負担金に関する件	水産林務	3.10. 8	原案可決
3. 9.14	18	林道事業に伴う地方公共団体の負担金に関する件	水産林務	3.10. 8	原案可決
3. 9.14	19	流域下水道事業に伴う地方公共団体の負担金に関する件	建 設	3.10. 8	原案可決
3. 9.14	20	損害賠償請求控訴事件における和解の件	農 政	3.10. 8	原案可決
3. 9.14	21	工事請負契約の締結に関する件	建 設	3.10. 8	原案可決
3. 9.14	22	財産の取得に関する件	保健福祉	3.10. 8	原案可決
3. 9.14	23	財産の取得に関する件	農 政	3.10. 8	原案可決
3. 9.14	24	財産の取得に関する件	農 政	3.10. 8	原案可決
3. 9.14	25	財産の取得に関する件	農 政	3.10. 8	原案可決
3.10. 8	26	北海道教育委員会委員の選任につき同意を求める件	付託省略	3.10. 8	同意議決
3.10. 8	27	北海道公安委員会委員及び方面公安委員会委員の選任につき同意を求める件	付託省略	3.10. 8	同意議決
3.10. 8	28	北海道人事委員会委員の選任につき同意を求める件	付託省略	3.10. 8	同意議決
3.10. 8	29	北海道収用委員会委員及び北海道収用委員会予備委員の選任につき同意を求める件	付託省略	3.10. 8	同意議決
3.10. 8	30	北海道公害審査会委員の選任につき同意を求める件	付託省略	3.10. 8	同意議決

報 告

提 出 年 月 日	番号	件 名	付 託 委 員 会	議 年 月 日	議 事 果
3. 9.14	1	令和2年度北海道一般会計及び特別会計歳入歳出決算に関する件	決 算	3.10. 8	継続審査
3. 9.14	2	令和2年度北海道公共下水道事業会計決算に関する件	決 算	3.10. 8	継続審査
3. 9.14	3	令和2年度北海道流域下水道事業会計決算に関する件	決 算	3.10. 8	継続審査
3. 9.14	4	令和2年度北海道電気事業会計決算に関する件	決 算	3.10. 8	継続審査
3. 9.14	5	令和2年度北海道工業用水道事業会計決算に関する件	決 算	3.10. 8	継続審査
3. 9.14	6	令和2年度北海道病院事業会計決算に関する件	決 算	3.10. 8	継続審査
3. 9.14	7	令和2年度北海道内部統制評価報告書に関する件	報告のみ	—	—
3. 9.14	8	令和2年度北海道市町村振興基金の運用に関する件	報告のみ	—	—
3. 9.14	9	令和2年度北海道美術品取得基金の運用に関する件	報告のみ	—	—
3. 9.14	10	法人の経営状況に関する件	報告のみ	—	—
3. 9.14	11	専決処分報告の件	報告のみ	—	—
3. 9.14	12	専決処分報告の件	報告のみ	—	—
3. 9.14	13	専決処分報告の件	報告のみ	—	—
3. 9.14	14	専決処分報告の件	報告のみ	—	—
3. 9.14	15	専決処分報告の件	報告のみ	—	—
3. 9.14	16	専決処分報告の件	報告のみ	—	—
3. 9.14	17	専決処分報告の件	報告のみ	—	—
3. 9.14	18	専決処分報告の件	報告のみ	—	—
3. 9.14	19	専決処分報告の件	報告のみ	—	—

第3回定例会において議員及び委員会から提出のあった案件

意 見 案

提 出 年 月 日	番号	件 名	提 出 者	議 決 年 月 日	議 事 果
3.10. 7	1	出産育児一時金の増額を求める意見書	三好 雅議員外4人	3.10. 8	原案可決
3.10. 7	2	北方領土問題の解決促進等を求める意見書	北方領土対策特別委員長 中野 秀敏	3.10. 8	原案可決
3.10. 7	3	JR二島会社及び貨物会社の経営安定化に関する意見書	北海道地方路線問題調査 特別委員長 喜多 龍一	3.10. 8	原案可決

意 見 案

意見案第1号

出産育児一時金の増額を求める意見書

〔 3年3定
三好 雅議員外4人提出
令和3年10月8日 原案可決 〕

厚生労働省によると2019年度の出産費用が正常分娩の場合、全国平均額は約46万円で、室料差額等を含む費用の全国平均額は約52万4000円となっている。出産にかかる費用は年々増加し、費用が高い都市部では現在の42万円の出産育児一時金の支給額では賄えない状況になっており、平均額が約62万円と最も高い東京都では、現状、出産する人が約20万円を自己負担している計算となる。

国は、2009年10月から出産育児一時金を原則42万円に増額し、2011年4月にそれを恒久化、2015年1月以降の分娩から一時金に含まれる産科医療補償制度掛金分3万円を1万6000円に引き下げ、本来分39万円を40万4000円に引き上げたが、2022年1月以降の分娩からは産科医療補償制度掛金を1万2000円に引き下げ、本人の受領額を4000円増やすとともに、医療機関から費用の詳しいデータを収集し実態を把握した上で増額に向けて検討することとしている。

一方、2020年の出生数は84万835人で、前年に比べ2万4404人減少し過去最少となった。少子化の克服に向け、安心して子どもを産み育てられる環境を整えるためには、子どもの成長に応じた、きめ細かな支援を重ねていくことが重要であり、一時金はその大事な一手であると考えられる。

少子化対策は、我が国の重要課題の一つにほかならず、子育てのスタート期に当たる出産時の経済的な支援策を強化することは欠かせない。

よって、国においては、現在の出産費用の負担に見合う出産育児一時金へ引き上げるよう強く求める。

以上、地方自治法第99条の規定により提出する。

令和 年 月 日

衆議院議長
参議院議長
内閣総理大臣
財務大臣
厚生労働大臣
内閣府特命担当大臣(少子化対策)

各通

北海道議会議長 小畠保則

意見案第2号

北方領土問題の解決促進等を求める意見書

〔 3年3定
北方領土対策特別委員長 中野 秀敏提出
令和3年10月8日 原案可決 〕

我が国固有の領土である歯舞、色丹、国後、択捉の北方四島の返還の実現は、戦後残された最大の国家課題であり、全国民の永年の悲願である。

しかし、戦後76年を経た今もなお、北方四島は返還されず、日ロ両国間に平和条約が締結されていないことは誠に遺憾である。

日ロ両国間における政治対話を促進し、様々な分野での交流を拡大して相互理解を深め、北方領土問題を解決して平和条約を締結することは、両国間関係の正常化のみならず、国際社会の平和と安定に大きく貢献するものと確信する。

しかし、父祖伝来の地として受け継いできた北方四島を追われた元島民は、既に6割を超える方々が亡くなられ、存命の方々の平均年齢も86歳を超えており、一刻も早い領土問題の解決が望まれている。

また、元島民の方々をはじめ全ての道民は、日ロ両首脳による領土問題解決に向けた今後の外交交渉の一層の加速と具体的な進展を強く願っている。

そのような中、本年7月のミシュスチン・ロシア首相の択捉島訪問や、9月の東方経済フォーラムでプーチン大統領が発表した、ロシア法令に基づくことを前提とした北方四島を含む地域の経済開発に関する特恵制度の導入は、北方四島に関する我が国の立場と相入れないものであり、平和条約交渉への影響が強く懸念される。

さらには、新型コロナウイルス感染症の影響により、極めて重要な事業である北方四島交流等事業の実施が、昨年度に引き続き見送られたことは大変残念である。

よって、国においては、北方四島の早期返還の実現を求める国民の総意と心情に応え、日ロ両国間において今日までに達成された諸合意に基づいて、早急に北方領土問題を解決し、平和条約を締結するため、強力な外交交渉を一層進めるとともに、特に次の事項につき適切な措置を講ずるよう強く要望する。

記

- 1 新型コロナウイルス感染症の影響により、北方領土問題の早期解決に向けた交渉が後退することのないよう、国民世論の結集と高揚並びに国際世論の喚起をはじめ、北方領土教育の充実や、青少年対策を強化するとともに、内閣総理大臣による北方領土視察を実現するなど、北方領土返還要求運動の一層の推進を図ること。
- 2 「北方領土問題等の解決の促進のための特別措置に関する法律」に基づく北方領土隣接地域の振興対策等を充実、強化すること。
- 3 航空機墓参を含む北方四島交流等事業が早期に再開できるよう協議を継続すること。
- 4 北方四島における共同経済活動に関する協議に当たっては、我が国の法的立場を遵守しながら、領土問題の解決を通じた平和条約の締結につなげること。

以上、地方自治法第99条の規定により提出する。

令和 年 月 日

衆議院議長
参議院議長
内閣総理大臣
外務大臣
文部科学大臣
農林水産大臣
経済産業大臣
国土交通大臣
沖縄及び北方対策担当大臣

各通

北海道議会議長 小畑保則

意見案第3号

J R二島会社及び貨物会社の経営安定化に関する意見書

〔 3年3定
北海道地方路線問題調査特別委員長 喜多 龍一提出
令和3年10月8日 原案可決 〕

昭和62年4月に国鉄が分割・民営化され、J R 7社が発足した際、J R三島会社（北海道旅客鉄道株式会社、四国旅客鉄道株式会社、九州旅客鉄道株式会社）については、発足当初から営業赤字は避けることができないとして、経営安定基金が設けられ、その運用益と固定資産税等の減免措置による負担軽減によって営業赤字を補填する措置が講じられてきた。

J R北海道においては、これまで様々な増収や経費削減に取り組むなどの経営努力を行ってきているが、鉄道利用者の減少や経営安定基金の運用益の低迷に加え、安全投資や修繕費の増加等により極めて厳しい経営状況が続き、平成28年11月に、単独では維持することが困難な線区を公表した。

これを受け、国は平成30年7月、J R北海道に対して監督命令を発し、経営改善に向けた取組を命じるとともに令和3年3月には日本国有鉄道清算事業団の債務等の処理に関する法律等を改正し、令和12年度まで経営自立に向けた支援を可能とし、新たな支援パッケージを措置された。

J R北海道では、令和3年度から5年度までの間における1300億円を超える国からの支援を受けながら、経営自立に向けた取組を進めているが、全国を上回るスピードで進む道内的人口減少、さらには、新型コロナウイルス感染症の影響も加わり、鉄道輸送需要の回復を見込むことが困難な状況が続き、これまでにも増して厳しい経営環境となることが見込まれる。

このような中で、発足当初からJ R北海道やJ R貨物の経営安定のために講じられている固定資産税に係る特例措置が今年度末で期限切れを迎えるとしており、こうした措置が廃止されることになれば、J R北海道等の経営がさらに逼迫し、ひいては路線の廃止や便数の大幅な減少、運賃改定などによって利用者や地域住民への影響が懸念される。

今後ともJ R北海道が快適で安全安心な地域交通の足として、また、J R貨物が重要な物流を担う交通機関として、輸送サービスの向上や安全対策を強化していくためには、経営基盤の安定が重要である。

よって、国においては、これまでJ R二島会社及び貨物会社の健全な経営を確保するために講じられてきた固定資産に係る特例措置（いわゆる「承継特例」、「二島特例」等）を継続されるよう要望する。

以上、地方自治法第99条の規定により提出する。

令和 年 月 日

衆議院議長
参議院議長
内閣総理大臣
総務大臣
財務大臣
国土交通大臣

各通

北海道議会議長 小畠保則

請　願

① 第3回定例会において各常任・特別委員会に付託されたもの

文書表 番号	件　名	付　託 委　員　会	審　査　の 結　果
17	「沖縄戦犠牲者の遺骨が眠る土砂を辺野古基地建設の埋立てに使用しないよう求める意見書」の提出を求める件	保健福祉	継続審査
18	石狩市厚田区聚富・望来と石狩市八幡町高岡八の沢及び当別町西当別風力発電事業に反対を求める件	産炭地域振興・エネルギー問題調査	継続審査
19	「沖縄戦戦没者の遺骨を含む土砂を辺野古基地建設の埋立てに使用しないよう求める意見書」の提出を求める件	保健福祉	継続審査

委員会の動き

議会運営委員会

○9月7日（火） 開議 午前11時35分
散会 午前11時40分
議会運営委員会室
委員長 村木 中（自民）

① 同僚議員の逝去について

- ・7月9日、自民党・道民会議竹内英順議員が逝去され、議長が弔意を表したことを報告。

② 追悼演説について

- ・竹内英順議員の逝去に伴う追悼演説について、第3回定例会招集日の本会議において行うこととし、追悼演説者については、自民党・道民会議、喜多龍一議員となったことを報告。

③ 議員の辞職許可について

- ・民主・道民連合、笠木薰議員から、8月10日付けをもって議員を辞職したい旨の願い出があり、議長は、同日許可したことを報告。

④ 同僚議員の逝去並びに辞職に伴う議席について

- ・竹内英順議員の逝去並びに笠木薰議員の辞職許可後の議席について、配付の議席表のとおり空席とすることに決定。

⑤ 令和3年第3回定例会について

- ・総務部長から招集日を9月14日（火）とする旨発言があり、これを了承。
- ・総務部長から、提出予定の主要案件について説明。
- ・会期について25日間とすることに決定。
- ・日程について、配付の日程案のとおり取り進めることに決定。

[第3回定例会]

9月14日	本会議（提案説明）
9月15日～9月16日	休会
9月17日	本会議（代表質問）
9月21日	本会議（代表質問）
9月22日	休会
9月24日	本会議（一般質問）
9月27日～9月28日	本会議（一般質問）
9月29日	本会議（一般質問、予算・決算特別委員会設置）

9月30日～10月1日 休会

10月4日～10月7日 休会

10月8日 本会議

⑥ 議場コンサートについて

- ・今定例会での実施は見合わせることに決定。
- ⑦ 新型コロナウイルス感染症対策について
- ・マスクの着用や手洗い、手指消毒、感染リスクを回避する行動のさらなる徹底、体調が悪い場合外出を控えるなど、感染拡大防止に向けた協力依頼。
 - ・本会議については、1時間程度を目安に、演壇の消毒作業を行うことから、議場内に残ったまでの休憩を加えることとする。

○9月13日（月） 開議 午前9時15分

散会 午前9時19分

議会運営委員会室

委員長 村木 中（自民）

① 提出議案の事前説明について

- ・総務部長から説明。
- ・先議要請のあった議案第1号の補正予算については、明日の本会議において、提出議案に関する説明の後、委員会付託を省略し、議決する扱いとすることに決定。

② 代表質問及び一般質問の通告について

- ・代表質問は9月15日（水）、一般質問は9月21日（火）のそれぞれ正午までとする。
- ・予算特別委員会及び決算特別委員会について

 - ・委員会構成及び正副委員長の配分は、配付の協議事項のとおりとする。
 - ・委員名簿の提出は、9月27日（月）正午までとする。

④ 休会について

- ・議案等調査のため、9月15日及び16日は本会議を休会し、9月17日（金）に再開することに決定。

⑤ 9月14日の本会議議事順序について

- ・明日の委員会において協議する。

⑥ 議員研修会について

- ・配付の実施要領案のとおり、定例会閉会日の10月8日（金）に実施することに決定。

○9月14日（火） 開議 午前9時15分

散会 午前9時17分

議会運営委員会室
委員長 村木 中（自民）

委員長 村木 中（自民）

- ① 本日の本会議議事順序について
 - ・事務局長説明のとおりとする。
- ② 本会議開議時刻について
 - ・午前10時開会とする。

○9月17日（金） 開議 午前9時15分
散会 午前9時16分
議会運営委員会室
委員長 村木 中（自民）

- ① 代表質問の通告について
 - ・4名の通告があり、順位については、配付の通告一覧のとおりとなることを報告。
- ② 代表質問の進め方について
 - ・本日は1番三好雅議員、2番北口雄幸議員の2名、9月21日（火）は、3番中山智康議員、4番安藤邦夫議員の2名を行うことに決定。
- ③ 本日の本会議議事順序について
 - ・事務局長説明のとおりとする。
- ④ 本会議開議時刻について
 - ・午前10時開会とする。

○9月21日（火） 開議 午後零時15分
散会 午後零時16分
議会運営委員会室
委員長 村木 中（自民）

- ① 代表質問について
 - ・本日は3番から4番までの2名を行うことを了承。
- ② 休会について
 - ・議案等調査のため、9月22日（水）は本会議を休会し、一般質問を9月24日（金）から行うこととに決定。
- ③ 本日の本会議議事順序について
 - ・事務局長説明のとおりとする。
- ④ 本会議開議時刻について
 - ・午後1時開会とする。

○9月24日（金） 開議 午前9時15分
散会 午前9時17分
議会運営委員会室

- ① 一般質問について
 - ・23名の通告があり、個人別の順位については、配付の通告一覧のとおりとする。
 - ・一般質問の通告内容等の変更について了承。
 - ・本日は1番から6番までの6名、
9月27日（月）は7番から10番までの4名、
9月28日（火）は11番から16番までの6名、
9月29日（水）は17番から23番までの7名の予定で取り進めることに決定。
- ② 本日の本会議議事順序について
 - ・事務局長説明のとおりとする。
- ③ 本会議開議時刻について
 - ・午前10時開会とする。

○9月27日（月） 開議 午後零時17分
散会 午後零時18分
議会運営委員会室
委員長 村木 中（自民）

- ① 一般質問について
 - ・本日は7番から10番までの4名を行う。
- ② 本日の本会議議事順序について
 - ・事務局長説明のとおりとする。
- ③ 「決算特別委員会の審査」について
 - ・「公共下水道事業」及び「流域下水道事業」は、地方公営企業法の一部適用により、令和2年4月1日から企業会計に移行されたので、配付のとおり整理することに決定。
- ④ 本会議開議時刻について
 - ・午後1時開会とする。

○9月28日（火） 開議 午前9時15分
散会 午前9時16分
議会運営委員会室
委員長 村木 中（自民）

- ① 一般質問について
 - ・一般質問の通告内容等の変更について了承。
 - ・本日は11番から16番までの6名を行う。
- ② 本日の本会議議事順序について
 - ・事務局長説明のとおりとする。
- ③ 本会議開議時刻について
 - ・午前10時開会とする。

○9月29日（水） 開議 午前9時15分
散会 午前9時21分
議会運営委員会室
委員長 村木 中（自民）

① 補欠当選議員について

- ・9月26日執行の旭川市選挙区の補欠選挙において林祐作議員並びに宮崎アカネ議員が当選し、9月28日付けをもって林祐作議員が自民党・道民会議に、宮崎アカネ議員が民主・道民連合に入会した旨の届け出があったことを報告。
- ・各派の所属議員数は、自民党・道民会議52名、民主・道民連合27名、北海道結志会9名、公明党8名、日本共産党3名となったことを報告。
- ・議席は配付の議席表のとおり林祐作議員の議席は9番に、宮崎アカネ議員の議席は21番に決定。

② 補欠当選議員の常任委員選任について

- ・林祐作議員は、総務委員に、宮崎アカネ議員は、総合政策委員に、本日の本会議で選任することに決定。

③ 補欠当選議員の特別委員の補欠選任について

- ・少子・高齢社会対策特別委員に自民党・道民会議から、林祐作議員を、民主・道民連合から、宮崎アカネ議員を、それぞれ推薦する旨、申出があり、本日の本会議で補欠選任することに決定。

④ 補欠当選議員の紹介について

- ・本日の本会議において、議長が、補欠当選議員を紹介し、補欠当選議員は起立一礼、他の議員は拍手でこれに応えることを説明。

⑤ 一般質問について

- ・本日は17番から23番までの7名を行う。

⑥ 予算特別委員会及び決算特別委員会について

- ・本日、一般質問終了後、設置する。

- ・両特別委員会の分科会委員数は、配付の協議事項のとおり決定した旨報告。

- ・委員の選任については、配付の名簿のとおりとする。

⑦ 議案の各委員会付託について

- ・配付資料のとおり付託することに決定。

⑧ 請願の特別委員会への付託について

- ・配付の請願第18号は、本日の本会議において、産炭地域振興・エネルギー問題調査特別委員会に付託することに決定。

⑨ 休会について

- ・各委員会付託議案等審査のため、9月30日から10月1日まで及び4日から7日までは本会議を休会することとし、10月8日（金）に再開することに決定。

⑩ 本日の本会議議事順序について

- ・事務局長説明のとおりとする。

⑪ 本会議開議時刻について

- ・午前10時開会とする。
- ・10月8日の本会議は、午後1時開会とする。

○10月8日（金） 開議 午後零時15分

散会 午後零時19分

議会運営委員会室

委員長 村木 中（自民）

① 各委員会付託議案の審議状況について

- ・各委員会付託議案は報告第1号ないし第6号を除き、すべて（予算5件、総務2件、総合政策2件、経済1件、水産林務3件、建設3件、新幹線1件、農政6件、保健福祉1件、以上24件）議了したことを報告。
- ・決算特別委員会において審査中の報告第1号ないし第6号については、昨日の委員会において、閉会中継続審査とすることに決定した旨報告。

② 追加提出議案の事前説明について

- ・総務部長から人事案件の追加提出について説明。
- ・総務部長から説明のあった議案第26号ないし第30号の人事案件については、本日の本会議において議決することに決定。

③ 意見案の取扱いについて

- ・意見案第1号ないし第3号の提出があり、本日の本会議において議決することに決定。

④ 議員派遣について

- ・配付のとおり、本日の本会議において議決することに決定。

⑤ 継続調査の申出について

- ・配付の申出書のとおり、議長に、閉会中継続調査を申し出ることに決定。

⑥ 本日の本会議議事順序について

- ・事務局長説明のとおりとする。
- ⑦ 令和3年第4回定例会の招集予定日について
- ・総務部長から、11月30日（火）を予定している旨発言があり、これを了承。
- ⑧ 本会議開議時刻について
- ・午後1時開会とする。

常任委員会

総務委員会

○8月3日(火) 開議 午後1時13分
散会 午後1時25分
第5委員会室
委員長 吉田 祐樹(自民)

開議前

- 故竹内英順委員の逝去を悼み黙禱
- 人事異動に伴う幹部職員の紹介

議事

- 議席の一部変更の件 [決定]
- 太平洋沿岸の津波浸水想定に関する報告聴取の件 [危機対策局長報告]
- 犯罪抑止対策に関する報告聴取の件
[道警察本部生活安全部参事官兼生活安全企画課長報告]

○9月7日(火) 開議 午後1時11分
散会 午後1時39分
第5委員会室
委員長 吉田 祐樹(自民)

開議前

- 人事異動に伴う幹部職員の紹介

議事

- 「知事公邸等のあり方に関する研究会」開催結果に関する報告聴取の件
[総務部次長兼行政局長報告]
- 警察署統合後の活動に関する報告聴取の件
[道警察本部警務部長報告]

質問

- 浅野 貴博委員(自民)
～道職員の新型コロナウイルス感染症感染防止への取組について

○9月13日(月) 開議 午前10時4分
散会 午前10時30分
第5委員会室
委員長 吉田 祐樹(自民)

議事

- 令和3年第3回定例会提出予定案件の事前説明聴取の件 [総務部長説明]
- 「北海道債権管理条例に基づく債権放棄の報告」に関する報告聴取の件
[財政局長、道警察本部総務部参事官兼会計課長報告]
- 令和2年度北海道公立大学法人札幌医科大学の業務実績に関する評価結果に係る報告聴取の件 [教育・法人局長報告]

質問

- 浅野 貴博委員(自民)
～道職員の出勤抑制等の取組について

○10月7日(木) 開議 午前10時8分
散会 午前10時19分
第5委員会室
委員長 吉田 祐樹(自民)

付託案件の審査

- 議案第7号
北海道税条例の一部を改正する条例案
(原案可決)
- 議案第8号
災害対策基本法の一部改正に伴う関係条例の整理に関する条例案
(原案可決)

請願の審査

- 請願第2号
北海道人権施策推進基本方針のさらなる推進に係る同性パートナーを持つ北海道職員の処遇の改善(平等化)を求める件
(継続審査)

開議前

- 委員の補充選任報告及び新委員の紹介
- 人事異動に伴う幹部職員の紹介

議事

- 議席の一部変更の件 [決定]
- 付託議案審査の件
- 有珠山火山噴火総合防災訓練並びに令和3年度(2021年度)北海道原子力防災総合訓練の実施に関する報告聴取の件
[危機管理監報告]

1. 閉会中における請願継続審査申し出の件
[決定]
1. 閉会中における所管事務継続調査申し出の件
[決定]

総合政策委員会

○8月3日(火) 開議 午後1時18分
散会 午後2時3分
第4委員会室
委員長 佐藤 伸弥(結志)

開議前

1. 人事異動に伴う幹部職員の紹介

議事

1. 北海道外国人相談センターにおける相談対応に関する報告聴取の件 [国際局長報告]
1. 北海道におけるまん延防止等重点措置に関する報告聴取の件 [政策局次長報告]

質疑

1. 三好 雅委員(自民)
～北海道におけるまん延防止等重点措置について
1. 菊地 葉子委員(共産)
～北海道におけるまん延防止等重点措置について
1. 藤沢 澄雄委員(自民)
～北海道におけるまん延防止等重点措置について

○9月7日(火) 開議 午後1時16分
散会 午後1時46分
第4委員会室
委員長 佐藤 伸弥(結志)

開議前

1. 委員の議員辞職報告

議事

1. 議席の一部変更の件 [決定]
1. 理事の一部変更の件 [決定]
1. 令和4年度北海道開発予算の概算要求概要に関する報告聴取の件 [計画局長報告]

1. 夕張市の財政再建と地域再生に向けた三者協議に関する報告聴取の件
[地域行政局長報告]

質疑

1. 荒当 聖吾委員(公明)
～夕張市の財政再建と地域再生に向けた三者協議について

質問

1. 菊地 葉子委員(共産)
～新型コロナウイルス感染症対策について

○9月13日(月) 開議 午前10時13分
散会 午前10時54分
第4委員会室
委員長 佐藤 伸弥(結志)

議事

1. 令和3年第3回定例会提出予定案件の事前説明聴取の件 [総合政策部長説明]
1. 新型コロナウイルス感染症への対応に関する報告聴取の件 [政策局長報告]
1. 北海道総合計画【2021改訂版・案】に関する報告聴取の件 [計画局長報告]
1. 北海道グローバル戦略(2021改訂版・素案)に関する報告聴取の件
[国際局長兼ロシア担当局長報告]
1. 北海道科学技術振興計画の令和2年度推進状況に関する報告聴取の件
[次世代社会戦略局科学技術振興担当局長兼科学技術振興課長報告]
1. 道総研の令和2年度業務実績に係る評価結果に関する報告聴取の件
[次世代社会戦略局科学技術振興担当局長兼科学技術振興課長報告]
1. 次期連携地域別政策展開方針(素案)に関する報告聴取の件
[総合政策部地域振興監兼地域創生局長兼官民連携推進室長報告]

質疑

1. 藤沢 澄雄委員(自民)
～北海道総合計画【2021改訂版・案】について
1. 喜多 龍一委員(自民)

○10月7日(木) 開議 午前10時17分
散会 午前10時40分
第4委員会室
委員長 佐藤 伸弥(結志)

付託案件の審査

議案第9号

北海道総合政策部手数料条例の一部を改正する
条例案 (原案可決)

議案第10号

行政手続における特定の個人を識別するための
番号の利用等に関する法律の一部改正に伴う関
係条例の整理に関する条例案 (原案可決)

開 議 前

- 委員の補充選任報告及び新委員の紹介

議 事

- 議席の一部変更の件 [決定]
- 付託議案審査の件
- 令和2年度道内市町村における決算の概要
(速報値)に関する報告聴取の件
[地域行政局長報告]

- 閉会中における所管事務継続調査申し出の件
[決定]

質 疑

- 荒當 聖吾委員(公明)
～令和2年度道内市町村における決算の概要
(速報値)について

環境生活委員会

○8月3日(火) 開議 午後1時11分
散会 午後3時9分
第12委員会室
委員長 阿知良 寛美(公明)

議 事

- 随時調査実施の件 [決定]
- 「北海道・北東北の縄文遺跡群」の世界文化
遺産登録等に関する報告聴取の件
(意見)

質 疑

- 滝口 直人委員(自民)
～「北海道・北東北の縄文遺跡群」の世界文化
遺産登録等について

質 問

- 滝口 直人委員(自民)
～ヒグマ対策について
- 渕上 綾子委員(民主)
～野幌森林公園内の道路について
- 笠井 龍司委員(自民)
～北海道みんなの日について
～エゾシカ対策について
～動物愛護管理業務の在り方について
- 高橋 亨委員(民主)
～オリンピックについて
- 池本 柳次委員(結志)
～ヒグマによる被害対策について

○9月7日(火) 開議 午後1時13分

散会 午後3時4分
第12委員会室
委員長 阿知良 寛美(公明)

開 議 前

- 環境生活部幹部職員の紹介
- 委員会運営方法の件 [了承]

議 事

- 「ゼロカーボン北海道」の推進に関する報告
聴取の件 [ゼロカーボン推進局長報告]
- 東京2020オリンピックの札幌開催に関する報
告聴取の件
[東京オリンピック連携局長報告]

質 疑

- 滝口 直人委員(自民)
～東京2020オリンピックの札幌開催について
- 渕上 綾子委員(民主)
～東京2020オリンピックの札幌開催について
- 高橋 亨委員(民主)
～東京2020オリンピックの札幌開催について
(意見)

質 問

1. 滝口 直人委員（自民）
～コロナ禍における今後のスポーツ大会について
1. 渕上 綾子委員（民主）
～パブリックコメント中のヘイトについて
1. 笠井 龍司委員（自民）
～ヒグマ対策について
～ゼロカーボンの推進について

○9月13日（月） 開議 午前10時7分
散会 午前10時19分
第12委員会室
委員長 阿知良 寛美（公明）

議 事

1. 令和3年第3回定例会提出予定案件の事前説明聴取の件 [環境生活部長説明]
1. 令和3年環境の状況等に関する年次報告に関する報告聴取の件 [環境局長報告]
1. 北海道における動物愛護管理業務の在り方（案）に関する報告聴取の件
[環境局自然環境担当局長報告]

○10月7日（木） 開議 午前10時9分
散会 午前10時43分
第12委員会室
委員長 阿知良 寛美（公明）

請願の審査

請願第3号

北海道人権施策推進基本方針のさらなる推進に係るパートナーシップ宣誓制度の創設を求める件
(継続審査)

議 事

1. 盛土による災害防止に向けた総点検の作業状況に関する報告聴取の件
[環境局長報告]
1. ゼロカーボン北海道の実現に向けた各（総合）振興局の推進体制に関する報告聴取の件
[ゼロカーボン推進局長報告]
1. 閉会中における請願継続審査申し出の件
[決定]

1. 閉会中における所管事務継続調査申し出の件
[決定]

質 問

1. 滝口 直人委員（自民）
～アイヌ文化の魅力発信について
～「北海道・北東北の縄文遺跡群」の世界文化遺産について
1. 道見 泰憲委員（自民）
～エゾシカの捕獲について

保健福祉委員会

○8月3日（火） 開議 午後1時10分
散会 午後4時0分
第6委員会室
委員長 笹田 浩（民主）

議 事

1. 令和2年度（2020年度）歯・口腔の健康づくりに係る施策の推進状況に関する報告聴取の件 [健康安全局長報告]
1. 北海道におけるまん延防止等重点措置に関する報告聴取の件 [感染症対策局長報告]

質 疑

1. 滝口 信喜委員（結志）
～令和2年度（2020年度）歯・口腔の健康づくりに係る施策の推進状況について
1. 真下 紀子委員（共産）
～令和2年度（2020年度）歯・口腔の健康づくりに係る施策の推進状況について
～北海道におけるまん延防止等重点措置について

質 問

1. 村田 光成委員（自民）
～新型コロナウイルス感染症対策について
1. 平出 陽子委員（民主）
～道立江差高等看護学院を巡る諸問題の対応について
1. 滝口 信喜委員（結志）
～新型コロナウイルス対策について
1. 木葉 淳委員（民主）
～新型コロナウイルス対策について

- 田中 英樹委員（公明）
～新型コロナウイルスワクチンについて
- 真下 紀子委員（共産）
～新型コロナ感染症対策について

○9月7日（火） 開議 午後1時11分
散会 午後3時5分
第6委員会室
委員長 笹田 浩（民主）

議事

- 北海道がん対策推進計画の中間評価に関する報告聴取の件 [健康安全局長報告]

質疑

- 真下 紀子委員（共産）
～北海道がん対策推進計画の中間評価について

質問

- 村田 光成委員（自民）
～新型コロナウイルス感染症対策について
- 平出 陽子委員（民主）
～道立江差高看におけるパワハラ問題に関する諸問題について
- 滝口 信喜委員（結志）
～新型コロナウイルス感染症対策について
- 木葉 淳委員（民主）
～新型コロナウイルス感染症対策について
- 田中 英樹委員（公明）
～循環器病対策について
～新型コロナウイルス感染症対策等について
- 真下 紀子委員（共産）
～新型コロナウイルス感染症対策について

○9月13日（月） 開議 午前10時7分
散会 午前11時8分
第6委員会室
委員長 笹田 浩（民主）

議事

- 令和3年第3回定例会提出予定案件の事前説明聴取の件 [保健福祉部長説明]
- 「北海道債権管理条例に基づく債権放棄の報告（保健福祉部・道立病院局所管分）」に関する報告聴取の件

- [保健福祉部次長、道立病院局次長報告]
- 北海道循環器病対策推進計画（仮称）素案に関する報告聴取の件 [健康安全局長報告]
 - 北海道受動喫煙防止対策推進プラン（案）に関する報告聴取の件 [健康安全局長報告]
 - 新型コロナウイルス感染症への対応に関する報告聴取の件 [感染症対策局長報告]
 - 「北海道病院事業改革推進プラン」に係る令和2年度（2020年度）事業実績の点検・評価結果に関する報告聴取の件 [道立病院局次長報告]

質疑

- 滝口 信喜委員（結志）
～北海道受動喫煙防止対策推進プラン（案）について

質問

- 真下 紀子委員（共産）
～新型コロナウイルス感染症対策について

○10月7日（木） 開議 午前10時7分
散会 午前10時44分
第6委員会室
委員長 笹田 浩（民主）

付託案件の審査

- 議案第22号
財産の取得に関する件について（原案可決）

請願の審査

- 請願第8号
精神障がい者の運賃割引を求める件
(継続審査)
- 請願第15号
北海道重度心身障がい者医療給付事業への精神障がい者の適用と新型コロナウイルス感染症から障がい者の命と暮らしを守る対策を求める件
(継続審査)
- 請願第17号
「沖縄戦犠牲者の遺骨が眠る土砂を辺野古基地建設の埋立てに使用しないよう求める意見書」の提出を求める件
(継続審査)

請願第19号

「沖縄戦戦没者の遺骨を含む土砂を辺野古基地建設の埋立てに使用しないよう求める意見書」の提出を求める件 (継続審査)

○9月7日(火) 開議 午後1時8分

散会 午後2時3分

第7委員会室

委員長 梶谷 大志(民主)

議事

1. 付託議案審査の件
1. 閉会中における請願継続審査申し出の件 [決定]
1. 閉会中における所管事務継続調査申し出の件 [決定]

質問

1. 平出 陽子委員(民主)
～江差高看におけるパワハラ問題について
1. 真下 紀子委員(共産)
～新型コロナウイルス感染症対策等について

経済委員会

○8月3日(火) 開議 午後1時10分

散会 午後2時24分

第7委員会室

委員長 梶谷 大志(民主)

議事

1. 北海道雇用・人材対策基本計画に基づく「本道の雇用情勢に関する点検評価(令和2年分)」及び「令和2年度推進計画の取組結果」に関する報告聴取の件 [労働政策局長報告]

質問

1. 宮下 深一委員(自民)
～道の特別支援金について
1. 広田 まゆみ委員(民主)
～北海道の潜在力を活かす地域経済の循環について
1. 山根 理広委員(民主)
～コロナ感染症による支援措置圏域以外の支援策について

○9月13日(月) 開議 午前10時6分

散会 午前10時41分

第7委員会室

委員長 梶谷 大志(民主)

議事

1. 「本道経済の活性化に向けた基本方針」に基づく取組に関する報告聴取の件 [経済部次長兼経済企画局長報告]
1. 北海道におけるまん延防止等重点措置に関する報告聴取の件 [経済部次長報告]
1. 外国人技能実習制度に係る受入状況調査の結果に関する報告聴取の件 [産業人材担当局長報告]

質疑

1. 宮下 深一委員(自民)
～北海道におけるまん延防止等重点措置について

質問

1. 広田 まゆみ委員(民主)
～ゼロカーボンの実現に向けて
1. 寺島 信寿委員(公明)
～金融支援について

議事

1. 令和3年第3回定例会提出予定案件の事前説明聴取の件 [経済部長、企業局長説明]
1. 新型コロナウイルス感染症に関する影響調査の結果概要に関する報告聴取の件 [経済部次長兼経済企画局長報告]
1. 新型コロナウイルス感染症への対応に関する報告聴取の件 [経済部次長報告]
1. 「北海道グローバル戦略(改訂版)」(素案)に関する報告聴取の件 [経済企画局国際経済担当局長兼経済企画課参事報告]
1. 北海道食の輸出拡大戦略<第Ⅱ期>の推進状況に関する報告聴取の件 [食関連産業局長報告]
1. 「北海道債権管理条例に基づく債権放棄の報告(経済部所管分)」に関する報告聴取の件 [地域経済局長報告]
1. 第11次北海道職業能力開発計画(素案)に関する報告聴取の件

する報告聴取の件

[労働政策局産業人材担当局長報告]

- 10月7日(木) 開議 午前10時6分
散会 午前10時15分
第7委員会室
委員長 梶谷 大志(民主)

付託案件の審査

議案第11号

北海道中小企業者等に対する融資に係る損失補償金の返納の免除に関する条例の一部を改正する条例案

(原案可決)

議事

- 付託議案審査の件
- 令和3年度「北海道新技術・新製品開発賞」に関する報告聴取の件〔産業振興局長報告〕
- 閉会中における所管事務継続調査申し出の件
[決定]

農政委員会

- 8月3日(火) 開議 午後1時12分
散会 午後2時0分
第10委員会室
委員長 船橋 賢二(自民)

議事

- 農作物生育状況調査及び小麦の刈り取り進度に関する報告聴取の件
〔農政部長、生産振興局技術支援担当局長報告〕
- スマート農業相談窓口の設置及び「北海道スマート農業推進方針」の改訂(案)に関する報告聴取の件
[生産振興局技術支援担当局長報告]
- 8月7日の「北海道花の日」の取組に関する報告聴取の件
[生産振興局長報告]
- 「第4次北海道獣医療提供体制整備計画」に関する報告聴取の件
[生産振興局長報告]

質疑

- 植村 真美委員(自民)
～スマート農業相談窓口の設置及び「北海道ス

マート農業推進方針」の改訂(案)について

質問

- 白川 祥二委員(結志)
～カーボンニュートラル社会実現に向けた農地転用制度等の見直しについて

- 9月7日(火) 開議 午後1時10分

- 散会 午後1時53分
第10委員会室
委員長 船橋 賢二(自民)

議事

- 令和4年度農業関係国費予算概算要求に関する報告聴取の件
〔農政部長報告〕
- 農作物生育状況等に関する報告聴取の件
[生産振興局技術支援担当局長報告]
- 北海道の酒アワード2021の開催に関する報告聴取の件
[生産振興局長報告]

質疑

- 植村 真美委員(自民)
～農作物生育状況等について
～北海道の酒アワード2021の開催について

質問

- 鈴木 一磨委員(民主)
～高温・干ばつの影響と対策について

- 9月13日(月) 開議 午前10時5分

- 散会 午前10時15分
第10委員会室
委員長 船橋 賢二(自民)

議事

- 令和3年第3回定例会提出予定案件の事前説明聴取の件
〔農政部長説明〕
- 農畜産物等の輸出の現状に関する報告聴取の件
[食の安全推進局長報告]

- 10月7日(木) 開議 午前10時8分

- 散会 午前10時27分
第10委員会室
委員長 船橋 賢二(自民)

付託案件の審査

議案第15号

水利施設等整備事業（畠地帯総合整備型）等に
伴う地方公共団体の負担金に関する件
(原案可決)

議案第16号

道営土地改良事業に伴う地方公共団体の負担金
に関する件
(原案可決)

議案第20号

損害賠償請求控訴事件における和解の件
(原案可決)

議案第23号

財産の取得に関する件
(原案可決)

議案第24号

財産の取得に関する件
(原案可決)

議案第25号

財産の取得に関する件
(原案可決)

請願の審査

請願第1号

「日米貿易交渉での食料輸入拡大の中止を求める意見書」の提出を求める件
(継続審査)

議 事

- 付託議案審査の件
- 令和4年度新規就農者育成総合対策に関する緊急要望に関する報告聴取の件
[農政部長報告]
- 農作物生育状況調査等に関する報告聴取の件
[生産振興局技術支援担当局長報告]
- 中央要請実施の件
[決定]
- 閉会中における請願継続審査申し出の件
[決定]
- 閉会中における所管事務継続調査申し出の件
[決定]

質 疑

- 本間 勲委員（自民）
～付託議案審査について
- 中司 哲雄委員（自民）
～令和4年度新規就農者育成総合対策に関する緊急要望について

水産林務委員会

○8月3日(火) 開議 午後1時10分
散会 午後1時49分
第8委員会室
委員長 佐藤 稔洋（自民）

議 事

- 随時調査実施の件
[決定]
- 北海道森林づくり基本計画及び道有林基本計画の見直しに関する報告聴取の件
[水産林務部長、林務局長、森林環境局長兼全国育樹祭推進室長報告]
- 第44回全国育樹祭実施計画（再変更）に関する報告聴取の件
[森林環境局長兼全国育樹祭推進室長報告]

質 疑

- 檜垣 尚子委員（自民）
～北海道森林づくり基本計画及び道有林基本計画の見直しについて
- 壬生 勝則委員（民主）
～北海道森林づくり基本計画及び道有林基本計画の見直しについて

○9月7日(火) 開議 午後1時7分

散会 午後1時15分
第8委員会室
委員長 佐藤 稔洋（自民）

議 事

- 「第44回全国育樹祭」出席の件
[決定]
- 令和4年度国費予算の概算要求等に関する報告聴取の件
[水産林務部長報告]

○9月13日(月) 開議 午前10時3分

散会 午前10時15分
第8委員会室
委員長 佐藤 稔洋（自民）

議 事

- 令和3年第3回定例会提出予定案件の事前説明聴取の件
[水産林務部長説明]
- 北海道食の輸出拡大戦略（第Ⅱ期）の推進状況に関する報告聴取の件
[水産局長報告]

○10月7日(木) 開議 午前10時8分

散会 午前10時25分
第8委員会室
委員長 佐藤 穎洋（自民）

付託案件の審査

議案第12号

北海道森林づくり条例の一部を改正する条例案
(原案可決)

議案第17号

水産基盤整備事業に伴う地方公共団体の負担金
に関する件 (原案可決)

議案第18号

林道事業に伴う地方公共団体の負担金に関する
件 (原案可決)

議 事

- 付託議案審査の件
- 太平洋沿岸における漁業被害に関する中央要請実施の件 [決定]
- 道産水産物の安全・安心の確保に関する報告聴取の件 [水産局長報告]
- 「北海道森林吸収源対策推進計画」骨子案に関する報告聴取の件 [林務局森林計画担当局長報告]
- 「胆振東部地震森林再生実施計画」骨子案に関する報告聴取の件 [林務局森林計画担当局長報告]
- 盛土による災害防止に向けた総点検の作業状況に関する報告聴取の件 [林務局長報告]
- 閉会中における所管事務継続調査申し出の件 [決定]

建設委員会

○8月3日(火) 開議 午後1時9分
散会 午後1時31分
第9委員会室
委員長 千葉 英也（自民）

議 事

- 国土強靭化に資する道路の整備等に関する中央要請実施報告の件 [委員長報告]
- 令和4年度国の施策及び予算に関する中央要請実施報告の件 [委員長報告]
- 隨時調査実施の件 [決定]

- 太平洋沿岸の津波浸水想定の設定・公表に関する報告聴取の件 [建設政策局施設保全防災担当局長報告]
- 「コンパクトなまちづくりに向けた基本方針」の見直しに関する報告聴取の件 [まちづくり局長報告]
- 「これから北海道における住宅政策の在り方」についての答申に関する報告聴取の件 [住宅局長報告]

○9月7日(火) 開議 午後1時8分

散会 午後1時16分

第9委員会室

委員長 千葉 英也（自民）

議 事

- 隨時調査実施報告の件 [委員長報告]
- 令和4年度国費予算の概算要求概要に関する報告聴取の件 [建設部長報告]

○9月13日(月) 開議 午前10時4分

散会 午前10時12分

第9委員会室

委員長 千葉 英也（自民）

議 事

- 令和3年第3回定例会提出予定案件の事前説明聴取の件 [建設部長説明]
- 「北海道債権管理条例に基づく債権放棄の報告（建設部所管分）」に関する報告聴取の件 [建設部次長報告]

○10月7日(木) 開議 午前10時6分

散会 午前10時16分

第9委員会室

委員長 千葉 英也（自民）

付託案件の審査

議案第13号

下水道法の一部改正に伴う関係条例の整理に関する条例案 (原案可決)

議案第19号

流域下水道事業に伴う地方公共団体の負担金に関する件 (原案可決)

議案第21号

議 事

1. 付託議案審査の件
1. 盛土による災害防止に向けた総点検に関する報告聴取の件 [建設政策局長説明]
1. 閉会中における所管事務継続調査申し出の件 [決定]

文 教 委 員 会

○8月3日(火) 開議 午後1時10分

散会 午後2時44分

第11委員会室

委員長 吉川 隆雅 (自民)

議 事

1. 「北海道・北東北の縄文遺跡群」の世界文化遺産登録等に関する報告聴取の件 [生涯学習推進局長報告]
1. 学校の通学路の安全確保に関する報告聴取の件 [学校教育局指導担当局長兼学校教育局新型コロナウイルス感染症対策担当局長報告]

質 疑

1. 安藤 邦夫委員(公明)
～「北海道・北東北の縄文遺跡群」の世界文化遺産登録等について
1. 赤根 広介委員(結志)
～学校の通学路の安全確保について

質 問

1. 大越 農子委員(自民)
～いじめ問題への対応について
1. 小泉 真志委員(民主)
～特別支援学校の狭隘化について
1. 松山 丈史委員(民主)
～夏休みの延長について
1. 宮川 潤委員(共産)
～校則について

○9月7日(火) 開議 午後1時11分

散会 午後4時15分

第11委員会室

議 事

1. 公立高等学校配置計画(令和4年度(2022年度)～6年度(2024年度))に関する報告聴取の件 [学校教育局高校配置担当局長報告]
1. 令和4年度公立特別支援学校配置計画に関する報告聴取の件 [学校教育局特別支援教育担当局長報告]
1. 令和3年度全国学力・学習状況調査の結果に関する報告聴取の件 [学校教育局指導担当局長兼学校教育局新型コロナウイルス感染症対策担当局長報告]

質 疑

1. 佐々木 大介委員(自民)
～令和3年度全国学力・学習状況調査の結果について

質 問

1. 佐々木 大介委員(自民)
～スポーツ大会に対する道教委の姿勢について
1. 小泉 真志委員(民主)
～新型コロナウイルス感染症対策について
1. 大越 農子委員(自民)
～いじめ問題等について
1. 赤根 広介委員(結志)
～新型コロナウイルス感染症対策について
1. 清水 拓也委員(自民)
～教員の資質能力の向上について
～手話の普及に関する教育の推進について
1. 宮川 潤委員(共産)
～公立学校におけるコロナ禍での学校活動について

○9月13日(月) 開議 午前10時8分

散会 午前10時41分

第11委員会室

委員長 吉川 隆雅 (自民)

議 事

1. 令和3年第3回定例会提出予定案件の事前説明聴取の件 [教育部長説明]
1. 新型コロナウイルス感染症への対応に関する報告聴取の件 [教育部長報告]

1. 令和2年度（2020年度）北海道教育委員会の活動状況に関する点検・評価報告書に関する報告聴取の件
〔総務政策局長兼幼児教育推進局長報告〕
1. 「北海道債権管理条例に基づく債権放棄の報告（教育庁所管分）」に関する報告聴取の件
〔学校教育局高校配置担当局長報告〕
1. 令和2年度（2020年度）道立学校の教育職員に係る時間外在校等時間に関する報告聴取の件
〔教職員局長報告〕

質 問

1. 小泉 真志委員（民主）
～遠隔授業配信センターについて

○10月7日（木） 開議 午前10時8分
 散会 午前10時48分
 第11委員会室
 委員長 吉川 隆雅（自民）

請願の審査

請願第6号

私立学校の保護者負担を軽減するとともに教育環境の改善のための私学助成を充実することを求める件
（継続審査）

請願第11号

ゆたかな私学教育の実現を求める私学助成に関する件
（継続審査）

請願第13号

道立高校の定員内は受検者全員を合格させることを求める件
（継続審査）

請願第14号

「私学教育費負担の公私間格差是正」を求める件
（継続審査）

請願第16号

北海道の子どもたちにゆきとどいた教育を求める件
（継続審査）

議 事

1. 閉会中における請願継続審査申し出の件
〔決定〕
1. 閉会中における所管事務継続調査申し出の件
〔決定〕

質 問

1. 大越 農子委員（自民）
～児童生徒の体力向上について
1. 赤根 広介委員（結志）
～いじめ問題について

特 別 委 員 会

産炭地域振興・エネルギー問題 調査特別委員会

○8月4日(水) 開議 午前10時5分
散会 午前11時24分
第7委員会室
委員長 田中 芳憲(自民)

議事

- 中央要請実施報告の件 [委員長報告]
- 「幌延深地層研究計画令和2年度調査研究成果報告」、「令和3年度調査研究計画」及び「稚内層深部(深度500m)における研究の実施に関する検討結果」に係る確認結果に関する報告聴取の件
[経済部次長兼経済企画局長報告]

質疑

- 小泉 真志委員(民主)
～「幌延深地層研究計画令和2年度調査研究成果報告」、「令和3年度調査研究計画」及び「稚内層深部(深度500m)における研究の実施に関する検討結果」に係る確認結果について
- 菊地 葉子委員(共産)
～「幌延深地層研究計画令和2年度調査研究成果報告」、「令和3年度調査研究計画」及び「稚内層深部(深度500m)における研究の実施に関する検討結果」に係る確認結果について

質問

- 星 克明委員(自民)
～文献調査に係る交付金について
- 広田 まゆみ委員(民主)
～北海道省エネルギー・新エネルギー促進行動計画【第Ⅲ期】について

○9月8日(水) 開議 午前10時6分
散会 午前10時51分
第7委員会室
委員長 田中 芳憲(自民)

議事

- 石炭採掘後の坑内埋め戻し技術開発に向けた取組状況に関する報告聴取の件
[環境・エネルギー局長報告]

質問

- 広田 まゆみ委員(民主)
～エネルギー基本計画素案の評価と今後の道としての対応について

○9月13日(月) 開議 午後1時6分

散会 午後1時8分
第7委員会室
委員長 田中 芳憲(自民)

議事

- 令和3年第3回定例会提出予定案件の事前説明聴取の件
[経済部長説明]

○10月7日(木) 開議 午後1時5分

散会 午後1時21分
第7委員会室
委員長 田中 芳憲(自民)

請願の審査

- 請願第9号
寿都町における特定放射性廃棄物最終処分場誘致の文献調査についての件 (継続審査)
- 請願第18号
石狩市厚田区聚富・望来と石狩市八幡町高岡八の沢及び当別町西当別風力発電事業に反対を求める件 (継続審査)

議事

- 令和3年度(2021年度)北海道省エネルギー・新エネルギー促進大賞に関する報告聴取の件
[環境・エネルギー局長報告]
- 閉会中における請願継続審査申し出の件
[決定]

質問

- 広田 まゆみ委員(民主)
～省エネ・新エネ促進行動計画の見直しについて

北方領土対策特別委員会

○8月4日(水) 開議 午前10時5分
散会 午前10時11分
第8委員会室
委員長 中野 秀敏(自民)

議事

- 令和3年度北方領土返還要求運動強調月間に
関する報告聴取の件
[北方領土対策局長報告]

○9月8日(水) 開議 午前10時3分
散会 午前10時18分
第8委員会室
委員長 中野 秀敏(自民)

議事

- 令和3年度北方四島交流等事業に関する報告
聴取の件 [北方領土対策局長報告]

質問

- 大越 農子委員(自民)
～東方経済フォーラムについて

○9月13日(月) 開議 午後1時5分
散会 午後1時8分
第8委員会室
委員長 中野 秀敏(自民)

議事

- 令和3年第3回定例会提出予定案件の事前説明
聴取の件 [北方領土対策本部長説明]

○10月7日(木) 開議 午後1時5分
散会 午後1時14分
第8委員会室
委員長 中野 秀敏(自民)

議事

- 意見案発議の件 [決定]
- 令和3年度(2021年度) 北方領土返還要求運動強調月間に
おける主な啓発活動(実施結果)に関する報告聴取の件
[北方領土対策局長報告]

新幹線・総合交通体系対策特別委員会

○8月4日(水) 開議 午前10時5分
散会 午前10時52分
第9委員会室
委員長 吉田 正人(自民)

議事

- 令和3年度シームレス交通戦略推進会議(十
勝地域)の開催結果に関する報告聴取の件
[交通政策局長報告]
- 北海道エアポートによる女満別空港の投資の
後ろ倒しに関する報告聴取の件
[航空局長報告]

質疑

- 赤根 広介委員(結志)
～令和3年度シームレス交通戦略推進会議(十
勝地域)の開催結果について
- 梅尾 要一委員(自民)
～北海道エアポートによる女満別空港の投資の
後ろ倒しについて
- 山根 理広委員(民主)
～北海道エアポートによる女満別空港の投資の
後ろ倒しについて

○9月8日(水) 開議 午前10時5分
散会 午前10時43分
第9委員会室
委員長 吉田 正人(自民)

議事

- 北海道新幹線並行在来線対策協議会第9回ブ
ロック会議(後志地域)の開催結果に関する
報告聴取の件
[交通政策局鉄道担当局長兼新幹線担当局長
報告]
- 航空路線の動きに関する報告聴取の件
[航空局長報告]

質疑

- 山根 理広委員(民主)
～北海道新幹線並行在来線対策協議会第9回ブ
ロック会議(後志地域)の開催結果について

1. 赤根 広介委員（結志）
～北海道新幹線並行在来線対策協議会第9回ブロック会議（後志地域）の開催結果について

[地域創生局長報告]

○9月13日（月） 開議 午後1時5分
散会 午後1時22分
第9委員会室
委員長 吉田 正人（自民）

○9月8日（水） 開議 午前10時6分
散会 午前10時32分
第4委員会室
委員長 白川 祥二（結志）

議事

1. 令和3年第3定例会提出予定案件の事前説明聴取の件 [総合政策部交通企画監説明]
1. 令和3年度第1回北海道交通・物流連携会議物流対策ワーキンググループの開催結果に関する報告聴取の件
[交通政策局物流港湾担当局長報告]

議事

1. 令和4年度地方創生関連国費予算の概算要求の概要に関する報告聴取の件
[総合政策部地域振興監報告]

質問

1. 赤根 広介委員（結志）
～新型コロナウイルス感染症対策について

質疑

1. 喜多 龍一委員（自民）
～令和4年度地方創生関連国費予算の概算要求の概要について

○10月7日（木） 開議 午後1時5分
散会 午後1時9分
第9委員会室
委員長 吉田 正人（自民）

質問

1. 寺島 信寿委員（公明）
～地域おこし協力隊の活動状況について

○9月13日（月） 開議 午後1時4分
散会 午後1時10分
第4委員会室
委員長 白川 祥二（結志）

付託案件の審査

議案第14号
空港整備事業に伴う地方公共団体の負担金に関する件
(原案可決)

議事

1. 付託議案審査の件

1. 市町村総合戦略の推進上の課題等に関する報告聴取の件 [総合政策部地域振興監報告]

議事

1. 付託議案審査の件

○10月7日（木） 開議 午後1時3分
散会 午後1時21分
第4委員会室
委員長 白川 祥二（結志）

人口減少問題・地方分権改革等調査特別委員会

○8月4日（水） 開議 午前10時4分
散会 午前10時11分
第4委員会室
委員長 白川 祥二（結志）

議事

1. 道から市町村等への事務・権限移譲の状況に関する報告聴取の件 [地域行政局長報告]

議事

1. 第2期北海道創生総合戦略（改訂版・素案）に関する報告聴取の件

質疑

1. 中山 智康委員（結志）
～道から市町村等への事務・権限移譲の状況について

少子・高齢社会対策特別委員会

○8月4日(水) 開議 午前10時7分
散会 午前10時40分
第6委員会室
委員長 松山 丈史(民主)

散会 午後1時21分
第6委員会室
委員長 松山 丈史(民主)

開議前

- 故竹内英順委員の逝去を悼み黙禱

議事

- 議席の一部変更の件 [決定]
- 第四期「北の大地☆子ども未来づくり北海道計画」推進状況(令和2年度(2020年度))に関する報告聴取の件
[子ども未来推進局長報告]

質問

- 宮川 潤委員(共産)
～介護保険補足給付の縮小と負担限度額引き上げについて

○9月8日(水) 開議 午前10時7分
散会 午前10時36分
第6委員会室
委員長 松山 丈史(民主)

開議前

- 委員の議員辞職報告

議事

- 議席の一部変更の件 [決定]
- 理事の一部変更の件 [決定]
- 「北海道子どもの貧困対策推進計画」推進状況(令和2年度(2020年度))に関する報告聴取の件
[子ども未来推進局長報告]
- 令和2年度(2020年度)道の児童相談所における児童虐待相談対応状況及び被措置児童等虐待の状況に関する報告聴取の件
[子ども未来推進局長報告]

質問

- 宮川 潤委員(共産)
～ヤングケアラーについて

○9月13日(月) 開議 午後1時5分

議事

- 令和3年第3回定例会提出予定案件の事前説明聴取の件 [少子高齢化対策監説明]
- 「北海道債権管理条例に基づく債権放棄の報告(保健福祉部所管分)」に関する報告聴取の件 [保健福祉部次長報告]
- 「ケアラー実態調査結果報告書」に関する報告聴取の件 [高齢者支援局長報告]

○10月7日(木) 開議 午後1時4分
散会 午後1時9分
第6委員会室
委員長 松山 丈史(民主)

請願の審査

請願第12号
子ども医療費無料化を求める件 (継続審査)

開議前

- 委員の補充選任報告及び新委員の紹介

議事

- 議席の一部変更の件 [決定]
- 閉会中における請願継続審査申し出の件 [決定]

質問

- 渕上 綾子委員(民主)
～児童扶養手当に関する窓口対応について

食と観光対策特別委員会

○8月4日(水) 開議 午前10時5分
散会 午前10時40分
第5委員会室
委員長 沖田 清志(民主)

議事

- 北海道の食品ロス発生量の推計(平成30年度分)等に関する報告聴取の件
[食の安全推進局長報告]

質 問

1. 木葉 淳委員（民主）
～旅行・帰省の中止について
1. 真下 紀子委員（共産）
～観光振興とコロナ対策について

○9月8日（水） 開議 午前10時6分

散会 午前10時29分

第5委員会室

委員長 沖田 清志（民主）

議 事

1. 「令和2年度北海道観光入込客数調査」の概要に関する報告聴取の件 [観光局長報告]
1. アドベンチャートラベル・ワールドサミットに関する報告聴取の件
[観光局アドベンチャートラベル担当局長報告]

質 疑

1. 村田 光成委員（自民）
～アドベンチャートラベル・ワールドサミットについて
1. 木葉 淳委員（民主）
～アドベンチャートラベル・ワールドサミットについて

○9月13日（月） 開議 午後1時4分

散会 午後1時16分

第5委員会室

委員長 沖田 清志（民主）

議 事

1. 第5期「北海道観光のくにづくり行動計画」（案）に関する報告聴取の件
[観光局長報告]

質 疑

1. 真下 紀子委員（共産）
～第5期「北海道観光のくにづくり行動計画」（案）について

○10月7日（木） 開議 午後1時7分

散会 午後1時31分

第5委員会室

委員長 沖田 清志（民主）

議 事

1. アドベンチャートラベル・ワールドサミットに関する報告聴取の件
[観光局アドベンチャートラベル担当局長報告]
1. 飼養衛生管理指導等計画の一部改正に関する報告聴取の件 [食の安全推進局長報告]
1. 海外悪性伝染病への対応に関する報告聴取の件 [食の安全推進局長報告]
1. 新しい旅のスタイルに関する報告聴取の件
[観光局誘客担当局長報告]

質 疑

1. 真下 紀子委員（共産）
～新しい旅のスタイルについて

北海道地方路線問題調査特別委員会

○8月4日（水） 開議 午後1時13分

散会 午後1時32分

第4委員会室

委員長 喜多 龍一（自民）

議 事

1. 令和3年度における北海道鉄道活性化協議会の取組に関する報告聴取の件 [交通政策局長報告]
1. JR根室線（富良野～新得間）に係るJR北海道からの申し入れに関する報告聴取の件 [交通政策局長報告]

質 問

1. 真下 紀子委員（共産）
～地方路線の維持・継続について

○9月8日（水） 開議 午後1時10分

散会 午後1時17分

第4委員会室

委員長 喜多 龍一（自民）

議 事

1. 根室本線対策協議会JR根室線富良野～新得

間関係市町村幹事会の開催結果に関する報告
聴取の件 [交通政策局長報告]

○10月7日(木) 開議 午後2時15分
散会 午後2時18分
第4委員会室
委員長 喜多 龍一(自民)

議 事

1. 意見案発議の件 [決定]

予算特別委員会

○9月29日(水) 開会 午後5時23分

散会 午後5時32分

第1委員会室

委員長 花崎 勝(自民)

① 委員長に花崎勝委員(自民)、副委員長に松山丈史委員(民主)を選出。

② 付託議案に対する審査方法について、2分科会を設置し、質疑を行うこととし、第1分科会は委員13人、所管は総務部、総合政策部、環境生活部、保健福祉部、出納局、企業局、道立病院局、選挙管理委員会、人事委員会、公安委員会及び監査委員、第2分科会は委員13人、所管は経済部、農政部、水産林務部、建設部、教育委員会、労働委員会、収用委員会、海区漁業調整委員会、連合海区漁業調整委員会及び内水面漁場管理委員会とする。

各分科会に付託する議案は、別紙付託議案一覧のとおりとすること、各分科会の審査における質疑保留事項に対する総括質疑は、本委員会において行うことに決定。

③ 各分科会の委員は、別紙分科委員名簿のとおりとする。

○第1分科会(委員13人)

星 克明(自民)	宮下 淳一(自民)
松本 将門(民主)	山根 理広(民主)
荒当 聖吾(公明)	中川 浩利(民主)
大越 農子(自民)	太田 憲之(自民)
吉田 祐樹(自民)	赤根 広介(結志)
滝口 信喜(結志)	藤沢 澄雄(自民)
喜多 龍一(自民)	

○第2分科会(委員13人)

檜垣 尚子(自民)	渡邊 靖司(自民)
壬生 勝則(民主)	菊地 葉子(共産)
中野渡志穂(公明)	桐木 茂雄(自民)
佐藤 稔洋(自民)	沖田 清志(民主)
松山 丈史(民主)	佐藤 伸弥(結志)
須田 靖子(民主)	富原 亮(自民)
千葉 英守(自民)	

④ 各分科会に分科委員長及び分科副委員長各1

人を選任することに決定。

⑤ 付託議案の審査日程について、配付の日程表のとおりとすることに決定。

⑥ 質疑・質問の方法等について、通告の形式により行うこと、発言の順位は本会議における一般質問に準じることに決定。

⑦ 議席について、配付の議席表のとおりとすることに決定。

⑧ 本委員会の運営に当たり、正・副委員長、各分科会の正・副委員長及び分科会正・副委員長の配分のない会派から1人の理事をもって構成する理事会を設置し、その協議により運営することに決定。諸派についても理事会に出席願うこととし、委員長の許可を得て発言することができることとする。

⑨ 委員の異動等について、申出は原則、当日の理事会開催前までに提出することとし、委員の交代は議長の辞任許可及び補充指名を受けること、分科委員の所属変更は、委員長の承認を受けることに決定。

第1分科会

○9月29日(水) 開会 午後5時34分

散会 午後5時42分

第1委員会室

第1分科委員長

大越 農子(自民)

① 分科委員長に大越農子委員(自民)、分科副委員長に山根理広委員(民主)を選出。

② 付託議案の審査日程、質疑・質問の方法等、理事会の設置、分科委員の異動等、分科委員外委員の発言の取扱い、議席、次回委員会の開催予定について決定。

③ 理事に、宮下准一委員(自民)、松本将門委員(民主)、赤根広介委員(結志)、荒当聖吾委員(公明)を選出。

○10月1日(金) 開議 午前10時

散会 午後5時59分

第2委員会室

第1分科委員長

① 公安委員会所管に対する質疑に入り、

滝口 信喜委員（結志）から、

1 自転車関連事故防止について

- ・最近5か年の事故件数と特徴点並びに業務運転中の事故件数
- ・配達員への注意喚起等の取組内容
- ・今後の対応

2 業務用白ナンバー飲酒検査義務化について

- ・安全運転管理者の届出状況と飲酒検査への働きかけの内容
- ・今後の取組

等について質疑、意見及び要望があり、交通部長及び交通部参考官兼交通企画課長から答弁があって、公安委員会所管に関する質疑を終結。

② 保健福祉部所管に対する質疑に入り、

星 克明委員（自民）から、

1 新型コロナウイルス感染症対策について

- ・PCR検査体制と実施状況及び変異株に対する監視体制やスクリーニング検査の現状
- ・抗原簡易検査キットの配付への相談内容及び保育所等で想定される活用方法と現状
- ・12歳未満の感染者数と家庭内感染や子どもたち間の感染経路の割合及び重症例や重症者数
- ・簡易検査キットの流通に対する受け止め及び陽性が示された場合の取組方法
- ・保育所等における感染防止の取組方法
- ・ワクチンのデルタ株への効果に対する具体的な情報内容
- ・ワクチン接種により感染しても無症状・軽症で済むとの理解に対する見解
- ・二次感染のリスクへの見解
- ・道民にワクチン接種による効果を情報提供することへの見解
- ・市町村の3回目ワクチン接種への支援方法
- ・後遺症の状況を周知しワクチン接種を促す必要性への見解
- ・後遺症に対する対応方法
- ・自宅療養者等への支援体制の現状と課題
- ・臨時医療施設開設の準備状況及び札幌駅前の施設との違い
- ・臨時医療施設の運営方法及び宿泊療養施設からの転用のタイミング並びに移行時の対応

- ・カクテル療法の状況及び外来や往診診療の状況

- ・新たな病床確保計画の考え方

- ・今後の取組

2 介護人材の確保について

- ・介護職員の数と離職率の推移及び定着率の向上に向けた取組と課題
- ・多様な人材の確保に向けた取組内容
- ・介護ロボット導入促進やICT活用の現状及び今後の取組の進め方
- ・介護事業者認証評価制度導入の検討状況及び今後の取組の進め方
- ・今後の取組

3 ケアラー実態調査について

- ・調査概要
- ・調査結果の内容
- ・障がい者のケアラーの現状の受け止め及び必要な対応の認識
- ・今後の取組

等について

松本 将門委員（民主）から、

1 手話に関する環境整備について

- ・令和3年度における手話通訳者の必要量の根拠と令和5年まで据え置く理由及び達成に向けた取組
- ・手話通訳者の養成に当たり研修費の補助など間口を広げる機会を積極的に図る必要性への見解
- ・手話奉仕員養成研修を受けやすくするための支援策への見解
- ・手話を習得する機会の確保のための具体的な取組
- ・遠隔手話サービス拡充への今後の取組
- ・保健所におけるタブレットを活用したサービスの運用の有効性と市町村へのタブレット設置の進捗状況
- ・普及への具体的な取組

等について

船橋 賢二委員（自民）から、

1 災害時など非常時の体制について

- ・IHEATの制度概要
- ・IHEATの道内の登録状況とその受け止め
- ・IHEATの北海道における活用実績
- ・IHEAT登録者の研修概要と取組
- ・保健所等の応援体制構築に向けた取組内容

- ・個別避難計画作成の課題の認識
 - ・個別避難計画作成に向けた支援の考え方
 - ・ＳＣＵの丘珠空港の関係者との協議状況
 - ・地方空港のＳＣＵ指定に向けた協議状況
 - ・ＳＣＵの今後の対応
- 2 メディカルウイングについて
- ・年度別予算額と運用経費の状況
 - ・メディカルウイングの搬送実績と利用状況の受け止め
 - ・搬送先における課題への対応策
 - ・今後の対応
- 等について
- 中川 浩利委員（民主）** から、
- 1 コロナ禍への対応について
- ・飲食店等に対する見回り実績及び評価
 - ・見回る職員への対応と留意事項
 - ・要請に応じていない飲食店等に対する対応状況と過料通知の件数
 - ・感染防止対策実態調査等事業費に対する事業者の意見内容
 - ・今後の取組
 - ・ワクチン追加接種の必要性と課題等への認識
 - ・道における必要性と課題等への認識及び必要性と課題等を明らかにした上で準備を行うことへの認識
 - ・2回目接種完了の目途
 - ・12歳未満の子どもに対する接種の検討状況
 - ・3回目接種時の副反応の状況と導入ありきの見切り発車は避けるべきとの考え方に対する見解
 - ・今後の追加接種に向けた体制整備の考え方
 - ・市町村への支援に当たり特に力を入れるべき取組事項
 - ・生活福祉資金特例貸付のこれまでの貸付け実績
 - ・自立相談支援機関における令和元年度と令和2年度の相談状況
 - ・生活保護の申請件数の状況と分析
 - ・生活困窮者自立支援金特例貸付が今後利用できない世帯の数とこのうち支給決定された世帯の数
 - ・生活困窮者自立支援金の利用者が少ない理由
 - ・生活困窮者自立支援金特例貸付の今後の対応
- 等について
- 赤根 広介委員（結志）** から、
- 1 新型コロナウイルス感染症対策について
- ・第5波における医療提供体制や検査体制の課題
 - ・道内のブレークスルー感染の状況と重症化及び死亡例の有無
 - ・円滑な3回目接種のための自治体の体制整備などの課題の認識と対応状況
 - ・大規模接種会場の3回目接種を見据えた今後の運営方法
 - ・ワクチン接種の円滑な推進に向けた今後の取組
 - ・モニタリング検査の実施状況や国の分析結果の内容
 - ・成果の今後の活用方法
 - ・検査体制の整備に向けた具体策
 - ・新型インフルエンザ等対策特別措置法及び北海道新型インフルエンザ等対策行動計画の趣旨を踏まえた臨時医療施設のこれまでの設置検討内容と経過
 - ・臨時医療施設機能を移管した札幌市中心部の宿泊療養施設の入所者数と中和抗体薬治療の実績
 - ・臨時医療施設で実施した中和抗体薬治療で確認された具体的な効果
 - ・臨時医療施設を活用した今後の医療提供体制の強化方法
 - ・自宅療養者に欠かせないパルスオキシメーターや酸素濃縮器の整備状況
 - ・道内の往診・訪問診療・訪問看護やオンライン診療等の体制と移送・搬送体制及び患者受入れ体制の状況
 - ・医療提供体制のさらなる充実に向けた今後の取組
- 2 ケアラーについて
- ・相談支援機関が道や市町村に求める取組内容の課題認識と必要な対策
 - ・ヤングケアラーの実態調査の手法と回収率への認識
 - ・ヤングケアラーの置かれた状況の課題認識と必要な対策内容
 - ・具体的な対策の取組状況
 - ・調査の回収率向上のための改善方法と次年度以降の実態調査への対応方法
 - ・ケアラーへの実効性のある支援計画やガイドラインの策定への見解

- ・支援計画の策定への所見
- ・ケアラーを支援するための条例制定の取組等について

荒当 聖吾委員（公明）から、

- 1 新型コロナウイルス感染症対策について
 - ・PCR検査体制の一層の強化に対する所見と保育所等の検査費用を無料化するための国への要望の所見
 - ・医療提供体制強化の所見
 - ・保健所体制強化の所見
 - ・後遺症患者への支援体制を強化する必要性への所見
 - ・新型コロナワクチン2回目接種完了の見通し
 - ・追加接種に向けた体制整備の所見
- 2 骨髄移植について
 - ・ドナー助成制度の道の独自助成を求める声に対する所見
 - ・ドナー休暇制度導入の促進方法と今後の取組
 - ・ドナー休暇制度の導入促進のための新たな制度の検討に係る見解
- 3 災害時の福祉支援体制について
 - ・想定される災害派遣福祉チームの構成や活動内容
 - ・DWAT立ち上げに向けた進捗状況と関係団体との協議状況
 - ・DWATの今後の取組
- 4 メディカルウイングについて
 - ・搬送患者の年齢及び疾患区分別の状況
 - ・バックトランスクアードによる患者や家族などの負担を減らす制度を国へ要望すべきとの考え方に対する所見
 - ・メディカルウイングの搬送実績の総数や道内と道外の搬送内訳及び道外における搬送先都府県の内訳
 - ・メディカルウイングの有効性を全国へ発信することへの所見

等について質疑、意見及び要望があり、保健福祉部長、保健福祉部新型コロナウイルス感染症対策監、保健福祉部少子高齢化対策監、保健福祉部次長、地域医療推進局長、健康安全局長、感染症対策局長兼感染症対策課長、福祉局長、高齢者支援局長、子ども未来推進局長、感染症対策局次長、感染症対策局医療体制担当局長、感染症対策局地域支援担当局長、福祉局障がい者支援担当局長、総務課政策調整担当課長、地域医療課長、医務薬務課長兼感染症対策課参事、地域保健課長、感染症対策課感染症対策調整担当課長、感染症対策課参事、感染症対策課感染

症予防対策担当課長、感染症対策課医療体制担当課長、感染症対策課療養体制担当課長、感染症対策課地域支援担当課長、感染症対策課支援調整担当課長、地域福祉課長、地域福祉課法人運営担当課長、地域福祉課保護担当課長、障がい者保健福祉課長、高齢者保健福祉課長、高齢者保健福祉課介護運営担当課長及び子ども子育て支援課自立支援担当課長から答弁があつて、総括質疑に保留された事項を除き、保健福祉部所管に関する質疑を終結。

③ 環境生活部に対する質疑に入り、

宮下 准一委員（自民）から、

- 1 ゼロカーボン北海道について
 - ・府内プロジェクトチームの設置状況と取組状況
 - ・国との連携方法
 - ・市町村との連携方法
 - ・民間企業や地域との連携方法
 - ・道民との連携方法
 - ・ゼロカーボンの実現に向けた取組の方向性
 - ・気候変動による道内の1次産業への影響
 - ・気候変動適応センターの役割及び体制並びに取組状況
 - ・気候変動適応とゼロカーボン実現の連携した取組推進に係る所見
- 2 風力発電事業の環境アセスメントについて
 - ・審査対象となる規模要件と昨年度の審査件数及び事業規模
 - ・環境影響評価法に基づく規模要件の見直しの具体的な内容と受け止め
 - ・環境影響評価条例施行規則の改正の考え方
 - ・今後の対応
- 3 PCB廃棄物の処理に向けた取組について
 - ・JESCO北海道PCB処理事業所の北海道事業エリアにおける処理状況
 - ・処理対象物の掘り起こしの調査状況と課題
 - ・処理が事実上困難な保管事業者に対する対応と期限内処理の取組の方向性
 - ・汚染廃棄物対策地域内のPCB廃棄物の安全確保と適正処理に向けた取組の方向性
 - ・国からの処理完了期限の延長要請内容と受け止め並びに対応の方向性
 - ・今後の取組
- 4 北海道ヒグマ管理計画について
 - ・現在の計画に係る評価状況
 - ・評価により明らかとなつた課題に対する対応

- ・新たな計画に地域の方々の意見を反映させる方法及び今後のスケジュール
- ・地域におけるヒグマへの対応及び体制強化を新たな計画へ位置づけることに係る所見
- ・新たな計画の策定の方向性と取組に係る考え方

等について

山根 理広委員（民主）から、

1 ヒグマ対策について

- ・本年のヒグマによる人身事故の拡大要因と対策
- ・人身事故減少に向けた方策の実施主体及び取組実績とその効果の把握手法
- ・新たな取組の研究
- ・第2期北海道ヒグマ管理計画に具体的な目標行動と目標数字を記載することに係る所見
- ・市町村等との具体的な対策の連携状況
- ・最新の生息数推定値を用いて信頼性のある対策を実施することの可否及び最新技術を活用した生息数推定値の精度向上に係る見解
- ・モデル地域における実証実験の実施に係る所見
- ・専門的知識を持つ職員の配置や組織マネジメントの専門家が地域連絡協議会に参加する必要性に係る所見

2 東京2020オリンピック・パラリンピックの検証と2030年札幌招致について

- ・東京オリパラの開催経費や運営上の問題に対する評価
- ・巨額の赤字を出した大会組織委員会の会長の責任を明確にすべきとの考えに対する見解
- ・東京オリンピック連携局の役割と成果
- ・おもてなしの取組内容と東京オリンピック連携局の成果
- ・東京2020オリンピック札幌開催に伴う事業効果と執行状況及びイベントの開催適否の判断と収入の有無
- ・市町村との連携内容と成果
- ・マラソン競技における観衆誘導員の募集方法及び時間外勤務手当等の有無
- ・大会に携わった方々の経験を共有する取組
- ・おもてなしの心を具体的に伝える取組の有無
- ・選手に対するおもてなしの具体的な取組
- ・道民からの意見や課題に対する見解
- ・2030年の冬季札幌オリンピック・パラリンピ

ック招致に向けた東京2020オリンピック・パラリンピックの検証

3 人権施策について

- ・パートナーシップ制度を導入することによる理解促進に係る所見
- ・パートナーシップ制度の導入が道の魅力向上につながるとの考えに対する認識
- ・パートナーシップ制度の導入による市町村の不利益及び不快感を示すことの想定
- ・他府県で導入後に問題が生じた事例
- ・パートナーシップ制度に係るこれまでの質問に対する答弁
- ・パートナーシップ制度の導入を検討しない理由の有無

等について質疑、意見及び要望があり、環境生活部長、環境生活部ゼロカーボン推進監、環境生活部東京オリンピック連携推進監、環境局長、ゼロカーボン推進局長、くらし安全局長、東京オリンピック連携局長兼競技開催支援担当局長、環境局自然環境担当局長、ゼロカーボン推進局気候変動対策担当局長、環境政策課環境計画担当課長、循環型社会推進課環境保全担当課長、自然環境課動物管理担当課長、ゼロカーボン戦略課長、ゼロカーボン戦略課ゼロカーボン推進担当課長、気候変動対策課気候変動適応担当課長、道民生活課長兼青少年担当課長及び東京オリンピック連携課長から答弁があつて、議事進行の都合により散会。

○10月4日（月）

開議	午後1時
散会	午後5時37分
第2委員会室	
第1分科委員長	
大越 農子（自民）	

**① 環境生活部に対する質疑を継続し、
星 克明委員（自民）から、**

1 水道広域化推進プランについて

- ・本道の水道事業の現状と広域連携に向けたこれまでの取組
- ・ソフト事業の連携シミュレーション結果の概要と課題
- ・ハード事業の連携シミュレーションの内容
- ・水道広域化推進プラン策定の考え方
- ・広域連携の推進に向けた具体的な取組の内容
- ・広域化の実現に向けた取組の方向性

2 アイヌ政策について

- ・アイヌの方々を傷つける不適切な表現を含む

- 番組を放送した放送局のこれまでの対応
 - ・番組の検証結果と再発防止策の内容
 - ・不適切な表現が放送された原因と今後の対策に係る受け止め及び国や放送業界における再発防止に向けた対応の内容
 - ・アイヌの方々の歴史や文化の理解促進に向けた今後の取組
- 3 北海道百年記念塔について
- ・登録文化財の登録基準への該当の有無
 - ・文化財としての価値の検討の有無及び価値を改めて丁寧に検討する必要性に係る見解

等について

滝口 信喜委員（結志）から、

- 1 P C B 廃棄物処理について
 - ・環境省から道に対する要請の経緯や内容
 - ・事業終了準備期間の設定の考え方
 - ・処理計画の見直しの有無及び今後の対応方針
- 2 自然環境等の保全について
 - ・政府が自然環境等を保全するエリア拡大の取組を発表するに至った経緯
 - ・愛知目標に係る全国の取組結果と道内の取組状況
 - ・環境省による保護地域以外のエリアを新たに認定する制度概要
 - ・認定が想定される道内の地域
 - ・陸域と海域の保護に係る国際目標の実現に向けた今後の対応

等について

荒當 聖吾委員（公明）から、

- 1 交通事故防止について
 - ・道内における飲酒運転事故の状況
 - ・効果的な交通安全対策の取組の必要性に係る所見
- 2 道内の湿原・湿地などの保全・再生について
 - ・湿原環境の消滅の危機防止と保全及び再生に係る所見
- 3 アライグマ対策について
 - ・駆除に係る所見
 - ・捕獲に係る今後の取組
- 4 エゾシカなどの捕獲人材育成の機会の充実について
 - ・捕獲人材の育成に係る所見
 - ・捕獲人材育成の機会充実に係る所見
- 5 ヒグマ対策について
 - ・道が中心となった広域的な被害防止体制の構

- 築及び捕獲技術を持つ人材の育成に係る見解
- ・家畜へ被害を与える問題個体の捕獲方法
- ・関係機関が持つ知見を生かした有効な解決方法を見いだすこと及び地域との情報共有や専門家の派遣による地域支援に係る見解
- ・対策強化に係る見解

等について

赤根 広介委員（結志）から、

- 1 環境政策について
 - ・北海道気候変動適応センターの機能強化に対する所見
 - ・市町村における地域気候変動適応計画の策定状況及び適応の取組状況
 - ・適応ビジネスの促進に係る取組状況及び創出事例
 - ・道内誘致の具体的な検討内容
 - ・ゼロカーボン北海道の取組及び要素を北海道気候変動適応計画に反映させるべきとの考えに係る見解
 - ・計画の加筆修正に対する見解
 - ・行動変容促進事業委託業務の受託事業者からの提案内容と事業の進捗状況
 - ・家庭部門における温室効果ガス削減行動の促進に向けた事業成果の活用方法
 - ・第3次北海道地球温暖化対策推進計画の改定に当たっての経済団体からの意見の内容及び国の計画案における排出部門ごとの削減の考え方や目標達成に向けた対策・施策などの検証内容
 - ・北海道環境審議会へ諮問する第3次北海道地球温暖化対策推進計画の改定に係る諮問方針と温室効果ガスの削減を上積みする分野と方策
 - ・振興局におけるゼロカーボン推進室の設置状況及び具体的な役割
 - ・グリーンボンドに係る認識と発行に係る見解
 - ・今後の民間活力・資金の取り込み方法
 - ・ロードマップへの対応方法
 - ・北海道地球温暖化防止対策条例の改正に対する所見

等について質疑、意見及び要望があり、環境生活部長、環境生活部アイヌ政策監、環境局長、くらし安全局長、文化局長、アイヌ政策推進局長、環境局自然環境担当局長、ゼロカーボン推進局気候変動対策担当局長、環境政策課水道広域化推進室長、循環型社会推進課環境保全担当課長、自然環境課長、自然環境

課動物管理担当課長、自然環境課エゾシカ担当課長、ゼロカーボン戦略課長、ゼロカーボン戦略課ゼロカーボン推進担当課長、気候変動対策課長、気候変動対策課気候変動適応担当課長、道民生活課交通安全担当課長、文化振興課長兼アイヌ政策課歴史文化担当課長及びアイヌ政策課長から答弁があつて、総括質疑に保留された事項を除き、環境生活部所管に関する質疑を終結。

② **総合政策部所管に対する質疑**に入り、

太田 憲之委員（自民） から、

- 1 新型コロナウイルス感染症への対応について
 - ・第三者認証制度の導入に向けた国や札幌市等との協議の状況
 - ・有識者会議における対策への議論内容と評価
 - ・対策とその効果に対する受け止め
 - ・警戒ステージ運用の課題と検証状況
 - ・有識者会議による検証の対策への反映状況
 - ・検証を通じて得られた教訓
 - ・今後の対応方向や教訓を踏まえた対策
 - ・情報発信の効果に対する受け止め
 - ・今後の対応方法
 - ・秋の再拡大防止特別対策重点地域設定の判断基準
 - ・対策の段階的な緩和方法の考え方とその提示時期
 - ・実効性の高い出口戦略の立案検討に向けた取組方法
- 2 地域交通について
 - ・令和元年から今年度までのバス事業者への補助実績額と系統数及びその変化
 - ・地域交通を守るために必要な対応の考え方
 - ・今後の対応

等について

松本 将門委員（民主） から、

- 1 新型コロナウイルス感染症への対応について
 - ・追加検証の議論経過
 - ・効果的な情報発信の在り方
 - ・道民への情報発信の課題の整理状況
 - ・振興局における情報発信の現状と課題
 - ・追加検証における今後の対応方向の道庁内の共有状況
 - ・出口戦略の検討の進め方
 - ・出口戦略に係る国への提案要望と議会議論のタイミング
 - ・指揮室の現状の組織体制と総合政策部の役割
 - ・今後に向けた対応

等について

宮下 准一委員（自民） から、

- 1 第2期北海道創生総合戦略の改訂について
 - ・関係人口創出の取組実績及び今後の展開への考え方
 - ・デジタル化に向けた環境整備への対応
 - ・KPI設定の考え方
 - ・地域戦略推進への考え方
 - ・今後の対応
- 2 北海道グローバル戦略の改訂について
 - ・地球温暖化対策の見直しの視点の位置づけとその対応方向
 - ・多文化共生社会の形成に向けた取組
 - ・リスクマネジメントへの認識と対応策
 - ・北海道の強み等を生かした海外展開への見解
 - ・今後の対応

等について

中川 浩利委員（民主） から、

- 1 道の政策検討について
 - ・国の概算要求の評価
 - ・令和4年度道の政策検討の取組方法
 - ・ゼロカーボンやデジタルトランスフォーメーションの施策検討を選択した考え方
 - ・国の補正予算編成に対する認識と国への具体的な要望
 - ・本年度補正予算における道独自の具体的要望の有無
 - ・国の補正予算に受け身の姿勢でよいのかの見解
 - ・国の補正予算編成方法に対する評価
 - ・国土強靭化対策関連の公共工事と通常の公共工事の違い
 - ・国土強靭化対策で見込んでいる道全体の事業量と令和4年度以降の事業費
 - ・令和3年8月末のふるさと納税とクラウドファンディング実績
 - ・ふるさと納税の活用に向けた取組
 - ・クラウドファンディングの副次的な効果とさらなる活用に向けた取組
 - ・令和4年度以降の民間資金獲得等に向けた取組
- 2 新型コロナウイルス感染症への対策について
 - ・政府広報に対する見解
 - ・後遺症の啓発の取組状況
 - ・まん延防止等重点措置と非常事態宣言の中央

政府への要請状況

- ・要請タイミングの反省材料や改善点の有無
- ・要請タイミングが適期か否かに係る認識
- ・道のコロナ対策ステージにおける警戒ステージの内容
- ・感染リスクの回避が困難な場合に対する見解
- ・4人以内での飲食の考え方

等について質疑、意見及び要望があり、総合政策部長、総合政策部地域振興監兼地域創生局長兼官民連携推進室長、総合政策部交通企画監、総合政策部次長兼政策局企画担当局長、政策局长、計画局长、国際局长兼ロシア担当局长、交通政策局长、政策局次長、官民連携推進室参事、政策局参事、計画推進課社会資本・強靭化担当課長、国際課長兼多文化共生担当課長、地域戦略課長、地域戦略課地域創生担当課長及び交通企画課地域交通計画担当課長から答弁があって、議事進行の都合により散会。

○10月5日（火） 開議 午前10時
閉会 午後4時35分
第2委員会室
第1分科委員長
大越 農子（自民）

① 総合政策部所管に対する質疑を継続し、 **滝口 信喜委員（結志）** から、

- 1 新型コロナウイルス感染症対策について
 - ・ゴールデンウィーク前後の一貫性を欠いた対応の理由
 - ・より細かな警戒ステージ運用に対する所見
 - ・札幌市とその他の地域に分けた警戒ステージ運用の継続に対する見解
 - ・緊急事態宣言解除の新指標に対する国への要請
 - ・新たな指標の考え方と具体的な要請内容
 - ・緊急事態宣言発出・解除の判断基準の数値化に対する考え方の有無
 - ・振興局や三次医療圏ごとの感染状況や医療提供体制についての分かりやすい発信が示される時期
 - ・示した機関とその内容
 - ・緊急事態宣言継続の判断基準及び昨年度のシルバーウィーク後の感染状況
 - ・緊急事態宣言の地域限定に対する考え方
 - ・全国一律の判断基準を求めることで対策が後手に回る結果となったのではないかとの意見に対する見解

- ・札幌市の重点地域解除及び再延長の判断基準
- ・札幌市の解除基準
- ・ロックダウンに対する考え方
- ・ポストコロナを見据えた政策展開

2 交通政策について

- ・函館—長万部間の現時点での検討状況
- ・長万部—札幌間の鉄道輸送の状況
- ・経営分離後における鉄道輸送状況
- ・函館—長万部間の地域交通の在り方に係る地域協議の進め方
- ・函館—長万部間の今後の対応
- ・鉄道貨物輸送の近年の輸送実態
- ・鉄道貨物輸送が不通となった場合の黄色線区における輸送体制への影響
- ・物流対策ワーキンググループにおけるこれまでの検討内容と今後の検討予定
- ・安定的な物流確保に向けた今後の対応
- ・国との協議状況
- ・バス事業者との意見交換内容及び経営や路線維持に係る課題の把握と今後の対応
- ・バス事業者の事業継続に向けた制度の弾力的運用に対する見解
- ・地域公共交通事業者臨時支援事業による乗合バス事業者に対する支援実績
- ・貸切バス事業者への地域公共交通事業者臨時支援事業による支援
- ・貸切バス事業者への支援

等について

荒当 聖吾委員（公明） から、

- 1 新型コロナウイルス感染症への対応について
 - ・道民や企業・地域などから寄せられた様々な厳しい要望意見の受け止めと今後の感染症対策への見解
 - ・総合政策部の果たす役割
 - ・過疎化や少子高齢化が進行する中での地域間格差解決への所見
 - ・市町村の現状認識
 - ・札幌一極集中の課題への取組
 - ・振興局の役割
 - ・広域自治体としての役割
 - ・ウイズコロナやポストコロナも見据えた今後の地域創生に向けた取組への所見
 - ・今後の政策展開への見解
 - ・コロナ禍による格差と貧困の解消に向けた対策への所見

等について

赤根 広介委員（結志）から、

- 1 地方創生と北海道創生総合戦略について
 - ・第2期北海道創生総合戦略の改定に対するパブリックコメントで寄せられた意見及び市町村や団体からの意見内容並びに意見に対する対応状況
 - ・転入及び転出の直近の状況と分析
 - ・移住につながる魅力的な情報発信の取組実績と成果及び今後の対応
 - ・新たな関心層の定義と移住定住の促進手法
 - ・企業等のニーズに対応したワーケーションコーディネートなどの受入れ環境づくりの取組状況
 - ・観光関連団体や空港運営事業者等で構成する協議会を活用したプロモーションの取組実績と成果及び今後の対応
 - ・北海道型ワーケーションの普及・促進を図るKPIの設定基準と実績の把握方法
 - ・出生率の向上を含む人口減少対策の今後の取組
 - ・地域交通確保に向けた取組を実施している市町村の定義とこれを指標とした理由
 - ・地域交通確保に向けた取組の実施への認識
 - ・地域を支える持続的な交通ネットワークの構築の趣旨にのっとった指標の見直しへの所見
 - ・指標の見直しへの認識
 - ・実効性ある北海道創生総合戦略とするための取組
- 2 交通政策について
 - ・JR北海道への国の支援内容と経営改善に資するための方法
 - ・長期経営ビジョン・中期計画を見直すことによる経営自立の道筋の提示と計画の実効性を確保することに対する見解
 - ・プロモーションの取組方法
 - ・ぐるっと北海道キャンペーンの再開に向けた考え方

等について質疑、意見及び要望があり、総合政策部長、総合政策部地域振興監兼地域創生局長兼官民連携推進室長、総合政策部交通企画監、総合政策部次長兼政策局企画担当局長、地域行政局長、交通政策局長、政策局次長、交通政策局鉄道担当局長兼新幹線担当局長、政策局参事、地域戦略課長、地域戦略課地域創生担当課長、地域政策課移住交流担当課長、交通企画課長、交通企画課公共交通支援担当課長、交通企画課地域交通計画担

当課長、交通企画課鉄道企画担当課長、交通企画課並行在来線担当課長及び交通企画課物流担当課長から答弁があつて、総括質疑に保留された事項を除き、総合政策部所管に関する質疑を終結。

② 総務部所管に対する質疑に入り、

太田 憲之委員（自民）から、

- 1 財政課題への対応について
 - ・今後の義務的経費の見込み
 - ・償還費の抑制や実質公債費比率改善に向けた対応
 - ・今後の投資的経費の見込み
 - ・令和3年度道税収入の見通し
 - ・これまでの道税収入実績と道税及び交付税等の歳入見込み
 - ・今後の歳入確保の取組
 - ・今後の対策の進め方

等について

山根 理広委員（民主）から、

- 1 私立学校のコロナ感染症対策について
 - ・学種ごとの感染者数の推移
 - ・学種ごとの集団感染の発生状況
 - ・部活動や寮における集団感染の状況
 - ・部活動の感染対策と感染の発生要因
 - ・集団感染発生に対する対応とコロナ禍における部活動の在り方
 - ・大会におけるPCR検査の積極的な実施に向けた見解
 - ・教職員や児童生徒へのワクチン接種の進め方
 - ・児童生徒や教職員に感染者が判明した場合の対応
 - ・今後の対応
- 2 私立学校のケアラー対策について
 - ・ヤングケアラーの実態調査方法と結果
 - ・支援策の検討状況
 - ・今後の支援策

等について

星 克明委員（自民）から、

- 1 コロナ禍での応急手当の普及啓発活動について
 - ・コロナ対策の状況
 - ・今後の対応

等について

中川 浩利委員（民主）から、

- 1 財政健全化について

- ・通常債の償還額のピークとその時期並びに要因
 - ・通常債の増加傾向の要因
 - ・事業費増加を見込んだ上での対策の検討
 - ・地方財政収支の仮試算の評価
 - ・さらなる収支不足対策の検討
 - ・定量的な目標設定
- 2 道の内部統制について
- ・評価結果の考え方と発生した不備の内容
 - ・昨年度の実行委員会等の事務執行状況
 - ・重大な不備事案とした理由
 - ・再発防止策の検討と有効性の担保
 - ・評価結果を踏まえた改善状況
 - ・今後の取組
- 3 コロナ収束後を見据えた組織機構の構築について
- ・指揮室の行政組織上の設置根拠
 - ・今後の組織機構の在り方
- 等について
- 笠井 龍司委員（自民）** から、
- 1 電力トリアージについて
 - ・国の防災基本計画の改定状況
 - ・電力供給及び復旧対応の位置づけ
 - ・地域防災計画の見直しへの対応
 - ・発電及び送電事業者における供給及び復旧計画の状況
 - ・北海道電力との相互協力協定の内容
 - ・倒木可能性のある樹木の予防伐採の考え方
 - ・千葉県の検証結果とその後の対応
 - ・電力トリアージへの対応の考え方と内容
 - ・地域の重要施設の把握に向けた所見
 - ・家庭内における電力トリアージの考え方
 - ・今後の対応
- 等について
- 滝口 信喜委員（結志）** から、
- 1 防災対策について
 - ・法改正後の避難指示の発令状況と受け止め
 - ・利尻富士町での避難者の人数
 - ・災害時備蓄物資を広域的に融通することへの所見
 - ・北海道版避難所マニュアルの実効性の確保への所見
 - ・避難所運営における女性の参画への見解
 - ・今後の市町村総点検実施に対する所見
 - ・緊急防災・減災事業債の道内での活用状況及び今後の取組への所見
- ・太平洋・日本海・オホーツク海の被害想定の進捗状況及び減災目標策定時期に対する所見
- ・消防広域化の推進の基本的な考え方と広域化重点地域への今後の対応内容及び石狩地域と小樽市を含む地域の指令センター共同運用による連携・協力の進捗状況並びに機器の更新を迎えている消防本部の共同運用に向けて調整する対応の必要性への見解
- ・これから始まる苫小牧市・室蘭市・登別市・伊達市の消防指令センター統合に向けた協議に対する期待感と振興局・市町村と連携した支援の取組の必要性
- ・消防団員の確保に向けた待遇改善等の経過と国の通知に基づく市町村の対応状況を踏ました取組の内容
- 2 定年延長について
- ・定年引上げに伴う職員採用の対応方法
 - ・今後のスケジュール及び条例改正までのタイムリミット
 - ・給与水準における考え方と対応方法
 - ・人事委員会における給与水準に係る調査実施状況
 - ・定年引上げに対し道民理解を得る方法
 - ・65歳定年となるまでの移行期の人事管理の考え方
 - ・定年の引上げに伴う働き方改革の進め方
 - ・定年の引上げの検討方法と効果の考え方
 - ・人事に関わる様々な課題を庁内横断的なチームにより検討することへの所見
- 等について
- 荒當 聖吾委員（公明）** から、
- 1 行財政運営について
 - ・基本方針策定の考え方
 - ・職員体制や組織運営の認識と対応方針
 - ・土地の利活用に向けた取組
 - ・今後の取組
- 2 道内私立学校の耐震改修の状況について
- ・道内の耐震化の進捗状況と全国との比較
 - ・道内の耐震化の促進に向けた取組状況
 - ・今後の取組
- 等について
- 赤根 広介委員（結志）** から、
- 1 S m a r t 道庁について
 - ・押印等の見直しを行った手続

- ・手続のオンライン化の取組状況と今後の取組及び収入証紙の貼付が必要な手続のオンライン化の進捗状況
- ・タイムスタンプを付与するシステムに対する所見
- ・道庁内部の手続内容と今後の進め方
- ・紙を前提としない仕事の進め方の具体的な見直し内容
- ・道民の利便性の確保と事務の効率化の両立に向けた考え方
- ・今後の進め方

等について質疑、意見及び要望があり、総務部長兼北方領土対策本部長、総務部職員監、総務部危機管理監、総務部次長兼行政局長、人事局長、財政局長、教育・法人局長、危機対策局長、文書課長、財産課長、改革推進課長、人事課長、人事課給与服務担当課長、財政課長、財政課資金担当課長、税務課長、学事課長、危機対策課長、危機対策課防災教育担当課長及び危機対策課消防担当課長から答弁があつて、総括質疑に保留された事項を除き、総務部所管に関する質疑を終結。

第 2 分 科 会

○9月29日（水） 開会 午後5時34分

散会 午後5時44分

第3委員会室

第2分科委員長

須田 靖子（民主）

① 分科委員長に須田靖子委員（民主）、分科副委員長に渡邊靖司委員（自民）を選出。

② 付託議案の審査日程、質疑・質問の方法等、理事会の設置、分科委員の異動等、分科委員外委員の発言の取扱い、議席、次回委員会の開催予定について決定。

③ 理事に、檜垣尚子委員（自民）、壬生勝則委員（民主）、佐藤伸弥委員（結志）、中野渡志穂委員（公明）を選出。

○10月1日（金） 開議 午前10時1分

散会 午後5時15分

第3委員会室

第2分科委員長

須田 靖子（民主）

① **建設部所管に対する質疑**に入り、

檜垣 尚子委員（自民）から、

1 応急仮設住宅について

- ・胆振東部地震における被災町との調整内容
- ・整備状況
- ・北海道における仕様
- ・整備に当たっての課題
- ・課題への対応
- ・地域工務店が対応できる木造応急仮設住宅の供給体制の検討状況
- ・木造応急仮設住宅の恒久的な使用による利点
- ・恒久的使用を想定した場合の仕様の違い
- ・恒久的使用の検討状況
- ・今後の取組

等について

壬生 勝則委員（民主）から、

1 太平洋沿岸の巨大地震による津波対策について

- ・津波浸水想定の公表経緯
- ・最大津波高の設定方法と道内主要箇所の設定状況
- ・影響開始時間の設定方法と影響開始時間が短い地域への対応
- ・今後の取組

等について

佐藤 伸弥委員（結志）から、

1 営繕工事の執行について

- ・不調や不落の発生状況
- ・管工事の不調及び不落の発生要因
- ・適切な資機材価格の単価反映
- ・施工時期の平準化率
- ・入札の執行状況の推移
- ・営繕工事における近年の平準化率と今年度の見込み
- ・今後の取組

2 河川の維持管理と伐採樹木の有効活用について

- ・河川内の樹木伐採や土砂掘削の進捗状況
- ・樹木伐採の進捗促進に向けた対応
- ・伐採木のバイオマス発電への利活用状況
- ・今後の対応

3 道路の防災・減災、強靭化について

- ・橋梁及びトンネル等道路施設の点検状況と老朽化対策の現状

- ・老朽化対策の進め方
- ・道内の高速道路の整備状況と暫定2車線の割合
- ・高速道路ネットワーク整備の必要性や今後の取組

等について

松山 丈史委員（民主） から、

1 無電柱化について

- ・環境大臣のコメントに対する所感とその後の方針
- ・諸外国と比べ無電柱化が進まない理由
- ・今後の取組

等について

菊地 葉子委員（共産） から、

1 気候変動対策等について

- ・建設部所管事業におけるCO₂の排出量
- ・排出量を把握できない理由
- ・道路の維持管理におけるCO₂削減への取組
- ・道営住宅における省エネ推進に向けた取組
- ・公共施設におけるZEB導入の考え方
- ・建設部所管事業におけるCO₂削減に向けた計画策定

2 旧開発道路の見直しについて

- ・名寄遠別線の計画変更と予算の推移
- ・名寄遠別線特定交付金の執行状況
- ・執行額の増大要因
- ・費用縮減の検討と効果の検証
- ・富良野上川線の通行規制状況
- ・事業費のさらなる増額に対する認識

3 盛土・残土規制等について

- ・建設部所管の法令の現状
- ・砂防三法における指定箇所数と指定面積
- ・道内の建設発生土の状況と民間発注工事の割合
- ・場外搬出建設発生土における公共工事分と民間発注分の把握方法
- ・建設発生土の削減対策
- ・盛土工事における届出と審査基準
- ・現行の法制度に対する認識
- ・対策の強化と法整備の必要性

等について質疑、意見及び要望があり、建設部長、建設部建築企画監、土木局長、住宅局長、建築局長、建設政策局施設保全防災担当局長、建設政策局建設業担当局長、建設政策課政策調整担当課長、維持管理防災課長、維持管理防災課維持担当課長、維持管理防災課管理担当課長、建設管理課技術管理担当課長、

道路課長、道路課高速道・市町村道担当課長、都市環境課長、住宅課長、計画管理課長及び建築整備課設備・環境担当課長から答弁があつて、総括質疑に保留された事項を除き、建設部所管に関する質疑を終結。

② **水産林務部所管に対する質疑**に入り、

桐木 茂雄委員（自民） から、

1 トドによる漁業被害対策について

- ・海獣類による漁業被害の推移とトドによる被害の減少要因
- ・これまでの対策
- ・近年のトドの駆除状況
- ・ハンターの育成状況と漁業者ハンターの年齢構成
- ・今後の取組

2 水産分野におけるゼロカーボンについて

- ・ブルーカーボンの定義と国の取組状況
- ・ブルーカーボンに対する認識
- ・藻場ビジョンの策定状況及び策定海域における取組状況と他の海域の今後の予定
- ・今後の取組

3 赤潮の発生等について

- ・十勝や釧路地方で確認された赤潮の状況と本道沿岸における過去の発生状況
- ・漁業被害の状況
- ・今後の対応

等について

壬生 勝則委員（民主） から、

1 太平洋沿岸の赤潮被害について

- ・調査の進捗状況と発生の原因分析
- ・赤潮発生に伴う被害状況
- ・今後の対策

等について

渡邊 靖司委員（自民） から、

1 森林吸収源対策について

- ・道内における森林吸収量の推移と今後の見通し
- ・吸収量の積算の考え方
- ・森林整備の考え方
- ・道産木材の利用拡大に向けた今後の取組
- ・企業と連携した森林づくりの進め方
- ・森林吸収源対策推進計画の見直しによる目標数値の拡充に向けた考え方
- ・今後の取組

2 道産木材の安定供給について

- ・コロナ禍における本道の輸入材の入荷量と価格の動向
 - ・トドマツ及びカラマツの現在の出荷量と在荷量
 - ・製材工場等の原木不足への対応
 - ・輸入材利用者のニーズと道内製材工場の生産拡大に向けた課題
 - ・今後の取組
- 3 胆振東部地震からの森林再生について
- ・被災森林の再生に向けた実施計画の予定項目と考え方
 - ・実施計画における費用や期間と国の支援に向けた取組
 - ・今後の路網整備に向けた考え方
 - ・所有者の意向を踏まえた被災森林の被害木の撤去や地ごしらえと植林の進め方
 - ・今後の取組
- 等について
- 松山 丈史委員（民主）から、**
- 1 北の森づくり専門学院について
 - ・志願者及び合格者の属性
 - ・地域における連携体制と都市部のニーズへの対応方法
 - ・道内の林業木材産業企業等への就業と定着に向けた取組
 - 2 ゼロカーボン北海道について
 - ・木質バイオマスの利用状況
 - ・道内の木質バイオマスによる電源比率及び北電等との連携や協議状況と今後の木質バイオマスのエネルギー利用量の想定
 - ・冬期間の暖房におけるまきストーブ等の需要促進
 - ・今後の木質バイオマスのエネルギー利用の進め方
 - 3 みどりの食料システム戦略について
 - ・海藻類の海外輸出額の推移
 - ・道内におけるダルスの生産状況と今後の見通し
 - ・新たなタンパク資源の利活用
- 等について
- 佐藤 伸弥委員（結志）から、**
- 1 水産振興について
 - ・アキサケの海域ごとの漁獲状況
 - ・アキサケ資源の減少要因と資源回復に向けた取組
 - 2 ホッカイエビの資源管理について
 - ・ホッカイエビの直近5か年の漁獲実績と資源管理の取組
 - ・網走湖のヤマトシジミ資源の維持安定に向けた取組
 - ・適切な資源管理のための試験研究の推進に向けた考え方
- 等について
- 中野渡 志穂委員（公明）から、**
- 1 「HOKKAIDO WOOD」について
 - ・普及と定着に向けた取組内容
 - ・都市部などでの民間施設における道産木材の利用状況
 - ・今後の取組
 - 2 水産物の輸出拡大について
 - ・道産水産物の令和元年と令和2年の輸出額及び数量並びに令和2年の主な品目と輸出国の輸出額
 - ・令和2年に輸出額が減少した要因
 - ・輸出額の目標達成に向けた課題
 - ・今後の取組
 - 3 赤潮の発生状況等について
 - ・道東海域で発生している赤潮の状況
 - ・アキサケやウニなどのへい死の状況
 - ・これまでの赤潮対策
 - ・今後の取組
- 等について
- 宮川 潤委員（共産）から、**
- 1 林務行政について
 - ・道内の国有林及び民有林における残土処理の規制
 - ・民有林における盛土の崩壊と土石流発生に対する認識並びに国有林及び民有林における点検の進め方
 - ・民有林の管理に向けた今後の取組
 - ・森林吸収源に係る国の算定方法と吸収源確保に向けた目標
 - ・間伐の意義
 - ・長伐期・多間伐施業のメリットとデメリット及び今後の山の在り方
 - ・F I T制度における木質バイオマスの区分の定義
 - ・皆伐した木材が間伐材等由来に含まれるかどうか
 - ・木質バイオマスの利用拡大に向けた先進例の普及

2 水産行政について

- ・アキサケやウニの大量死の概要と原因
- ・赤潮の監視体制と被害を防止できなかった理由
- ・他の地域での被害防止と漁業関係者への補償
- ・世界全体の漁業生産量の推移と日本及び北海道における漁業生産量と漁業生産額
- ・サケの稚魚の放流数と来遊数の推移
- ・主要魚種の生産量の変化
- ・特定魚種の不漁による地域経済への影響の認識
- ・新型コロナウイルス感染症の影響
- ・燃油高騰の影響と漁業者が求める対策と対応
- ・漁業者の年齢構成及び漁船漁家の漁労所得と農家農業所得及び勤労者世帯収入との比較
- ・福島第一原発の処理水海洋放出に対する漁業者の反応と考え方
- ・水産業における温室効果ガス排出削減方法
- ・漁業者の置かれている状況の認識と漁業者からの要望に対する対応及び今後の取組

等について質疑、意見及び要望があり、水産林務部長、水産林務部次長、水産局長、林務局長、森林環境局長兼全国育樹祭推進室長、水産局水産基盤整備担当局長、林務局森林計画担当局長、総務課企画調整担当課長、水産経営課長、水産経営課水産支援担当課長、水産経営課水産食品担当課長、水産振興課長、漁業管理課サケマス・内水面担当課長、林業木材課長、林業木材課木材産業担当課長、林業木材課林業振興担当課長、森林計画課長、森林整備課長、森林整備課路網整備担当課長及び治山課長から答弁があつて、総括質疑に保留された事項を除き、水産林務部所管に関する質疑を終結。

③ 農政部所管に対する質疑に入り、

佐藤 穎洋委員（自民） から、

1 再生可能エネルギーの導入と優良農地の確保について

- ・農地の一時転用許可要件の緩和内容
- ・営農型太陽光発電設備の設置状況と安易な農地転用
- ・再生可能エネルギーの導入による農地利用の推進方法

2 かんがい施設の整備について

- ・地下かんがいの概要と整備状況及び整備の課題
- ・畑地かんがいの施設の概要と整備状況及び課題

- ・整備前後による営農への効果と評価

- ・地域における施設の有効活用に向けた取組方法

- ・今後の基盤整備の進め方

3 畜舎建築特例法について

- ・制定の背景と概要
- ・制度のメリット
- ・特例基準と安全性確保
- ・適切な運用に向けた対応
- ・畜産業振興に向けた取組

等について

壬生 勝則委員（民主） から、

1 鳥獣被害について

- ・農業被害の推移
- ・これまでの対策
- ・ヒグマによる家畜被害の認識と対応方法
- ・今後の対応方法

2 施設園芸について

- ・道内の現状と課題
- ・これまでの推進施策
- ・今後の対応方法

3 酪農地域の基盤整備について

- ・近年の草地整備の実績
- ・草地整備の推進方法
- ・農道整備の進め方
- ・今後の対応方法

等について質疑、意見及び要望があり、農政部長、生産振興局長、農業経営局長、農村振興局長、生産振興局技術支援担当局長、農産振興課園芸担当課長、畜産振興課長、技術普及課農業環境担当課長、農地調整課長、農村計画課長、農地整備課長、農地整備課草地整備担当課長及び農村整備課長から答弁があつて、議事進行の都合により散会。

○10月4日（月） 開議 午後1時1分

散会 午後5時38分

第3委員会室

第2分科委員長

須田 靖子（民主）

① 農政部所管に対する質疑を継続し、

檜垣 尚子委員（自民） から、

1 農業における担い手の育成・確保について

- ・農業経営体及び農業従事者の状況
- ・本道及び地域別の新規就農者の状況
- ・これまでの取組内容と新規就農者の減少が続

- く要因や課題の認識
 - ・農業経営体の法人化や民間企業の農業参入への取組状況
 - ・営農支援組織の現状と課題に対する認識及び今後の組織強化に向けた考え方
 - ・今後の本道農業の担い手の育成と確保に向けた取組
- 2 農畜産物等の輸出拡大について
- ・輸出目標に対する現状
 - ・本年上期の輸出実績と主要品目別の実績額
 - ・今年度の取組
 - ・高温少雨による輸出への影響
 - ・今後の取組
- 等について
- 松山 丈史委員（民主）から、**
- 1 みどりの食料システム戦略について
 - ・戦略の趣旨と概要
 - ・牛のげっぷからメタンが排出されるメカニズム
 - ・メタンの排出を抑制するための技術及び取組
 - ・家畜のふんの堆肥化
 - ・昆虫の家畜飼料への活用拡大に向けた道内の現状と今後の取組
 - ・藻類の飼料化の現状と今後の取組
 - ・水産林務部との連携の状況
 - ・家畜のふんのウジを飼料化する技術的な可能性
 - ・新たなタンパク資源を議論する場の設置に向けた所見
 - ・今後の対応
- 等について
- 佐藤 伸弥委員（結志）から、**
- 1 道産バレイショの安定的な生産・供給について
 - ・近年の動向
 - ・種バレイショの生産状況の見通し及び安定生産の確保に向けた取組
 - ・需要に応え切れていない要因と今後の生産の推進方法
 - 2 G A P の推進について
 - ・農業経営に対する効果と推進している背景
 - ・国産水準G A P の認証取得の目標と現在の認証取得数
 - ・東京オリンピック・パラリンピックで食材調達された道内の産地
- ・取得数が少ない状況の認識
 - ・今後の取組
- 3 農村地域における大規模自然災害への対応等について
- ・農地や農業用施設の被害状況
 - ・被害の復旧に向けた取組
 - ・災害復旧への対応
 - ・農地崩落の未然防止に向けた取組方法
 - ・今後の対応
- 4 農業分野における雇用人材確保について
- ・今年度の企業と農家とのマッチング状況
 - ・農業現場と企業側の課題
 - ・労働力の産地間融通など新たな労働力確保の取組に対する受け止め
 - ・今後の対応
- 等について
- 中野渡 志穂委員（公明）から、**
- 1 女性による新規就農の促進について
 - ・女性農業者数の推移
 - ・相談実態と新規就農の状況
 - ・地域における取組状況
 - ・環境整備に向けた取組
 - 2 スマート農業について
 - ・普及状況
 - ・導入に向けたこれまでの取組内容
 - ・地域格差の是正の進め方
 - ・普及拡大に向けた今後の取組
 - 3 クリーン農業について
 - ・みどり戦略目標に対する受け止め
 - ・Y E S ! c l e a n の取組状況及び登録数減少に対する課題の認識
 - ・今後の対応
- 等について
- 菊地 葉子委員（共産）から、**
- 1 米政策等について
 - ・主食用米作付面積の推移と備蓄米の現状
 - ・概算金や買取価格の現状
 - ・米生産の費用と概算金との剥離に対する認識
 - ・ミニマムアクセス米輸入による国産米圧迫の影響に対する認識
 - ・在庫解消に向けた取組
 - ・米の需給環境の改善
 - ・米農家を守る緊急対策の国への要求
 - 2 有機農業等について
 - ・定義及び本道の状況

- ・有機食品輸出の現状
 - ・農産物輸出の阻害要因
 - ・「みどりの食料システム戦略」における目標設定の評価と今後の取組方策
 - ・有機農業の推進に向けた目標設定
- 3 気候変動対策等について
- ・第3次地球温暖化対策推進計画における計画
 - ・ゼロカーボンに向けた2030年の農業分野の目標と計画
 - ・温室効果ガス削減の取組内容と省エネ技術の促進の仕組み
 - ・先進的な取組の推進
- 4 盛土・残土規制等について
- ・農政部における所管法令
 - ・開発許可
 - ・農地転用許可における基準と要件
 - ・災害発生防止対策等の基準
 - ・さらなる対策強化
- 等について質疑、意見及び要望があり、農政部長、農政部食の安全推進監、農政部次長、食の安全推進局長、生産振興局長、農業経営局長、農村振興局長、生産振興局技術支援担当局長、農政課政策調整担当課長、食品政策課長、食品政策課6次产业化担当課長、農産振興課長、農産振興課水田担当課長、畜産振興課長、技術普及課長、農業経営課長、農地調整課長、農村整備課長及び農村整備課施設保全教育担当課長から答弁があつて、総括質疑に保留された事項を除き、農政部所管に関する質疑を終結。
- ② 経済部所管に対する質疑に入り、
桐木 茂雄委員（自民） から、
- 1 アドベンチャートラベルについて
 - ・アドベンチャートラベル・ワールドサミット2021の開催結果
 - ・サミット開催を踏まえたアドベンチャートラベルの課題
 - ・アドベンチャートラベルの普及拡大に向けた考え方
 - ・ガイド制度検討に向けた方向性とスケジュール
 - ・アドベンチャートラベル・ワールドサミット2023開催に対する受け止め
 - ・今後の取組
 - 2 感染対策と社会経済活動の両立について
 - ・飲食店の第三者認証に係る国等との調整や協議の経緯
 - ・飲食店の第三者認証の取得状況とこれまでの対応
 - ・特別支援金Cによる支援の拡充
 - ・酒類提供条件の判断
 - ・第三者認証制度による対策効果
 - ・認証事業を札幌市に限定した理由と全道への拡大に向けた考え方
 - ・認証の実効性確保に向けた考え方
 - ・実証実験に係る国との協議等の進捗状況
 - ・飲食分野での実証検討の進め方
 - ・観光分野における実証検討の進め方
 - ・技術実証の実施に当たり必要となる前提条件と行動制限の緩和に向けた課題
 - ・今後の対応
- 等について
- 沖田 清志委員（民主）** から、
- 1 新型コロナウイルス感染症対策等について
 - ・第三者認証の申請件数と認証状況及び認証が間に合わなかった事例と事業者間に差が出ることに対する認識及び対応方法
 - ・損失を負わせた事業者に対する責任に対する認識
 - ・認証制度の本格実施に当たっての議会議論
 - ・モデル調査の成果と課題
 - ・モデル調査と本格実施における確認項目の相違と項目の設定方法
 - ・接待を伴う飲食店等の職種に見合う認証基準の設定
 - ・保健福祉部との協議や専門家への意見聴取
 - ・議事録の有無
 - ・山梨モデルが先行事例となっていることに対する見解
 - ・山梨県の認証制度における確認項目との相違
 - ・利用者の把握を確認項目としなかった理由
 - ・換気設備を確認項目としなかった理由
 - ・施設整備に係る支援措置
 - ・認証に伴う店舗の点検や調査方法
 - ・飲食店の営業時間等の確認方法及び確認実施部局
 - ・モデル調査に要した費用と認証制度に要する事業費及び予算措置
 - ・全道で実施する場合の事業費の推計と予算措置及び積算根拠
 - ・国の見解との整合性
 - ・認証制度による今後の行動制限緩和策の考え

方

- ・宿泊事業者感染防止対策等支援事業再開の考え方
- ・特別支援金Cを先議としなかった理由

等について質疑、意見及び要望があり、経済部長、経済部観光振興監、経済部次長兼経済企画局長、経済部次長、地域経済局長、観光局誘客担当局長、観光局アドベンチャートラベル担当局長、経済企画課長、経済企画課事業支援担当課長、経済企画課企画調整担当課長、経済企画課企業活動支援担当課長、観光振興課観光地づくり担当課長、観光振興課アドベンチャートラベル担当課長、中小企業課調整担当課長及び中小企業課地域商業担当課長から答弁があつて、議事進行の都合により散会。

○10月5日（火） 開議 午前10時1分
閉会 午後5時20分
第3委員会室
第2分科委員長
須田 靖子（民主）

① **経済部所管に対する質疑**を継続し、
檜垣 尚子委員（自民）から、

- 1 産業振興条例の見直しについて
 - ・再生可能エネルギー開発事業を呼び込むための支援スキームの見直し
 - ・ゼロカーボン北海道推進の観点による企業立地促進費補助金の見直し
 - ・企業立地促進費補助金の雇用要件の見直し
 - ・今後の企業誘致の取組
 - ・中小企業競争力促進事業の応募状況及び利用実績
 - ・産業人材育成・確保支援事業の見直し
 - ・市場対応型製品開発支援事業の見直し
 - ・今後の対応
- 2 小規模企業の振興について
 - ・廃業率の推移と要因分析
 - ・IT化への支援
 - ・創業と経営革新等との連動による政策効果の向上に向けた見解
 - ・今後の対応
- 3 省エネルギー・新エネルギーの促進について
 - ・省エネルギー・新エネルギー促進部会による今後の議論の進め方
 - ・部会が目指す成果
 - ・今後の対応

等について

松山 丈史委員（民主）から、

- 1 みどりの食料システム戦略について
 - ・昆虫の食品化を所管する部
 - ・経済部の昆虫食に関するこれまでの取組と今後の対応
- 2 観光施策について
 - ・新しい旅のスタイルにおけるマスクの常時着用の考え方
 - ・黙浴を利用者の遵守事項とした理由
 - ・新しい旅のスタイルにおける宿泊事業者からの誓約書の提出

等について

佐藤 伸弥委員（結志）から、

- 1 経済見通し等について
 - ・道内経済の現状認識と先行きの見通し
 - ・来年度の予算編成
- 2 北海道グローバル戦略について
 - ・ターゲットの明確化と重点化
 - ・課題と解決策
- 3 食の輸出拡大戦略について
 - ・2020年の輸出実績
 - ・目標水準の達成見通し
 - ・戦略の見直し状況
 - ・見直しをしない理由
- 4 幌延深地層研究計画について
 - ・工期に影響が生じる事象の内容
 - ・研究期間の調整の内容
- 5 文献調査について
 - ・対話の場への参画に係る対応状況
 - ・対話の場の透明性
 - ・国やNUMOからの情報収集と情報の発信
 - ・市町村交付金の事業充当及び交付金を拒否した理由
- 6 雇用・人材対策について
 - ・MONOテクと障害者職業能力開発校におけるIT教育
 - ・計画の推進管理に向けた連携
- 7 企業誘致と投資促進について
 - ・企業立地件数の目標値の見直し
 - ・目標を達成できなかった際の対応
 - ・サテライトオフィス等の誘致を指標としなかつた理由
 - ・ゼロカーボン北海道に向けたこれまでの対応と今後の方針
- 8 エネルギー政策について

- ・第3期北海道省エネ・新エネ促進行動計画の目標値の見直し
 - ・洋上風力に係るこれまでの取組と今後の方針
 - ・エネルギーの低コスト化
- 9 観光振興について
- ・コロナ禍における旅行のキャンセル料に係る現状
 - ・修学旅行のキャンセル対応
 - ・具体的な関係業界
 - ・対応しない理由
 - ・キャンセル料の負担
- 10 新型コロナウイルス感染症対策について
- ・酒類販売事業者特別支援金の財源と支給要件及び事業者の満足度
 - ・Go To Eatの利用状況と今後の対応
 - ・感染防止対策協力支援金の総額及び道費予算措置額と執行額
 - ・基本的対処方針と第三者認証制度運用に係る受け止め
 - ・第1回臨時会時における姿勢
 - ・実証調査の調査内容と調査結果の活用
 - ・山梨県の認証制度の参考状況
 - ・認証制度実施に向けた機器整備への支援制度の創設
 - ・認証基準における専門家からの意見聴取
 - ・新北海道スタイルと第三者認証制度の関係
 - ・技術実証と第三者認証制度との関係
 - ・札幌市内における制度開始に当たっての周知
 - ・認証の有無により営業時間等に差があることに対する公平性の確保

等について

中野渡 志穂委員（公明）から、

- 1 ポストコロナの経済対策について
- ・事業者支援に係る国への財源措置の要請
 - ・行動制限の緩和に向けた札幌市以外での第三者認証の取組方法
 - ・ポストコロナに向けた中小・小規模企業へのデジタル化等の支援
 - ・本道の魅力を生かした海外展開に向けた考え方
 - ・産業振興条例の見直しによる地域の振興
- 2 デジタル化における女性の担い手育成について
- ・女性の就業状況及び就業率向上に向けた取組
 - ・女性を対象としたIT訓練

等について

菊地 葉子委員（共産）から、

- 1 コロナ禍における事業者、労働者支援について
- ・北海道飲食店感染防止対策認証制度における仕組みの有効性と試行段階時に酒類提供等の措置を設けていなかった理由
 - ・認証制度の契約内容
 - ・現地調査の実施人数及び道職員の人数
 - ・契約を既存契約の変更で対応した理由
 - ・認証制度に係る契約の判断時期
 - ・認証基準の試行段階からの変更点
 - ・感染防止対策基準の明確化
 - ・感染対策を強化しようとする飲食店への支援
 - ・認証制度の柔軟な運用
 - ・コロナ禍以前との比較における企業倒産の状況
 - ・企業経営者が行政に期待する内容
 - ・国の給付金や支援金に対する国への要請
 - ・特別支援金の条件緩和等における事業者への効果
 - ・コロナ対応による緊急借入れによる債務状況に対する認識と債務軽減に向けた取組
 - ・再度の営業自粛となった場合の手厚い支援
 - ・コロナ以前との比較における正規雇用者数と非正規雇用者数及び求職者数の変化
 - ・非正規雇用者等の支援の必要性
 - ・本道における個人消費に係る指標
 - ・今後の対応
- 2 エネルギー基本計画見直し等について
- ・国のエネルギー基本計画実行に向けた再生可能エネルギー増加の取組
 - ・原発に頼らない再生可能エネルギーを中心とした電源構成への取組
 - ・原発が多様な電源の一つと考えているか
 - ・エネルギーの地産地消に向けた取組
 - ・送電網の強化等に向けた道独自の取組の必要性
 - ・新エネ・省エネ導入目標の見直し
- 3 特定放射性廃棄物最終処分場について
- ・対話の場に対する認識と開催方法及び道のオブザーバー参加の目的と発言内容
 - ・文献調査に係る交付金の申請事務に対する姿勢
 - ・住民の分断がもたらされている現状認識と解

決方法

- ・道の役割

等について質疑、意見及び要望があり、経済部長、経済部食産業振興監、経済部次長兼経済企画局長、経済部次長、食関連産業局長、観光局長、地域経済局長、産業振興局長、環境・エネルギー局長、経済企画局国際経済担当局長兼経済企画課参事、労働政策局産業人材担当局長、経済企画課長、経済企画課経済調整担当課長、経済企画課企業活動支援担当課長、食産業振興課長、観光振興課長、観光振興課観光地づくり担当課長、観光振興課観光事業担当課長、中小企業課長、中小企業課金融担当課長、中小企業課地域商業担当課長、産業振興課長、産業振興課立地担当課長、環境・エネルギー課長、環境・エネルギー課エネルギー政策担当課長、環境・エネルギー課省エネ・新エネ促進室長、雇用労政課長兼働き方改革推進室長、雇用労政課就業担当課長、産業人材課長及び産業人材課職業訓練担当課長兼経済企画課参事から答弁があつて、総括質疑に保留された事項を除き、経済部所管に関する質疑を終結。

② 教育委員会所管に対する質疑に入り、

檜垣 尚子委員（自民）から、

1 いじめ問題への対応について

- ・認知から解消までの段階における市町村教委から道教委への報告及び道教委の対応並びに年間の対応件数
- ・道教委と旭川市教委の認識の齟齬に対する受け止め及び改善方策並びに状況確認の徹底方策
- ・ＩＣＴを活用した取組の具体的な進め方
- ・今後の取組

2 ヤングケアラーについて

- ・実態調査概要
- ・学校における認識及び課題
- ・生徒を対象とした調査結果
- ・スクールソーシャルワーカーを対象とした調査結果
- ・今後の取組

3 幼児教育について

- ・保護者と幼児教育施設がそれぞれ関わる意義
- ・保護者の幼児教育施設に対するニーズの内容及び幼児教育施設の考え方
- ・保護者と幼児教育施設の信頼関係の構築
- ・幼児教育施設における保護者の理解促進のための対応
- ・幼児教育の理解を働きかける今後の取組

等について

壬生 勝則委員（民主）から、

1 いじめ・自殺問題について

- ・町田市の事案に対する認識
- ・学校で配付されたタブレットのチャット機能を利用したいじめなどの報告事例
- ・具体的ないじめ防止対策
- ・不適切なパスワード設定の事例の有無及び把握方法
- ・今後の取組

等について

佐藤 権洋委員（自民）から、

1 学校における新型コロナウイルス感染症対策について

- ・感染者数や臨時休業等の状況
- ・臨時休業の取扱い
- ・休業時のオンライン学習やＩＣＴの活用状況及び受け止め並びに今後の取組
- ・抗原検査簡易キットの活用場面及び利用実績
- ・ワクチン接種率向上の取組
- ・学校行事の中止や延期などの状況
- ・今後の取組

2 時間外在校時間等について

- ・調査結果の受け止め
- ・働き方改革推進校の調査結果及び評価
- ・教頭や教諭等の職種の昨年度の超過時間の状況及び要因分析
- ・教頭や副校長の負担軽減に向けた取組
- ・部活動を担当する教員の負担軽減に向けた取組
- ・市町村の公立小中学校の教育職員の勤務実態の把握や公表についての取組
- ・今後の取組

等について

中野渡 志穂委員（公明）から、

1 青少年体験活動支援施設について

- ・各ネイパル施設の建築経過年数
- ・施設の老朽化への対応
- ・施設の長寿命化や改築などの対応

2 幼児虐待への対応について

- ・幼児教育施設の役割
- ・早期発見のための工夫や配慮事項
- ・保育者の専門性向上のための対応
- ・幼児教育施設と関係機関との連携状況
- ・幼児教育施設と関係機関等の今後の連携強化

3 健康教育の充実について

- ・全国と比較した肥満やむし歯などの状況
- ・これまでの取組
- ・がん教育に対する取組
- ・今後の取組

等について

千葉 英守委員（自民）から、

- 1 学校施設における冷房設備の整備とゼロカーボンへの取組について
 - ・高温時における児童生徒への教育活動上の配慮
 - ・学校での児童生徒の様子
 - ・全国及び道内の学校における冷房設備の設置状況
 - ・冷房設備の整備が進まない要因
 - ・市町村や学校等からの冷房設備の整備要望
 - ・近年の道立学校への冷房設備の設置経緯や理由
 - ・全国及び道内の学校における太陽光発電設備の設置率
 - ・文部科学省における学校への再生可能エネルギー整備の支援状況及び冷房設備整備の支援状況
 - ・新たな枠組みによる財政支援を国に要望する必要性に対する見解
 - ・今後の取組及び決意
- 2 夜間中学について
 - ・札幌市の星友館中学校の概要や特色
 - ・他の地域における設置についての考え方
 - ・情報の提供方法及び波及効果
 - ・ネットワーク化やセンター校の在り方
 - ・市町村の取組状況及び道の支援状況
 - ・今後の取組

等について

菊地 葉子委員（共産）から、

- 1 I C T 教育について
 - ・適正な I C T 活用への対応
 - ・私用で使う可能性の忌避や通信速度の格差解消に向けた対応
 - ・B Y O D 方式導入に向けた生徒や保護者への周知
 - ・情報モラルへの対応
 - ・タブレット貸与の対象に関する保護者に対する説明への対応
 - ・保護者の負担軽減の必要性
- 2 修学旅行等について

- ・昨年度の修学旅行等で発生したキャンセル料の処理及び予算措置の状況
- ・今年度の修学旅行の時期や行き先に対する指導や通知内容及び実施状況
- ・今後の対応

等について質疑、意見及び要望があり、教育長、教育部長（兼）教育職員監、学校教育監、総務政策局長（兼）幼児教育推進局長、学校教育局長（兼）I C T 教育推進局長、学校教育局指導担当局長（兼）学校教育局新型コロナウイルス感染症対策担当局長、教職員局長、施設課長、幼児教育推進センター長、高校教育課長（兼）I C T 教育推進課長、義務教育課長（兼）I C T 教育推進課 I C T 教育推進担当課長（義務教育）、健康・体育課長、生徒指導・学校安全課長及び教職員課働き方改革担当課長から答弁があつて、教育委員会所管に関する質疑を終結。

予算特別委員会

○10月 6 日（水） 開議 午前10時

閉会 午後 5 時 7 分

第 1 委員会室

委員長 花崎 勝（自民）

① 各分科委員長から、それぞれ分科会における審査の経過について報告。

② 各分科会において保留された事項について、

知事に対する総括質疑に入り、

太田 憲之委員（自民）から、

- 1 新型コロナウイルス感染症への対応について
 - ・次なる感染の波に備え、保健所機能の一層の充実や保健所設置市とのさらなる連携強化、臨時医療施設を含めた在宅医療等の体制整備を図るための今後の取組
 - ・12歳未満の子どもたちの感染防止の徹底に向けた今後の取組
 - ・国が示した新たな検査体制整備に関する指針に基づき、必要な行政検査を幅広く実施することや、地方単独事業として検査を計画的に実施する場合の方策を有効に活用して、検査体制の充実に早急に取り組むべきとの考えに対する所見
 - ・3月以降のいわゆる第4波における対応から得た教訓の今後の生かし方
- 2 感染対策と社会経済活動の両立について

- ・ワクチン接種効果に関する基本的な認識及びその認識の下での出口戦略に対する基本的な考え方
 - ・感染対策と経済回復の両立を図る出口戦略の構築に対する所見
 - ・第三者認証制度について、営業時短等の緩和措置に関し、飲食店の間に不公平な状況が生じる事態に至ったことに対する認識
 - ・市町村との連携も含め、本道経済の活性化に生かすための第三者認証制度の活用に対する所見
 - ・観光分野での実証検討等について、「新しい旅のスタイル」や「ぐるっと北海道」の再開に向けた最近の状況に対する認識及び今後の対応
 - ・飲食分野における早期需要喚起について、国の「Go To Eat」事業に対する今後の対応
- 3 地域交通について
- ・新型コロナウイルス感染症の長期化に対して支援する貸切りバス事業に対する認識及び今後の支援に対する所見
- 4 ゼロカーボン北海道について
- ・民間企業との連携について、民間企業等の発想や提案を積極的に施策に反映させるとともに、民間目線を生かして取組を進めていく必要があるとの考えに対する見解
 - ・ゼロカーボンの実現に向けた森林吸収源対策について、戦後に植林された人工林の若返りを図り、CO₂吸收・固定能力を高めるための取組及び道民が身近に感じられる30年後の森林の姿をイメージして整備を進めることに対する所見
 - ・水産分野におけるゼロカーボンの取組について、藻場や干潟の造成、拡大など、海洋における吸収源対策への積極的な取組
- 5 赤潮の発生等について
- ・10月5日に開催された、漁業関係者などで構成される対策会議の内容
 - ・災害とも言える今回の赤潮被害に対する漁業者の声を踏まえた対応及び復旧に向けた今後の取組
- 等について
- 沖田 清志委員（民主）から、**
- 1 道の政策検討について
- ・ポストコロナにおける政策検討の基本的な考え方
 - ・経済対策が財政危機を招くといいういつか来た道をたどることがないように、国の補正予算編成に対して具体的かつ効果的な要望を早急に行うべきとの考えに対する所見
 - ・民間資金の活用について、任期最後の政策予算編成となる令和4年度に向けて、民間資金の獲得に関する具体的な目標を掲げるべきとの考えに対する所見
- 2 新型コロナウイルス感染症対策等について
- ・これまでの緊急事態宣言やまん延防止等重点措置の要請判断に対する認識及び今後の対応
 - ・様々な我々の提案を受け入れる姿勢があるのかに係る所見
 - ・第三者認証制度について、公平性を欠く事業の実施となったことに対する認識及び今後の取組
 - ・認証取得済みの店舗やそうでない店舗などが混在している中で、公平性の観点から、どのように感染防止対策の実施状況の点検調査を行うのかに係る所見
 - ・認証取得済み店舗に対する定期的なチェック体制に係る所見
 - ・営業時短等の見回りも含めて認証チェックも行う現体制に対する所見
 - ・全道的な第三者認証制度の実施について、これまでの行政執行上の予算措置に鑑みれば、事業名とそれに要する費用として補正予算を組んで計上すべきとの考えに対する所見
 - ・「新しい旅のスタイル」について、一昨日質問してからこの2日間で10月中旬に再開すると判断した理由
 - ・これまでの感染症対策の詳細な分析、検証を行うことや、ポストコロナ戦略を担う組織の必要性も含めた今後の取組
- 3 太平洋沿岸の赤潮被害について
- ・補償型の支援が不可欠であるとの考えに対する所見
 - ・赤潮の発生を抑制する有効な手立てなどを早急に検討すべきとの考えに係る所見
- 4 人権施策について
- ・パートナーシップ制度の導入に係る明確な指標や基準についての所見
 - ・パートナーシップ制度の導入について、課題

- によっては運用面で改善できるはずであり、できるところから着手し、早急に実施すべきとの考え方に対する所見
- 率先してパートナーシップ制度を導入することに対する認識

等について

赤根 広介委員（結志）から、

- 新型コロナウイルス感染症対策について
 - 保健・医療提供体制の整備について、11月末までに取りまとめるとした計画への取組
 - 第三者認証制度について、このたびの導入判断のタイミングは適切であったと考えているのかに係る所見
 - 第三者認証制度により事業者の混乱を招いてしまった、あるいは、迷惑をかけてしまったという認識を持っていないのかに係る所見
 - 早急に現在の飲食店向けの制度を組み替えるなどして、エアロゾル感染対策を充実させていく必要があるとの考え方に対する見解
 - ポストコロナの政策展開について、感染防止対策と日常生活の両立、医療提供体制の整備を図った出口戦略への取組
 - 10月31日以降における当面の感染防止対策及び対策と密接に関わる警戒ステージの運用の在り方に対する見解
 - 警戒ステージの運用に対する現状との乖離について、乖離の解消方法及び道民の理解を得るために説明に対する所見
 - 交通政策の需要喚起策であり、10月中旬に再開を目指す「ぐるっと北海道」について、需要喚起策の停止要件を緩和することに対する所見
- 交通政策について
 - 貸切りバス事業者に対する臨時的な支援に向けた、制度設計の時期や支援規模及び財源の確保に対する所見
- エネルギー政策について
 - 国のエネルギー基本計画と第3期北海道省エネ・新エネ促進行動計画との関係に対する見解
- 幌延深地層研究計画について
 - 計画の期間延長を認めないのであれば、現時点で日本原子力研究開発機構に対し文書等で伝達すべきとの考え方に対する見解
- 食の輸出拡大戦略について

- 食の輸出拡大戦略の見直しや改定を行わない理由
- 企業誘致と投資促進について
 - 企業誘致について、残り5年間で企業立地件数の目標を達成することが可能と考えているのかに係る見解
 - ゼロカーボン北海道の実現に向けた経済部と環境生活部との連携及び道内にESG投資を呼び込むための取組
 - 環境政策について
 - グリーンボンド発行の意義に対する認識及び今後の取組
 - ゼロカーボン北海道の実現に向けたロードマップの策定と今後の対応

等について

荒當 聖吾委員（公明）から、

- 新型コロナウイルス感染症への対応について
 - 長期化するコロナ禍の影響による道内の格差、貧困の拡大に対する認識や実態の把握及び必要な支援に係る所見
 - コロナ禍において経済的に困窮している弱い立場の方々、女性や非正規、学生などに個別に現金給付を行うことなどの支援を検討すべきとの考え方に対する所見
 - 脱コロナに向けて、道民が夢と希望を持てるようなロードマップを示すべきとの考え方に対する所見
- 新型コロナウイルス感染症対策について
 - 2回目のワクチン接種の推進に向けた取組
 - ワクチンに対する正確な情報提供を行い、より多くの方々にワクチン接種をしていただくことが必要との考え方に対する所見
 - 感染対策と日常生活の回復に向けて、医療提供体制の確保のほか、PCR検査体制の充実などの感染対策を講じる必要があるとの考え方に対する所見
 - ワクチン接種の対象となっていない12歳未満の子どもたちに対するPCR検査等の費用の無料化を国に要望すべきとの考え方に対する所見
- 交通事故防止について
 - 悲惨な交通事故を起こさない、起こさせないためにも、通学路の合同点検結果への対応や飲酒運転の根絶に向け、しっかり取り組むべきとの考え方に対する所見

等について

菊地 葉子委員（共産）から、

1 コロナ禍における事業者、労働者支援について

- ・第三者認証制度について、僅かな期間で認証を取得する必要があるとなれば、飲食店が混乱に陥るという想定はなかったのかに対する所見
- ・認証の遅れで時間延長ができなかつた飲食店に対し、反省すべきところがあると率直に認めるべきとの考えに対する所見
- ・国の方針待ちにならず、4月30日以前から第三者認証制度の申請を開始していた他府県の例
- ・第三者認証制度導入が後手に回った理由
- ・感染防止対策における現地調査への動員により、職員に過重負担を強いた責任に対する認識
- ・新北海道スタイル普及啓発業務委託の再委託について、業務委託事務取扱要綱における再委託禁止の例外規定に合致したと判断した理由及び決裁日
- ・第三者認証制度を別個の事業である新北海道スタイル普及啓発業務と同一契約の変更で実施できるのかに対する所見
- ・契約変更や再委託の実態から、契約の透明性が確保されると断言できるのかに対する所見

2 特定放射性廃棄物最終処分場について

- ・文献調査交付金申請事務執行について、隣接、隣々接自治体への交付金の交付は、道民の目には、札束でほほをたたくシステムに組み込まれていく姿が鮮明になるのではないかとの考えに対する所見
- ・寿都町と神恵内村の両町村との意見交換において、概要調査に移行する際、現時点では反対するとの意向を、どのように伝達したのかに係る所見
- ・本気で概要調査への移行に反対するならば、責任ある立場の人が周辺自治体に出向き、意見を説明し、文献調査交付金申請事務執行への懸念などの意見を伺う行動を起こすとの考えに対する所見

3 気候変動対策等について

- ・気候変動に対応するための計画見直しについて、達成目標に必要な具体的な数値を設定して

いく必要があるとの考えに対する所見

- ・各部ごとに温室効果ガスの必要な削減目標を設定すべきとの考えに対する所見
- ・各部における見直す計画の有無
- ・地球温暖化防止の世界的な取組として、石炭火力発電廃止の世界の動きに対する認識
- ・エネルギー基地・北海道の確立に向けて、国の再生可能エネルギーの主力電源化に貢献するという計画の達成に向けた取組

等について質疑、意見及び要望があり、知事から答弁があって、総括質疑を終結。

- ③ 付託議案に対する意見調整は、理事会で行うことにして決定。
- ④ 理事会において付託議案に対する意見調整の結果、議案第2号ないし第6号を原案のとおり可決することを諮り、いずれも異議なく決定。
- ⑤ 付託議案に対する委員長報告については、委員長に一任することに決定。
- ⑥ 委員長から、付託案件に対する審査の終了に当たり、挨拶があつて閉会。

資 料

第3回定例会において議決を経た条例の公布調

件 名	議決年月日	公布年月日	公 布 番 号
北海道税条例の一部を改正する条例	R3. 10. 8	R3. 10. 19	北海道条例第33号
災害対策基本法の一部改正に伴う関係条例の整理に関する条例	R3. 10. 8	R3. 10. 19	北海道条例第34号
北海道総合政策部手数料条例の一部を改正する条例	R3. 10. 8	R3. 10. 19	北海道条例第35号
行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律の一部改正に伴う関係条例の整理に関する条例	R3. 10. 8	R3. 10. 19	北海道条例第36号
北海道中小企業者等に対する融資に係る損失補償金の返納の免除に関する条例の一部を改正する条例	R3. 10. 8	R3. 10. 19	北海道条例第37号
北海道森林づくり条例の一部を改正する条例	R3. 10. 8	R3. 10. 19	北海道条例第38号
下水道法の一部改正に伴う関係条例の整理に関する条例	R3. 10. 8	R3. 10. 19	北海道条例第39号

北海道議会議員補欠選挙結果（旭川市）

旭川市（令和3年9月26日執行）

東国幹議員（自民）、笠木薰議員（民主）の辞職に伴う旭川市北海道議会議員補欠選挙（欠員2名）が9月17日告示され、宮崎アカネ氏（民・新）、木下まさゆき氏（自・新）、林祐作氏（自・新）の3人が立候補し、2議席を争った。

投票は9月26日に行われ、即日開票の結果、宮崎アカネ氏、林祐作氏が当選した。

1 投票結果

	男	女	計
選挙当日の有権者数	129,824	154,675	284,499
投票者数	65,042	75,699	140,741
棄権者数	64,782	78,976	143,758
投票率	50.10%	48.94%	49.47%

2 開票結果

1	2	3	有効投票数	無効投票数	投票総数	投票者数
宮崎 アカネ (民・新)	木下 まさゆき (自・新)	林 祐作 (自・新)				
50,796	37,547	48,345	136,688	4,051	140,739	140,741

北海道議會議席表

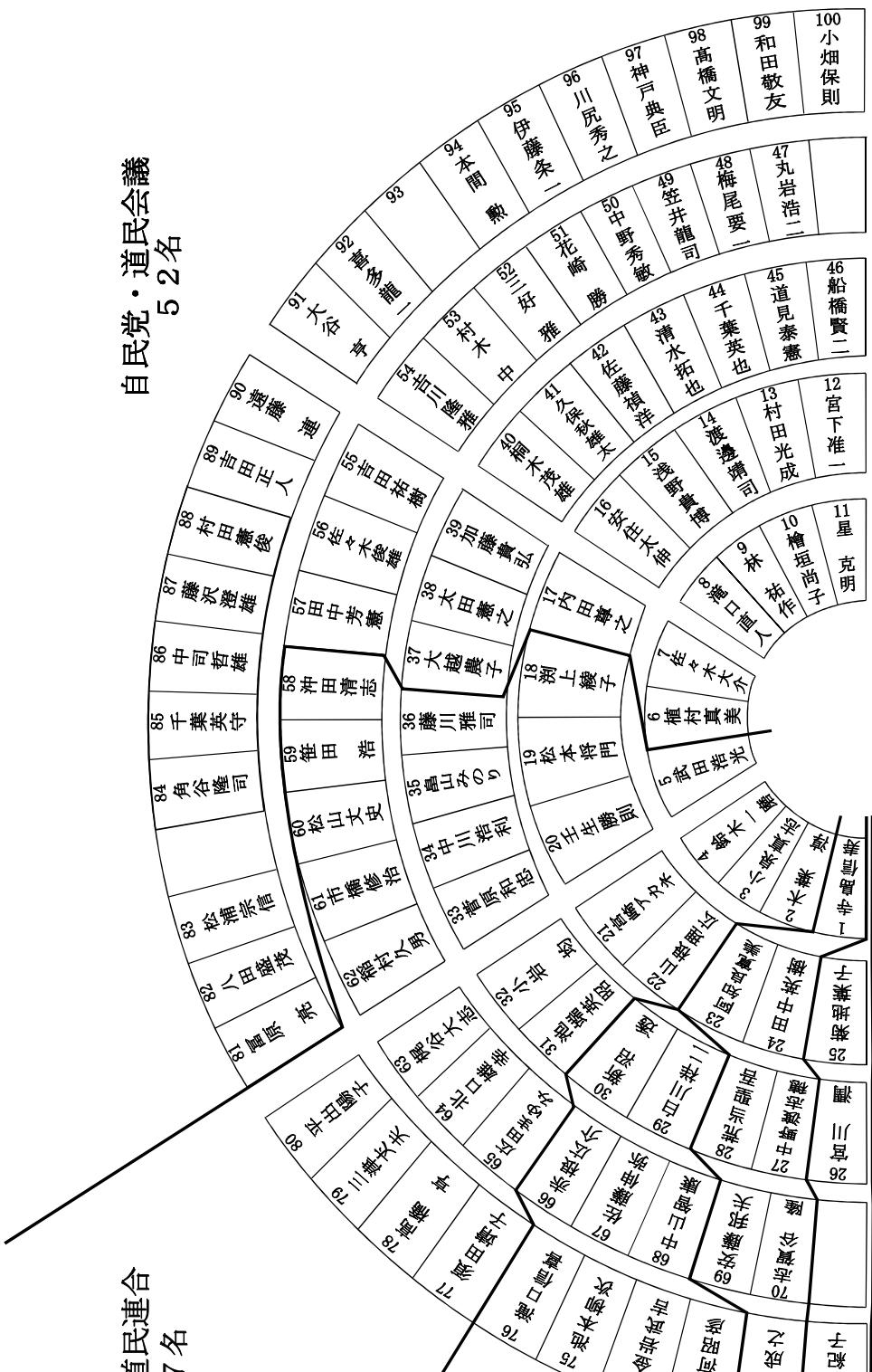
令和3年9月

民主・道民連合
27名

自民党・道民会議
52名

北海道結志会
9名

公明党
8名
日本共産党
3名



8月の出来事

- 2日 ○政府は、北海道、石川、京都、兵庫、福岡の5道府県に新型コロナウイルス対応のまん延防止等重点措置を適用した。埼玉、千葉、神奈川、大阪の4府県は重点措置から緊急事態宣言に切り替えた。期限はいずれも31日。東京都と沖縄県に発令中の宣言の期限も22日から31日に延ばした。
- 2日 ○新型コロナウイルス対策として、議会の議決なしに自治体首長の判断で予算編成や条例制定などを行う「専決処分」が、道内を含む全国の自治体で相次いでいる。地方自治法で緊急の場合に限り認められ迅速対応を可能とする一方、議会のチェックが働かないまま多額の予算が執行されるケースもあり、議員や有識者からは疑問も上がる。
- 4日 ○総務省は、今年1月1日時点の住民基本台帳に基づく人口動態調査を発表した。全国の日本人は前年比42万8617人減の1億2384万2701人と、12年連続で減少。道内は同3万5428人減の519万638人と23年連続で減り、減少数は9年連続で全国最多。
- 7日 ○留萌管内小平町達布で38.7度を記録、道内の8月の観測史上最高記録を更新し、この日の国内最高となった。年間記録でも道内で過去5番目の高さ。道内173観測地点のうち35地点で気温35度以上の猛暑日となり、猛暑日の連続記録を15日に伸ばした。
- 8日 ○東京五輪の陸上競歩・マラソン札幌開催は最終日、男子マラソンを札幌市中心部で行い、エリウド・キプチョゲ(ケニア)が史上3人目の2連覇を達成した。大迫傑が6位となり、日本勢として2大会ぶりの入賞を果たした。
- 8日 ○第32回夏季オリンピック東京大会は、東京都新宿区の国立競技場で閉会式を行い、17日間の日程に幕を下ろした。新型コロナウイルスの影響で史上初めて1年延期となった大会は緊急事態宣言下での開催を強いられ、大半の会場は無観客。日本は史上最多27個の金メダルを獲得、銀14、銅17を合わせた総数58個も過去最多。
- 9日 ○道内は、最高気温が日高管内新冠町新和で29.2度となり、全173観測地点で気温30度以上の真夏日を観測せず、7月13日から続いていた真夏日の連続日数は8日までの27日間で止まった。
- 12日 ○釧路管内厚岸町セタニウシの牧場で、放牧中の乳牛4頭が死傷しているのを管理人が発見。厚岸署は現場の状況から、ヒグマに襲われたとみている。道や道警によると、釧路管内では6月末以降、クマに襲われたとみられる牛の被害が厚岸、標茶両町で5件、計17頭が死傷している。
- 14日 ○道は、新型コロナウイルス対策のまん延防止等重点措置を適用済みの札幌市に加え、石狩管内の残る7市町村と小樽市でも開始。対象市町村の飲食店に酒類提供を停止し、営業は午後8時までとするよう要請。
- 15日 ○アフガニスタンの反政府武装勢力タリバンは首都カブールを制圧し、政権を掌握了。ガニ大統領は国外に脱出し、民主政権は瓦解した。2001年の米中枢同時テロ後の米英軍による攻撃で旧タリバン政権が崩壊して以来約20年ぶりの復権。
- 16日 ○日本製紙(東京)が釧路工場での紙生産を終えた。前身の富士製紙時代の1920年から操業し、釧路市の基幹産業の一翼を担ってきただけに、地域経済や雇用に深刻な影響を与えることは必至。
- 24日 ○新型コロナウイルス禍で史上初めて1年延期された東京パラリンピックは、主会場の国立競技場(東京都新宿区)で無観客の開会式を行い、9月5日まで13日間の幕を開けた。原則無観客となる大会は「共生社会の実現」という理念をいかに発信できるかが問われる。競技会場のある全4都県で緊急事態宣言が発令され、開催への不安の声が根強い中、25日から競技がスタートする。
- 27日 ○旭川中心部でクマの出没が相次ぎ、市民から不安の声が上がっている。26日早朝には忠和3の8の忠別川、23日には同住所の忠別川河川敷でそれぞれ目撃された。クマは河川沿いの茂みに隠れているとみられ、市などが警戒を強めている。

9月の出来事

- 1日 ○デジタル庁が発足した。職員約600人の体制で、3分の1に当たる約200人をIT企業など外部から起用。民間のノウハウを活用しながら、遅れている行政オンライン化などに取り組む。
- 3日 ○菅義偉首相は退陣する意向を表明した。首相官邸で記者団に対し「新型コロナウイルス対策に専念したい」と述べ、自民党総裁選（17日告示、29日投開票）への出馬を断念した。内閣支持率の低迷に加え、党内の求心力も急速に低下し、再選は困難と判断。菅政権は1年で幕を閉じる。
- 5日 ○新型コロナウイルス感染拡大で史上初めて1年延期された東京パラリンピックは国立競技場で閉会式を行い、13日間の全日程を終えた。日本のメダル総数は、過去最多だった2004年アテネ大会の52個に次ぐ51個（金13、銀15、銅23）。
- 9日 ○政府は新型コロナウイルス感染症対策本部会合を開き、21都道府県に発令中の緊急事態宣言について、北海道など19都道府県の期限を12日から30日に延長すると決定した。宮城、岡山両県はまん延防止等重点措置に移行する。
- 10日 ○2001年9月の米中枢同時テロから11年で20年となるのを前に、旅客機が突入したニューヨークの世界貿易センタービルの跡地「グラウンド・ゼロ」に、犠牲者の遺族らが訪れ追悼の祈りをささげた。バイデン大統領はビデオ演説で「結束が最高の米国をつくる。これこそが9・11の中心的な教訓だ」と訴え、国民に結束を呼びかけた。
- 13日 ○新型コロナウイルス対応の改正特別措置法に基づき北海道を含む19都道府県に発令中の緊急事態宣言は延長期間に入った。新たな期限は30日で、道は札幌市を含む石狩管内と旭川・小樽市の10市町村を引き続き「特定措置区域」に指定し強い対策を講じる。その他169市町村では飲食店の酒類提供を午後7時半までに緩和する。
- 21日 ○中国の不動産大手、中国恒大集団の経営危機が世界同時株安に発展した。東京株式市場の日経平均株価(225種)は急落し、2週間ぶりに大台の3万円を割り込んだ。中国経済の失速は世界経済の混乱を招きかねない。
- 22日 ○金融庁は、システム障害が相次いだみずほフィナンシャルグループ（FG）とみずほ銀行に対し、銀行法に基づく業務改善命令を出したと発表した。システムの更新や保守などに関する当面の計画を提出するよう求め、運営が適切に行われているかどうかを監視する。障害の原因を調べる検査が続く中、一部前倒しの行政処分は異例。
- 23日 ○台湾国防部（国防省）は、中国の戦闘機など24機が台湾の防空識別圏に進入したと発表した。台湾が環太平洋連携協定（TPP）への加入申請をしたことに対する反発し、圧力をかけた可能性がある。
- 28日 ○道東の太平洋沿岸で間もなく漁期となるエゾバフンウニが大量死している。釧路管内釧路町の昆布森漁協が行った調査では、全体の9割近くのウニが死んでおり、同管内厚岸町の厚岸漁協でも約8割のウニが死滅した。道東では今月20日に釧路市桂恋漁港で赤潮を確認。十勝管内では連日、死んだ秋サケが水揚げされるなど異変が起きており、道が原因究明を急いでいる。
- 28日 ○政府は新型コロナウイルス感染症対策本部会合で、北海道など19都道府県に発令中の緊急事態宣言を、30日の期限でまん延防止等重点措置を経ずに解除すると決めた。8県に適用中の重点措置も同時に終了する。宣言の解除地域では1カ月程度、飲食店の営業時間短縮など一定の行動制限を要請し、段階的に緩和する。
- 29日 ○自民党総裁選は、東京都内のホテルで投票され、岸田文雄前政調会長（64）を第27代総裁に選出した。岸田氏は1回目の投票で河野太郎行政改革担当相（58）を1票上回ったものの過半数に達せず、決選投票の末、河野氏を大差で破った。任期は2024年9月末までの3年間。

10月の出来事

- 1日 ○政府は新型コロナウイルス対策で19都道府県に出していた緊急事態宣言と8県に適用していたまん延防止等重点措置を期限の9月30日で全て解除した。道は1日から独自対策に移行し、全道で酒類提供や公立施設の営業を認める一方、札幌限界で飲食店への時短要請を行うなど段階的に制限を緩和する。
- 4日 ○自民党の岸田文雄総裁（64）は、衆院本会議の首相指名選挙で第100代首相に選出された。1年余りで退陣となった菅義偉首相（72）から政権を引き継ぐ。
- 5日 ○スウェーデンの王立科学アカデミーは、2021年のノーベル物理学賞を、真鍋淑郎・米プリンストン大上席研究員（90）＝愛媛県出身、米国籍＝ら3氏に授与すると発表した。真鍋氏は大気と海洋の循環を考慮した気候変動のモデルを開発。二酸化炭素などの温室効果ガスに着目し、地球温暖化の予測に関する先駆的な研究を続けた業績が高く評価された。
- 10日 ○第44回全国育樹祭（道、国土緑化推進機構主催）の記念式典が、札幌市豊平区の道立総合体育センター（北海きたえーる）で開かれ、2004年に始まった道内発祥の木育の意義を伝え、2日間の日程を終えた。
- 13日 ○道は新型コロナウイルス感染症対策本部会議で、独自対策として実施している札幌市内の飲食店への営業・酒類提供時間の短縮要請などを15日に解除することを正式決定した。停止中の旅行助成事業「新しい旅のスタイル」なども15日から札幌を含む全道で再開し、道内の社会、経済活動の再始動を図る。
- 14日 ○衆院は午後の本会議で解散された。政府は臨時閣議で衆院選を「19日公示—31日投開票」とする日程を決定する。21日の衆院任期満了を越えての衆院選は現行憲法下で初。岸田文雄首相の就任から解散まで10日間、解散から投開票まで17日間は、共に戦後最短となる。
- 15日 ○ロシアのグリゴレンコ副首相兼官房長官とフスヌリン副首相は、実効支配する北方領土の択捉島を訪れ、観光地などを視察した。ロシア要人の北方四島入りは7月にミシュスチン首相が同島を訪問して以来で、岸田文雄首相の就任後初めて。日本外務省は「領土問題に関するわが国の立場と相いれない」として、在日ロシア大使館に電話で抗議した。
- 21日 ○道東の太平洋沿岸を中心に赤潮が続いている問題で、道は、道内の漁業被害額が計約76億円に拡大したと発表した。8日の集計では約46億円だったが、根室管内のウニ被害額などが判明し、30億円増えた。日高管内のウニなど被害額が未確定の魚種もあり、総額はさらに膨らむ見通しだ。
- 26日 ○原発から出る高レベル放射性廃棄物（核のごみ）の最終処分場選定に向けた第1段階の文献調査への賛否が最大の争点となつた後志管内寿都町長選は投開票され、調査に応募した現職片岡春雄氏（72）＝無所属＝が6選を果たした。昨年11月に全国で初めて始まった文献調査は続行されることが確実になった。
- 26日 ○政府は、2021年度の文化勲章をスポーツ振興の長嶋茂雄（85）、ノーベル物理学賞に決まった気象学・気候学の真鍋淑郎（90）、歌舞伎の尾上菊五郎（79）、分子生物学の岡崎恒子（88）、短歌の岡野弘彦（97）、文化人類学の川田順造（87）、洋画の絹谷幸二（78）、数学の森重文（70）の各氏と、20日に87歳で死去したバレエの牧阿佐美氏の9人に贈ることを決めた。
- 26日 ○秋篠宮家の長女眞子さま（30）は、大学時代の同級生小室圭さん（30）と結婚された。同日午前、婚姻届を提出し、受理された。皇籍離脱して民間人となり「小室眞子さん」として、小室さんが拠点を置く米国で新生活を始める予定。
- 30日 ○衆院選で道内12小選挙区と比例代表道ブロック（定数8）の計20議席のうち、小選挙区で自民党6、立憲民主党5、公明党1、比例で自民4、立憲3、公明1議席の当選または当選が確実となり、全議席が確定した。

その先の、道へ。北海道

北海道議会時報
第73巻 第3号

編集 北海道議会事務局政策調査課
〒060-0002
札幌市中央区北2条西6丁目
TEL 011-204-5691
E-Mail gikai.seisaku1@pref.hokkaido.lg.jp
発行 令和3年（2021年）12月14日